

授業科目名	教養特別講座	科目コード	G0107L07
英文名	Liberal arts of special course		

科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会生活基礎科目		
------	---------------------------	--	--

職名	教授 教授	担当教員名	大谷 孝行 尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年・3年・4年後期集中	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>現代社会では情報技術（IT）が日常生活に普及し、従来の直筆による自己表現や創作活動による表現の機会が減っています。この講義では、上手に自分らしく自己を「表現」することができるためのヒントを提供する機会とします。そのためにはどのようなコミュニケーション手法が望ましいのか。とりわけ、五感を使いながら皆さんにとっての自分らしい自己表現の在り方を探り、人間力の向上を目指します。各回の講義は、各分野の専門家が講師を務めます。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	表現手法	コミュニケーション	人間力	マナー
-------	------	-----------	-----	-----

到達目標	「自己表現する」ための手法について、さまざまな手法とその特色を知ることができる。			
	自分の特徴や長所を把握・再発見して、より自分らしい表現方法を身に付けることができる。			

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>「教養特別講義」についてオリエンテーション（現代社会学部 教授 尾畑 納子） 本講義の開設の主旨として、表現の在り方やより良いコミュニケーションについて学ぶ機会として欲しい。スケジュールについて説明する。</p>	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	<p>「マナー・しぐさ」とコミュニケーション（前富山国際大学准教授/本学客員准教授 斎藤 敏子 氏） ことばと態度を融合させた、しぐさやマナーの視点から伝えるコツを聞く。</p>	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	「マナーとしぐさ」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	「マナーとしぐさ」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	本時のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	<p>「顔の表情」とコミュニケーション（sukai美科学研究所代表、日本顔学会会長 菅沼 薫 氏） 顔の表情など科学的な視点から講義を行う。</p>	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	「顔の表情」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	「顔の表情」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	「顔の表情」とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	本時のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	IT企業におけるコミュニケーションの考え方ー女性の視点から (NTT東日本 千葉 文野 氏)	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	料理の出版物の編集を通じたコミュニケーション (食の編集・企画 田原 朋子 氏)	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	ものづくり(美術作品)とコミュニケーション (子ども育成学部 佐部利 典彦 講師)	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	ものづくり(美術作品)とコミュニケーション	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	総括(現代社会学部 教授 尾畑 納子) 全体の講義を通して、質疑応答・取りまとめを行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業時間中の課題（50％）、鑑賞レポート（30％）、全授業を通した課題（20％）		
使用資料 <テキスト>	授業の時にレジюмеや資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	授業の中で指示します。
授業外学修等	<p>集中講義のため、1日の授業が終了したら、その日の学びの内容について、事後の復習を必ず行い（15分程度）次回の内容につなげてください。授業の開講期間中に美術館・資料館等（どこでも可）での鑑賞と感想レポート（400字程度）提出してください。</p> <p>学外講師の都合で各回の順番が変更になることがあることをあらかじめ了承下さい。</p>		
授業外質問方法	講義をしたそれぞれの教員へ直接質問してください。また、email:obata@tuins.ac.jpへ。		
オフィス・アワー	開講期間中随時		

授業科目名	外国語特講（英語）	科目コード	G0402L12
英文名	Special Course in Foreign Language		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	Kerrie Gray
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日 木曜日	時限	2限目 2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	<p>This course gives students an opportunity to develop English skills in an English learning environment. Students will be learn through groupwork and discussions, role play, games, presentations. The class is entirely in English and students are expected to try their best to communicate in English during class. Students will complete classwork and other assessments over the semester. Every class will need preparation in advance Students will do some research and other homework, and presentations. It is an active, participatory class with many activities.</p> <p>Class topics will be discussed and negotiated with class and may change.</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	Listening	Speaking	Reading	Writing	Discussion
-------	-----------	----------	---------	---------	------------

到達目標	Improve listening, speaking, reading, and writing skills.			
	Gain confidence in English conversation and discussion.			
	Promote cultural awareness and interest.			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		/			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction. Class rules, expectations and assessments. Explanations and Q&A. This is the proposed syllabus but as a class we will negotiate and plan the subjects and assessments as a group. Games to learn about eachother Student introductions. Introduction to "World Cultures"	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	World Culture: Japan Warm up games and activites Sharing homework research; mini-presentations	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	World Culture: Cambodia Videos, student presentations	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	World Culture: India	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	World Culture: Egypt	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	World Culture: Italy	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	World Culture: Peru	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	World Culture: New Zealand	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	World Culture: Canada	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	World Culture: Senegal	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	World Culture Review: Quiz game	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	TRAVEL ITINERARY. History of Travel	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	Entertainment. TV Shows	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	Entertainment. Movies	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	Entertainment. Comedy and Humour	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	Entertainment. Theatre	
	【予習】	
	【復習】	
第17回	Entertainment. Computerised Games	
	【予習】	
	【復習】	

第18回	Entertainment. Media scavenger hunt	
	【予習】	
	【復習】	
第19回	Biodiversity and other Values. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第20回	Debating 1. Introduction to formal debate	
	【予習】	
	【復習】	
第21回	Debating 2. Topics will be determined by class	
	【予習】	
	【復習】	
第22回	Debating 3. Topics will be determined by class	
	【予習】	
	【復習】	
第23回	Debating 4. Topics will be determined by class	
	【予習】	
	【復習】	
第24回	Christmas in Australia	
	【予習】	
	【復習】	
第25回	Model UN. Introduction	
	【予習】	
	【復習】	
第26回	Model UN. Country research	
	【予習】	
	【復習】	

第27回	Model UN. Discussion Forum. Discussing world issues in the style of UN conflict resolution	
	【予習】	
	【復習】	
第28回	Model UN. Country research	
	【予習】	
	【復習】	
第29回	Model UN. World issues (1)	
	【予習】	
	【復習】	
第30回	Model UN. World issues (2)	
	【予習】	
	【復習】	
第31回	Model UN. Course conclusions	
	【予習】	
	【復習】	
第32回	Course review	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	This will be negotiated by the class but most likely the evaluation will be from: Participation in class, including reports, presentations, completion of class work and activities, and fully joining in class work; class preparation and homework; portfolios (50%); Midterm test (15%); Final presentation (20%); Final test (15%).		
使用資料 <テキスト>	No textbook. Materials will be given by the teacher and collected by students.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英 Laptops, tablets. An A4 folder, paper,
授業外学修等	Students are required to take part in English Café activities.		
授業外質問方法	Contact by email: kerrie.gray.kec@gmail.com		
オフィス・アワー	before class		

授業科目名	外国語特講（中国語）	科目コード	G0402L12
英文名	Special Course in Foreign Language		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	湯 麗敏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日 木曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	この授業は、一年間中国語の と を履修された学生向けの授業です。教科書を使って、習ったものを復習しながら、新しいところへ進みます。授業では、文のつくり、翻訳、会話、読解など、言語の各技能にわたって、基本的な練習を繰り返してやります。全般的応用能力を養うことにより実際の会話において、適切な表現ができるようになることを目指します。		
-------	--	--	--

キーワード	応用練習	応用能力	身につける		
-------	------	------	-------	--	--

到達目標	正しく発音ができ、基礎的な語法や文型において使いこなせることができる。				
	簡単な語句を連ねて、場に応じた会話を行うことができる。				
	やや難しいものを理解することができる。				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	復習(グループワークで活動)	
	【予習】第一課～第五課	60分
	【復習】グループワークでやった内容をノートに書く	60分
第2回	第六課 対話 北京首都国際空港	
	【予習】単語と本文の内容	60分
	【復習】文法と文型を使って作文練習	60分
第3回	文章と理解、基本用例	
	【予習】基本用例を理解する	60分
	【復習】文章を読む、中国語の文章を書く練習	60分
第4回	会話、文法要点	
	【予習】習ったものを朗読練習、書けるようにする	30分
	【復習】作文ができ、会話内容を覚える	30分
第5回	練習問題を取り組み	
	【予習】単語と本文の内容を調べと理解する	60分
	【復習】本文を理解、中国語で文を作+B49:l74る	60分
第6回	短文と単語の勉強	
	【予習】会話内容と単語の朗読	30分
	【復習】言葉の使い方、文の作り練習	60分
第7回	語法要点、可能補語2 /・・・・・・好吗?	
	【予習】練習問題を取り組み	30分
	【復習】単語、本文、ポイントの部分	30分
第8回	第7課 対話1 キャンパスで	
	【予習】第七課の会話内容と単語の朗読	60分
	【復習】会話ができるように準備しておく	60分
第9回	語法要点、可能補語と様態補語	
	【予習】ポイントを理解できるように	60分
	【復習】構文を使い作文練習	60分

第10回	練習問題の取り組み	
	【予習】問題点をまとめる	60分
	【復習】習った単語と構文を使って会話ができるようにする	60分
第11回	短文 万里長城を登る	
	【予習】文型、文を作り	30分
	【復習】作文練習	60分
第12回	語法要点 比較表現1と2	
	【予習】朗読、読解	30分
	【復習】文作り練習	30分
第13回	第七課の練習問題の取り組み	
	【予習】ポイント部分の予習	30分
	【復習】全体のまとめ	30分
第14回	第八課 対話1 北京の軽食	
	【予習】単語と本文の内容	30分
	【復習】第八課を朗読し、書く、話す	30分
第15回	語法要点 状態持続 「着」を用いた存現文について	
	【予習】言葉の使い方、読み方	60分
	【復習】文の作り方、会話	60分
第16回	対話2の内容と単語	
	【予習】対話内容の朗読	30分
	【復習】単語、本文、ポイントの部分	30分
第17回	第八課の練習問題の取り組み	
	【予習】第6, 7, 8課の単語、本文	30分
	【復習】第6、7、8の3課のポイント、練習問題	30分
第18回	中間テスト	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】ポイントと練習問題	30分

第19回	第九課 対話1 チャイナドレスの店にて	
	【予習】朗読、単語を覚える	30分
	【復習】本文の理解、会話練習	30分
第20回	語法要点 「把」構文の補充部分、結果補語	
	【予習】ポイントを理解できるように	30分
	【復習】作文練習	30分
第21回	第九課の練習問題	
	【予習】単語と本文を朗読	30分
	【復習】文型で文を作る、文章を書く	30分
第22回	対話2の内容と単語	
	【予習】会話の練習	30分
	【復習】筆記練習問題	50分
第23回	第10課 対話1 帰国のあいさつ	
	【予習】単語を調べ	30分
	【復習】対話内容と単語の覚え	60分
第24回	語法要点 名詞の重ね型 受身文	
	【予習】朗読と覚える	30分
	【復習】ポイント部分の復習	30分
第25回	練習問題を挑戦	
	【予習】作文練習	60分
	【復習】単語、本文、ポイント、練習問題	60分
第26回	対話2の内容と単語	
	【予習】受身文	60分
	【復習】文法練習	60分
第27回	練習部分	
	【予習】単語とポイントの内容	30分
	【復習】練習問題	30分

	基本文型まとめ	
第28回	【予習】単語と本文の朗読	30分
	【復習】文を作る練習、読解	30分
	グループワーク 会話練習	
第29回	【予習】単語と本文を覚える	30分
	【復習】教科書の内容を活かして、活用ができるように	30分
	検定試験向けの練習	
第30回	【予習】プリントの練習	60分
	【復習】回答あわせ	60分
	後期のまとめ	
第31回	【予習】単語、本文、ポイントの部分	60分
	【復習】練習問題	60分
	期末テスト	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1. 授業態度（50%）（ノートの取り状況、グループワークの参加度、朗読・会話・応用練習の真剣さ）	
	2. 課題（50%）（宿題の完成度、プリントの提出状況、中間テスト・期末テストの成績）で総合的に評価します。	
	3. ディプロマ・ポリシーに関しては、人間性10%、社会性20%、専門性70%で評価します。到達目標については、富山国	

使用資料 <テキスト>	成田静香・藤野眞子ほか『いつでも中国語 2 - 随時随地学漢語-』 朝日出版社	使用資料 <参考図書>	小学館「中日辞典・日中辞典」
----------------	--	----------------	----------------

授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。朗読、暗誦、リスニング練習をご自分できちんとやってください。
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。（424湯研究室）
オフィス・アワー	火曜日2限

授業科目名	外国語特講（ロシア語）	科目コード	G0402L12
英文名	Special Course in Foreign Language		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日 木曜日	時限	2限目 2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	ロシア語I Iの続きとなるコースで、既に読み書きができる学生を対象に、週2回という制約で、ロシア語でのアニメを教材に使い、ロシア語の会話表現、文法の知識を増やす。実用的な表現を覚えることによって、ロールプレイングなどでロシア語のスキルを向上する。			
-------	---	--	--	--

キーワード	Listening	Reading	Speaking	Writing	Vocabulary
-------	-----------	---------	----------	---------	------------

到達目標	実践的なロシア語を身につける。
	ロシア語の文法の知識を深める。
	実用的な表現を覚える。

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ロシア語 I I の復習。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	過去形・現在形・未来形	
	【予習】本文を読む。	30分
	【復習】セリフを読む練習	30分
第3回	名詞の性・単数・複数・格。ロシア語での動画を見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第4回	「イワンは夏に故郷に行きました」を見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第5回	「イワンは夏に故郷に行きました」を見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第6回	「イワンは夏に故郷に行きました」を見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第7回	「イワンは夏に故郷に行きました」を見よう。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第8回	「イワンは夏に故郷に行きました」を見よう。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第9回	「イワンは夏に故郷に行きました」の練習（1）	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】「イワンは夏に故郷に行きました」の要約	30分

第10回	「イワンは夏に故郷に行きました」の要約	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第11回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第12回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第13回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第14回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第15回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第16回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第17回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第18回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分

第19回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第20回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第21回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】「イワンは夏に故郷に行きました」の要約を考える	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第22回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】=B46	30分
第23回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第24回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】単語と本文を覚えよう。	30分
	【復習】「イワンは夏に故郷に行きました」の続きの要約	30分
第25回	=B53	
	【予習】=B54	30分
	【復習】=B55	30分
第26回	=B56	
	【予習】=B57	30分
	【復習】=B58	30分
第27回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きの練習（2）	
	【予習】=B60	30分
	【復習】=B61	30分

	=B62	
第28回	【予習】第12課の単語と本文を読む。	30分
	【復習】=B64	30分
第29回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】単語と本文を書く。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第30回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きを見よう。	
	【予習】単語と本文を書く練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第31回	「イワンは夏に故郷に行きました」の続きの練習（3）	
	【予習】	
	【復習】「美紀が友達の手紙とメッセージを交換しています」の要約	30分
第32回	「イワンが故郷に休暇に行きました」の内容を要約を書く。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、授業中の発話で評価します。(20%) 到達目標 2 については、宿題(40%)、期末レポート(30%)で評価します。 到達目標 3 については、期末レポートで評価します。(10%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%
------	--

使用資料 <テキスト>	動画のセリフ	使用資料 <参考図書>	
----------------	--------	----------------	--

授業外学修等	交換留学に行くことを高く評価します。
--------	--------------------

授業外質問方法	426研究室に相談に来てください
---------	------------------

オフィス・アワー	木曜日2時限
----------	--------

授業科目名	外国語特講（英語）	科目コード	G0402P11
英文名	Special Course in Foreign Language		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	Kerrie Gray
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	4限目 2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	<p>This course gives students an opportunity to develop English skills in an English learning environment. Students will be learn through groupwork and discussions, role play, games, presentations. The class is entirely in English and students are expected to try their best to communicate in English during class. Students will complete classwork and other assessments over the semester. Every class will need preparation in advance Students will do some research and other homework, and presentations. It is an active, participatory class with many activities.</p> <p>Class topics will be discussed and negotiated with class and may change.</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	Listening	Speaking	Reading	Writing	Discussion
-------	-----------	----------	---------	---------	------------

到達目標	Improve listening, speaking, reading, and writing skills.			
	Gain confidence in English conversation and discussion.			
	Promote cultural awareness and interest.			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		/			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction. Class rules, expectations and assessment. Student introductions. Introduction to "Culture" This is the proposed syllabus but as a class we will negotiate and plan the subjects and assessments as a group.	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	Culture 1: What is "Culture?" Discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	Culture 2: What are our cultures? Who are we? Are we the same? Why? Discussion; pair and group work	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	Culture 3: Culture in our lives. What can culture tell us about our lives? Discussion, Q&A	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	Anzac Day. Remebering the event that is said to have "made Australia"	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	What makes a culture unique? Case study: Australia - the environment 1. Discussion, Q&A, video	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	What makes a culture unique? Case study: Australia - the environment 2. Discussion, Q&A, video	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	What makes this culture unique? History. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	The Multicultural Melting Pot. Articles, reading, discussions.	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	Industry. Reading, discussion, group work, video.	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	The Great Outdoors. The Great Outdoors and other aspects of Australian lifestyle. Discussion	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	Music and Festivals. Reading, discussion, group work, video.	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	Food. Reading, discussion, group work.	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	Counter culture. Video, group work, discussion. MIDTERM TEST	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	Survivor! Discussion, role-playing activity	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	University Culture 1. Field study, group work, discussion	
	【予習】	
	【復習】	
第17回	University Culture 2. Field study, group work, discussion	
	【予習】	
	【復習】	
第18回	Biodiversity and other Values. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	

第19回	Natural Disasters. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第20回	Man-made Disasters. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第21回	Australian Disasters. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第22回	Nuclear Power vs Other Forms of Generation. The Nuclear Debate. Reading, discussion, group work.	
	【予習】	
	【復習】	
第23回	Lost Civilisations 1. Can a civilisation vanish without trace?	
	【予習】	
	【復習】	
第24回	Lost Civilisations 2. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第25回	Lost Civilisations 3. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第26回	Globalisation 1. Is it good or bad? Reading, discussion, group work.	
	【予習】	
	【復習】	
第27回	Globalisation 2. Is it worth the cost? Loss of culture and other. Discussion, group work. REPORTS	
	【予習】	
	【復習】	

第28回	Globalisation 3. Political ideologies. Political ideologies, religion and other factors. Reading, discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第29回	Globalisation 4. The UN. Discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第30回	Create a Country. Discussion, group work	
	【予習】	
	【復習】	
第31回	PRESENTATIONS	
	【予習】	
	【復習】	
第32回	Course review	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	This will be negotiated by the class but most likely the evaluation will be from: Participation in class, including reports, presentations, completion of class work and activities, and fully joining in class work; class preparation and homework; portfolios (50%); Midterm test (15%); Final presentation (20%); Final test (15%).		
使用資料 <テキスト>	No textbook. Materials will be given by the teacher and collected by students.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英 Laptops, tablets. An A4 folder, paper,
授業外学修等	Students are required to take part in English Café activities.		
授業外質問方法	Contact by email: kerrie.gray.kec@gmail.com		
オフィス・アワー	木曜日 11:00 ~ 13:00 at English Café		

授業科目名	外国語特講（中国語）	科目コード	G0402P11
英文名	Special Course in Foreign Language		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	湯 麗敏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	4限目 2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	この授業は、一年間中国語の と を履修された学生向けの授業です。教科書を使って、習ったものを復習しながら、新しいところへ進みます。授業では、文のつくり、翻訳、会話、読解など、言語の各技能にわたって、基本的な練習を繰り返してやります。全般的応用能力を養うことにより実際の会話において、適切な表現ができるようになることを目指します。		
-------	--	--	--

キーワード	応用練習	応用能力	身につける		
-------	------	------	-------	--	--

到達目標	正しく発音ができ、基礎的な語法や文型において使いこなせることができる。				
	簡単な語句を連ねて、場に応じた会話を行うことができる。				
	やや難しいものを理解することができる。				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	復習（グループワークで活動）	
	【予習】一年目に習った教科書を使って、復習する	60分
	【復習】自己紹介の準備	60分
第2回	第一課 対話1 キャンパスで	
	【予習】単語の勉強	60分
	【復習】会話準備	60分
第3回	語法要点 基本用例、進行表現、・可能補語 1	
	【予習】文法予習	60分
	【復習】文型で文を作る練習	60分
第4回	会話、リスニング 第1課の対話1・単語文法要点	
	【予習】会話準備	30分
	【復習】文作り練習	30分
第5回	漢詩 春暁の朗読、理解	
	【予習】書く、覚える（前回習った内容）	60分
	【復習】練習問題	60分
第6回	対話2の内容	
	【予習】会話内容と単語の朗読	30分
	【復習】言葉の使い方、文の作り練習	60分
第7回	語法要点、可能補語2 /・・・・・・好吗？	
	【予習】練習問題を取り組み	30分
	【復習】単語、本文、ポイントの部分	30分
第8回	第2課 対話1 アルバイト仲間	
	【予習】第2課の会話内容と単語の朗読	60分
	【復習】会話ができるように準備しておく	60分
第9回	語法要点、可能補語と様態補語	
	【予習】ポイントを理解できるように	60分
	【復習】構文を使い作文練習	60分

第10回	練習問題の取り組み	
	【予習】問題点をまとめる	60分
	【復習】習った単語と構文を使って会話ができるようにする	60分
第11回	対話2 3人で京劇を見終わって	
	【予習】文型、文を作り	30分
	【復習】作文練習	60分
第12回	語法要点 比較表現1と2	
	【予習】朗読、読解	30分
	【復習】文作り練習	30分
第13回	第2課の練習問題の取り組み	
	【予習】ポイント部分の予習	30分
	【復習】全体のまとめ	30分
第14回	第3課 対話1 程君がアルバイトをしているレストランへ	
	【予習】単語と本文の内容	30分
	【復習】第3課を朗読し、書く、話す	30分
第15回	語法要点 状態持続 「着」を用いた存現文について	
	【予習】言葉の使い方、読み方	60分
	【復習】文の作り方、会話	60分
第16回	対話2の内容と単語	
	【予習】対話内容の朗読	30分
	【復習】単語、本文、ポイントの部分	30分
第17回	第3課の練習問題の取り組み	
	【予習】第1, 2, 3課の単語、本文	30分
	【復習】第1, 2, 3課のポイント、練習問題	30分
第18回	中間テスト	
	【予習】単語と本文	30分
	【復習】ポイントと練習問題	30分

第19回	第4課 対話1 程君がアルバイトをしているレストランで	
	【予習】朗読、単語を覚える	30分
	【復習】本文の理解、会話練習	30分
第20回	語法要点 「把」構文の補充部分、結果補語	
	【予習】ポイントを理解できるように	30分
	【復習】作文練習	30分
第21回	第4課の練習問題	
	【予習】単語と本文を朗読	30分
	【復習】文型で文を作る、文章を書く	30分
第22回	対話2の内容と単語	
	【予習】会話の練習	30分
	【復習】筆記練習問題	50分
第23回	第五課 対話1 キャンパスで	
	【予習】単語を調べ	30分
	【復習】対話内容と単語の覚え	60分
第24回	語法要点 名詞の重ね型 受身文	
	【予習】朗読と覚える	30分
	【復習】ポイント部分の復習	30分
第25回	練習問題を挑戦	
	【予習】作文練習	60分
	【復習】単語、本文、ポイント、練習問題	60分
第26回	対話2の内容と単語	
	【予習】受身文	60分
	【復習】文法練習	60分
第27回	練習部分	
	【予習】単語とポイントの内容	30分
	【復習】練習問題	30分

	基本文型まとめ	
第28回	【予習】単語と本文の朗読	30分
	【復習】文を作る練習、読解	30分
	グループワーク 会話練習	
第29回	【予習】単語と本文を覚える	30分
	【復習】教科書の内容を活かして、活用ができるように	30分
	検定試験向けの練習	
第30回	【予習】プリントの練習	60分
	【復習】回答あわせ	60分
	前期のまとめ	
第31回	【予習】単語、本文、ポイントの部分	60分
	【復習】練習問題	60分
	期末テスト	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1. 授業態度（50%）（ノートの取り状況、グループワークの参加度、朗読・会話・応用練習の真剣さ） 2. 課題（50%）（宿題の完成度、プリントの提出状況、中間テスト・期末テストの成績）で総合的に評価します。 3. ディプロマ・ポリシーに関しては、人間性10%、社会性20%、専門性70%で評価します。到達目標については、富山国		
------	--	--	--

使用資料 <テキスト>	成田静香・藤野眞子ほか『いつでも中国語 2 - 随時随地学漢語-』 朝日出版社	使用資料 <参考図書>	小学館「中日辞典・日中辞典」
----------------	--	----------------	----------------

授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。朗読、暗誦、リスニング練習をご自分できちんとやってください。
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずいつでも聞いてください。（424湯研究室）
オフィス・アワー	火曜日2限

授業科目名	外国語特講（ロシア語）	科目コード	G0402P11
英文名	Special Course in Foreign Language		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 外国語科目
------	--------------------------------

職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	4限目 2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要	ロシア語I Iの続きとなるコースで、既に読み書きができる学生を対象に、週2回という制約で、ロシア語でのアニメを教材に使い、ロシア語の会話表現、文法の知識を増やす。実用的な表現を覚えることによって、ロールプレイングなどでロシア語のスキルを向上する。			
-------	---	--	--	--

キーワード	Listening	Reading	Speaking	Writing	Vocabulary
-------	-----------	---------	----------	---------	------------

到達目標	実践的なロシア語を身につける。
	ロシア語の文法の知識を深める。
	実用的な表現を覚える。

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	4.社会人としての能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ロシア語 I I の復習。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	過去形・現在形・未来形	
	【予習】本文を読む。	30分
	【復習】	30分
第3回	名詞の性・単数・複数・格。ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第4回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第5回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第6回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第7回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第8回	アニメの一部を要約に書く。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第9回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】ロシア語でアニメを見よう。	30分

第10回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第11回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第12回	アニメの一部を要約に書く。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第13回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第14回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第15回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第16回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第17回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第18回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分

第19回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第20回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフを読む練習	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第21回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を覚える	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第22回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第23回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を読む。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第24回	ロシア語でアニメをみよう。	
	【予習】単語と本文を覚えよう。	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第25回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を予習する。	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第26回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を覚えよう。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第27回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を覚えよう。	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分

第28回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】セリフの単語と本文を読む。	30分
	【復習】実用的な表現を覚えよう。	30分
第29回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を書く。	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第30回	ロシア語でアニメを見よう。	
	【予習】単語と本文を書く練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えよう。	30分
第31回	ロシア語での見たアニメの内容を要約に書く。	
	【予習】	30分
	【復習】ロシア語での見たアニメの内容を要約に書く。	30分
第32回	ロシア語での見たアニメの内容を要約に書く。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 1 については、授業中の発話で評価します。(20%) 到達目標 2 については、宿題(40%)、期末レポート(30%)で評価します。 到達目標 3 については、期末レポート評価します。(10%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%
------	---

使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	佐藤純一 『NHK新ロシア語入門』（NHK出版）
----------------	--	----------------	-----------------------------

授業外学修等	交換留学に行くことを高く評価します。
授業外質問方法	426研究室に相談に来てください
オフィス・アワー	月曜日1時限

授業科目名	中級日本語演習Ⅱ	科目コード	G0502L06
英文名	Intermediate Japanese II		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 日本語科目
------	--------------------------------

職名	非常勤講師	担当教員名	要門 美規
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択必修	単位数	2単位

授業の概要	大学の講義を聞いたり、発表したりできるように読む、聞く、話す、書くの四技能をバランスよく伸ばすための練習をします。また、3年のゼミに向けて、レジユメの書き方を学び、論旨が明快な文章のレジユメが作成できるように練習し、最後に発表します。		
-------	---	--	--

キーワード	四技能	レジユメ	発表		
-------	-----	------	----	--	--

到達目標	読解力、聴解力、口頭表現力、作文力を伸ばし大学での活動に役立てることができる。(70%)			
	レジユメの作成ができるようになる。(20%)			
	レジユメを使ってまとめた文章の内容を伝えることができるようになる。(10%)			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(全回四技能の練習を含みます) 文の構造を学ぶ ・段落内の構造	
	【予習】	
	【復習】・読解教材、配布プリントの練習問題をする	60分
第2回	文の構造を学ぶ ・中心文、支持文	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べる	30分
	【復習】・読解教材、配布プリントの練習問題をする	60分
第3回	アウトラインを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べる	30分
	【復習】・読解教材、配布プリントの練習問題をする	60分
第4回	定義の表現を学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第5回	時間の経過の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第6回	比較・対照の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第7回	原因・結果の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第8回	位置を示す表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分

第9回	列挙・順序の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第10回	理由・根拠の表現、展開パターンを学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第11回	筆者の意見を表す表現を学ぶ	
	【予習】・読解教材を一読し、わからない語句を調べておく	30分
	【復習】決まったテーマについて作文を書く	60分
第12回	【レジュメの作り方】 レジュメの特徴、分類的構成	
	【予習】	
	【復習】・レジュメの作成	60分
第13回	【レジュメの作り方】 対比的構成	
	【予習】・レジュメの作成	30分
	【復習】・レジュメの修正	60分
第14回	【レジュメの作り方】 時間的構成	
	【予習】・レジュメの作成	30分
	【復習】・レジュメの修正、発表準備	60分
第15回	【レジュメの作り方】 作ったレジュメの発表	
	【予習】・発表練習	60分
	【復習】・発表の振り返り	15分
第16回	テスト	
	【予習】全体の復習	60分
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標1は期末筆記テスト(50%)、授業への参加度(15%)、課題提出(5%)で評価する。 到達目標2はレジュメの内容で評価する。(20%) 到達目標3はレジュメの発表で評価する。(10%) なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	プリントを配ります	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・読解文を読んでくること ・作文の課題を課すので書いてくること 		
授業外質問方法	メールで連絡(アドレスは履修学生に授業の際に連絡します)		
オフィス・アワー	授業前、AL室で対応。時間がない場合はメールで対応。		

授業科目名	上級日本語演習Ⅱ	科目コード	G0502L08
英文名	Advanced Japanese II		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 日本語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	要門 美規
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択必修	単位数	2単位

授業の概要	専門分野や大学生に必要なテーマを選び、テレビ番組やドラマ、ニュース、エッセイ、新聞等から情報を取り、内容を把握する、そのテーマについて意見を言う、まとめるなどの練習を行います。			
-------	--	--	--	--

キーワード	情報を取る	内容把握	意見を言う	プレゼン
-------	-------	------	-------	------

到達目標	大学の研究活動に必要な日本語の知識を身につけることができる。			
	講義やゼミの発表、テレビ番組などから必要な情報を取り、まとめられるようになる。			
	自分の意見や研究内容を発表することができる。			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・自分の専門について紹介 ・授業の進め方について説明	
	【予習】・自分の専門分野について紹介できるよう、まとめる	60分
	【復習】・授業で出てきた語彙、表現等の復習	60分
第2回	読解 キーワードを見つける	
	【予習】・読む前にテーマについて調べる ・語彙・表現を調べておく	120分
	【復習】・宿題プリント（語彙・表現、文法）	60分
第3回	聴解 キーワードを聞き取る	
	【予習】聴く練習をするため、特に予習の必要はなし	
	【復習】・聞き取れなかった語彙・表現の復習	60分
第4回	話す練習 説明をする ・語彙、表現 ・談話構成を意識する	
	【予習】・テーマについて調べる ・語彙・表現を調べておく	60分
	【復習】・宿題プリント（語彙・表現、文法）	60分
第5回	読解 大意をつかむ ・読んだ内容を要約する	
	【予習】・テーマについて調べる ・語彙・表現を調べておく	60分
	【復習】・宿題プリント（語彙・表現、文法）	60分
第6回	聴解 大意をつかむ ・聴いた内容を要約する	
	【予習】聴く練習をするため、特に予習の必要はなし	
	【復習】・聞き取れなかった語彙・表現の復習	60分
第7回	レポートの書き方1 ・書き言葉、話し言葉 ・要約の仕方	
	【予習】・テーマについて調べる ・資料収集	120分
	【復習】・レポートを書く ・わからなかった語彙・表現について復習	120分

第8回	レポートの書き方2 ・段落を作る ・文や段落をつなぐ ・引用する	
	【予習】・レポートを書く ・資料収集	90分
	【復習】・レポートを書く ・授業で扱った語彙・表現について復習	180分
第9回	聴解 大意をつかむ	
	【予習】聴く練習をするため、特に予習の必要はなし	
	【復習】・聞き取れなかった語彙・表現の復習	60分
第10回	読解 大意をつかむ	
	【予習】・テーマについて調べる ・語彙・表現を調べておく	90分
	【復習】・宿題プリント（語彙・表現、文法）	60分
第11回	会話 相手の立場を意識して話す ・待遇表現 ・場面に応じた話し方	
	【予習】・語彙・表現を調べておく	60分
	【復習】・宿題プリント（語彙・表現、文法）	60分
第12回	話す練習 内容を整理してわかりやすく伝える ・語彙・表現 ・談話構成を意識する	
	【予習】・テーマについてまとめる ・語彙・表現を調べておく	60分
	【復習】・宿題プリント（語彙・表現、文法）	60分
第13回	発表準備 プレゼンテーションの仕方、スライド作成、箇条書き、要約など	
	【予習】・プレゼンのテーマを考える ・資料収集	120分
	【復習】・原稿作成 ・スライド作成	180分
第14回	発表準備 話し方、プレゼンテーションの仕方など	
	【予習】・原稿修正 ・読み練習	120分
	【復習】・スライド修正 ・原稿修正	120分

第15回	発表練習 ・話し方、姿勢など	
	【予習】・原稿修正 ・読み練習	90分
	【復習】・スライド修正 ・原稿修正	120分
第16回	試験及び発表	
	【予習】・原稿修正 ・読み練習	120分
	【復習】・他の学生の発表コメントをまとめる ・自分の発表の反省点を書く	60分

評価方法	小テスト、課題（30%）、提出物(30%)、期末試験(40%)
------	---------------------------------

使用資料 <テキスト>	さまざまな教材を使うので、特に指定しません。	使用資料 <参考図書>	
----------------	------------------------	----------------	--

授業外学修等	
--------	--

授業外質問方法	メールで連絡（アドレスは履修学生に授業の際に連絡します）
---------	------------------------------

オフィス・アワー	
----------	--

授業科目名	日本語総合演習Ⅱ	科目コード	G0502L10
英文名	Integrated Japanese II		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 日本語科目
------	--------------------------------

職名	客員教授	担当教員名	才田 春夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	この科目は、日本語能力試験1級（N1）を目指す留学生が対象です。特に文字と語彙、文法、聴解、読解の面で確実に日本語が使える力を伸ばしていきます。			
-------	--	--	--	--

キーワード	N1	文字・語彙	聴解	読解	集中的演習
-------	----	-------	----	----	-------

到達目標	幅広い話題について書かれた新聞論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高文章などを読よんで、文章の構成内容を理解することができる。				
	幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れ、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。				

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レベルチェックとフィードバック	
	【予習】テスト勉強（昨年使ったテキストを読んでくる）	30分
	【復習】テストでできなかった箇所の復習と暗記	60分
第2回	文字・語彙（多義語）・聴解（音声の特徴に慣れる）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第3回	文法（関係・無関係・様子）・読解（全体をつかむ）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第4回	文字・語彙（多義語）・聴解（即時応答）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第5回	文法（付随行動・逆説）・読解（広告）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第6回	文字・語彙（類義語）・聴解（即時応答）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第7回	文法（条件・逆説条件）・読解（お知らせ）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第8回	文字・語彙（形が似ている言葉）・聴解（課題理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第9回	文法（目的・手段・原因・理由）・読解（説明書き）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分

第10回	文字・語彙（副詞）・聴解（ポイント理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第11回	文法（可能・不可能・禁止）・読解（表・リスト）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第12回	文字・語彙（慣用表現）・聴解（概要理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第13回	文法（比較・対照）・読解（長文）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第14回	文字・語彙（語形成）・聴解（統合理解）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第15回	文法（主張・断定・評価）・読解（長文）	
	【予習】テキストを予習	40分
	【復習】宿題を課す	60分
第16回	模擬テスト	
	【予習】	40分
	【復習】	60分

評価方法	<p>熱心な参加20%、毎回の小テスト50%模擬試験30% 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】 人間性：10% 社会性：10% 専門性：80%</p>		
使用資料 <テキスト>	プリント教材配付	使用資料 <参考図書>	辞書、ノート、普段使っている文法書を持参のこと。
授業外学修等	<p>(1)家庭学習によって十分復習する必要があります。 (2)不確実なものは自分で調べ、確実に覚えることを求めます。</p>		
授業外質問方法	saida@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	中級日本語演習Ⅰ	科目コード	G0502P05
英文名	Intermediate Japanese I		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 日本語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	客員准教授	担当教員名	中野 香保里
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	選択必修	単位数	2単位

授業の概要				
-------	--	--	--	--

キーワード				
-------	--	--	--	--

到達目標				

ディプロマポリシー			
カリキュラムポリシー			

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	
	【復習】	
第2回		
	【予習】	
	【復習】	
第3回		
	【予習】	
	【復習】	
第4回		
	【予習】	
	【復習】	
第5回		
	【予習】	
	【復習】	
第6回		
	【予習】	
	【復習】	
第7回		
	【予習】	
	【復習】	
第8回		
	【予習】	
	【復習】	
第9回		
	【予習】	
	【復習】	

第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法			
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	上級日本語演習Ⅰ	科目コード	G0502P07
英文名	Advanced Japanese I		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 日本語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	中野 香保里
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	選択必修	単位数	2単位

授業の概要	専門分野や大学生活に必要な日本語力を身に付けるため、音声素材や文章の構成に着目しながら内容を把握し、その話題について説明したり、意見を述べたりするスキルを学びます。		
-------	--	--	--

キーワード	情報理解	論理構成	口頭表現能力	
-------	------	------	--------	--

到達目標	音声や文章の構成に着目して「聞く」「読む」ことで、内容が速く理解できるようになる。(30%)
	論理展開に留意しながら、わかりやすく説明したり、意見を述べたりすることができるようになる。(20%)
	大学生活に必要な、周囲の人とのやり取りがスムーズにできるようになる。(20%)
	- に必要な語彙力、文法力を身に付ける。(30%)

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【予習】・初回到日本語レベルの測定予定のため、予習の必要はなし	
	【復習】・授業で出てきた語彙、表現等の復習	60分
第2回	読解 読みのストラテジー（１） ・中心文に着目して読む練習をする	
	【予習】・予習用シートを読む ・語彙・表現を調べておく	60分
	【復習】・読んだ内容の要約	60分
第3回	読解 読みのストラテジー（２） ・キーワードを探しながら読み、文章の内容を把握する ・要約する	
	【予習】・予習用のシートを読む ・語彙・表現を調べておく	60分
	【復習】・読んだ内容の要約	60分
第4回	口頭表現 資料を用いて説明する ・全体の構成、展開を確認する ・語彙、表現を確認する	
	【予習】・なし	
	【復習】・語彙、表現の確認	30分
第5回	口頭表現 資料を用いて説明する ・発表 ・発表の振り返り	
	【予習】・発表テーマに即した資料を探す ・発表内容のアウトラインを作成する	180分
	【復習】・発表の振り返りシート記入	30分
第6回	会話 状況を説明して助言を求める ・会話の流れや必要な語彙、表現を学ぶ ・会話を練習する	
	【予習】・なし	
	【復習】・練習した会話を書く	30分
第7回	音声理解 「日本の教育問題」 ・既有知識を共有する ・内容把握	
	【予習】・テーマについて調べる	60分
	【復習】・学んだ語彙や表現を確認する	30分

第8回	音声理解 「日本の教育問題」 ・内容把握 ・意見交換	
	【予習】・なし	
	【復習】・音声の内容について意見をまとめる	60分
第9回	口頭表現 ・音声で聞いたテーマについて意見を述べる ・意見述べの振り返り	
	【予習】・発表用のメモを作成する	60分
	【復習】・発表した内容をレポートにまとめる	120分
第10回	会話 相手の立場を意識して話す ・待遇表現 ・場面に応じた話し方	
	【予習】・なし	
	【復習】・練習した会話を書く	30分
第11回	読解 (日本の社会問題に関わるテーマの文章を読む) ・文章を読む ・読んだ内容について意見交換をする	
	【予習】・語彙・表現を調べておく	30分
	【復習】・読んだ内容についての意見をまとめる	60分
第12回	口頭表現 ・前回読んだ文章の内容について意見をまとめて述べる ・意見述べの振り返り	
	【予習】・発表用メモを作成する	60分
	【復習】・発表した内容をレポートにまとめる	120分
第13回	期末試験	
	【予習】試験勉強	120分
	【復習】FB確認	60分
第14回	発表「私の国の社会問題」 ・発表の目的、計画の確認 ・全体の構成、必要な表現を確認 ・視覚資料(パワーポイント)作成のポイント	
	【予習】・なし	
	【復習】・発表テーマの決定 ・資料を探す	120分

第15回	発表「私の国の社会問題」 ・アウトライン作成、修正	
	【予習】・原稿修正 ・読み練習	60分
	【復習】・視覚資料修正	120分
第16回	発表「私の国の社会問題」 ・発表 ・発表の振り返り	
	【予習】・発表練習	60分
	【復習】・振り返りシート作成 ・レポート作成	180分

評価方法	<p>到達目標 は期末試験で評価する。(30%)</p> <p>到達目標 は最終発表を中心に評価する。(20%)</p> <p>到達目標 は小課題の達成度(30%)、授業への参加態度(20%)で評価する。</p> <p>なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	ワークシートを配布します。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	メールで連絡(アドレスは履修学生に授業の際に連絡します)		
オフィス・アワー			

授業科目名	日本語総合演習Ⅰ	科目コード	G0502P09
英文名	Integrated Japanese I		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 国際化対応科目 - 日本語科目		
------	--------------------------------	--	--

職名	客員教授	担当教員名	才田 春夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	この科目は、日本語能力試験1級（N1）を目指す留学生が対象です。特に文字と語彙、文法、聴解、読解の面で確実に日本語が使える力を伸ばしていきます。			
-------	--	--	--	--

キーワード	N1	文字・語彙	聴解	読解	集中的演習
-------	----	-------	----	----	-------

到達目標	N2レベルのテストで90%正解できる。				
	幅広い話題について書かれた新聞論説、評論などの意味が理解できる。				
	幅広場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容が理解できる。				

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	レベルチェックとフィードバック	
	【予習】テスト勉強（昨年使ったテキストを読んでくる）	
	【復習】テストでできなかった箇所の復習と暗記	
第2回	文字・語彙（人に関する言葉）・聴解（音声の特徴をつかむ）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第3回	文法（時の表現）・読解（対比）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第4回	文字・語彙（生活に関する言葉）・聴解（即時応答）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第5回	文法（範囲の表現）・読解（言い換え）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第6回	文字・語彙（趣味・娯楽に関する言葉）・聴解（即時応答）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第7回	文法（例示）・読解（比喩）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第8回	文字・語彙（旅行に関する言葉）・聴解（課題理解）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第9回	文法（基準・関連・対応）・読解（疑問提示文）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	

第10回	文字・語彙（教育と仕事に関する言葉）・聴解（ポイント理解）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第11回	文法（理由）・読解（主張表現）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第12回	文字・語彙（メディアに関する言葉）・聴解（概要理解）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第13回	文法（結果・評価）・読解（指示語）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第14回	文字・語彙（社会に関する言葉）・聴解（統合理解）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第15回	文法（感想・主張）・読解（接続）	
	【予習】テキストを予習	
	【復習】宿題を課す	
第16回	模擬試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>熱心な参加20%、毎回の小テスト50%模擬試験30% 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】 人間性：10% 社会性：10% 専門性：80%</p>		
使用資料 <テキスト>	プリント教材配付	使用資料 <参考図書>	辞書、ノート、普段使っている文法書を持参のこと。
授業外学修等	<p>(1)家庭学習によって十分復習する必要があります。 (2)不確実なものは自分で調べ、確実に覚えることを求めます。</p>		
授業外質問方法	saida@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	地域企業講座	科目コード	G0602P03
英文名	Regional Enterprise		

科目区分	キャリア科目 - キャリア科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本授業は、富山県を中心とした企業の方を招いて直接講義を受けます。地元にはどのような企業があり、各企業はどのような経営理念や経営方針のもとで経営活動を展開されているかを知り、「働く」ということはどういうことなのか、「地域で働く」とはどういうことなのかを考察する。授業計画に示す内容は、企業の方との調整を図り、適宜変更する可能性がある。（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：目標8、目標9）</p>		
-------	--	--	--

キーワード	企業研究	企業担当者による講	働く意義	地域貢献
-------	------	-----------	------	------

到達目標	講義で紹介された代表的な富山にある企業を説明することができる。
	企業の活動を学ぶこと通して、自分が進みたい業界や職種の方向性が明確になっている。

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>ガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「働くことの意義」と富山で働くことによる「地方創生・地域貢献」について考える。 ・ 富山県の企業を知る 	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第2回	<p>企業の調べ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業のホームページの見方、検索サイトの活用方法を学ぶ。 	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第3回	<p>ホテル・宿泊業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。 	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第4回	<p>建築・不動産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。 	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第5回	<p>金融業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。 	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第6回	<p>教育関連企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。 	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第7回	<p>運輸業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。 	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第8回	<p>運輸業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。 	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分

第9回	企業研究ワーク ・ 富山県内企業を数社選び（3社予定）、企業のホームページや検索サイトを利用し、ワークシートを完成させる。	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第10回	運輸業 ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第11回	エネルギー産業 ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第12回	流通業 ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第13回	流通業 ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第14回	情報通信業 ・ 県内の企業担当者を招き、事業内容や企業理念、仕事のやり甲斐等について説明を受け、意見交換を行う。	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第15回	マナー講座 ・ 社会人としての、一般的なマナーを学ぶ。	
	【予習】 SNSで授業内容を配信する場合がありますので、目を通しておく。	10分
	【復習】 講義内容を踏まえ、復習として「レポート」を求めることがある。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」（約50%の評価）、復習課題としての「レポート」や「ワークシート」やそれらを発表する「プレゼンテーション」ので評価する（ミニテスト以外で約50%の評価）。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ</p>	<p>使用資料 <参考図書></p>	<p>授業の内容はSNS上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に応</p>
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。学習した内容を復習するための「レポート」、「ワークシート」などと作成する必要がある。また、日々の通学時やテレビコマーシャル等を通して、地元にある企業に対して意識を持ち、キャリア支援センター等を利用して、卒業生の就職先等を知ることが重要である。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。 メールアドレス：kawamoto@tuins.ac.jp SNS：https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室（439室）にて</p>		

授業科目名	ビジネス実務演習	科目コード	G0702L02
英文名	Training in Practical Business Affairs		

科目区分	キャリア科目・実務科目		
------	-------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	高尾 哲康
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>ビジネス社会でのより実践的な知識・技能の向上を図る。顧客満足と社内・社外のコミュニケーション能力を向上させる手段を学ぶ。また、ビジネス文書、統計資料の作成や、仕事を進める上で知っておくとよい法律等を学ぶ。テキストとして、ビジネス能力検定2級テキスト（財団法人専修学校教育振興会監修）を使用。 オンライン授業（Zoomミーティング） Teamsへのリンク チームコード:ed7vi06</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	ビジネス常識	一般常識	社会人基礎力	資格取得
-------	--------	------	--------	------

到達目標	ビジネス能力検定2級の受験に必要な基礎的内容を理解する。
	ビジネス能力検定2級の過去問題、模擬問題を繰り返し行い、出題の傾向を把握する。
	ビジネス能力検定2級に合格できるレベルに到達する。

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ビジネスとコミュニケーションの基本(1)・キャリアと仕事へのアプローチ・会社活動の基本	
	【予習】シラバスおよびテキストp.16-33を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第2回	ビジネスとコミュニケーションの基本(2)・話し方と聞き方のポイント	
	【予習】テキストp.34-41を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第3回	ビジネスとコミュニケーションの基本(3)・接客と営業の進め方・不満を信頼に変えるクレーム対応	
	【予習】テキストp.42-55を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第4回	ビジネスとコミュニケーションの基本(4)・会議への出席とプレゼンテーション	
	【予習】テキストp.56-69を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第5回	ビジネスとコミュニケーションの基本(5)・チームワークと人のネットワーク	
	【予習】テキストp.72-85を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第6回	仕事の実践とビジネスツール(1)・仕事の進め方・ビジネス文書の基本	
	【予習】テキストp.86-91を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第7回	仕事の実践とビジネスツール(2)・統計・データの読み方、まとめ方・情報収集とメディアの活用	
	【予習】テキストp.92-105を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第8回	仕事の実践とビジネスツール(3)・会社数字の読み方・ビジネスと法律・税金の知識	
	【予習】テキストp.106-123を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第9回	仕事の実践とビジネスツール(4)・産業と経済の基礎知識	
	【予習】テキストp.124-127を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分

第10回	総まとめ(1)・項目別演習(練習問題)	
	【予習】これまで学んだ練習問題を見直しておく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第11回	総まとめ(2)・総合演習(過去問題)	
	【予習】これまで学んだ練習問題を見直しておく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第12回	ケーススタディ(1)・クレーム対応	
	【予習】第11回の授業で指示します。 特別授業シート	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第13回	ケーススタディ(2)・プレゼンテーション	
	【予習】第12回の授業で指示します。 ビジネス実務 特別編(新しい職業観)	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第14回	ケーススタディ(3)・顧客開拓	
	【予習】第13回の授業で指示します。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第15回	ケーススタディ(4)・販売計画 授業アンケート(Webシラバスから)【回答期間】2021年1月19日(火)~25日(月)	
	【予習】第14回の授業で指示します。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第16回	ビジネス能力検定2級試験	
	【予習】これまでに学んだ練習問題、過去問題で検定試験準備をしておく。	30分
	【復習】検定試験結果を確認する。	30分

評価方法	<p>ビジネス能力検定2級合格を基準とする。 欠席が3分の1を超える学生は、評価の対象としません。 なお、文部科学省後援「秘書検定2級」に合格している学生に対しては、受講を免除し、単位認定を行う。 到達目標の評価は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：30% 社会性：30% 専門性：40%</p>		
使用資料 <テキスト>	職業教育・キャリア教育財団 監修 日本 能率協会マネジメントセンター「ビジネス	使用資料 <参考図書>	同左 『ビジネス能力検定ジョブパス2級 公式試験問題集(2021年版)』(1620円)
授業外学修等	演習問題は自宅学習を原則とし、予習復習を強く奨励する。		
授業外質問方法	質問等は、掲示板やメールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。		
オフィス・アワー	水曜日1時限(425室)		

授業科目名	ビジネス実務演習 Xクラス	科目コード	G0702P01
英文名	Training in Practical Business Affairs I		

科目区分	キャリア科目・実務科目		
------	-------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	高尾 哲康
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>ビジネス社会に関する全体像の把握、ならびに実務に即した知識・技能の向上を図る。ビジネスシーンにおいて必要不可欠なビジネスマナーや社会人としての基本姿勢を身につける。新入社員レベルの仕事の基本とスキルを身につけ、職場の基本的なマナー、話し方、コミュニケーションの手法などをマスターし、ビジネス文書、報告・連絡・相談、仕事の基本やルール、社会常識を正しく理解する。テキストとして、ビジネス能力検定3級テキスト（財団法人専修学校教育振興会監修）を使用。</p> <p>オンライン授業（Zoomミーティング） Teamsへのリンク(平成25年以降の全過去問はファイルのクラスの資料から) 「チームに参加、またはチームを作成」から、「コードでチームに参加する」をクリック（チームコード：1nmvbkq）。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	ビジネスマナー	一般常識	社会人基礎力	資格取得
-------	---------	------	--------	------

到達目標	ビジネス能力検定3級の受験に必要な基礎的内容を理解する。			
	ビジネス能力検定3級の過去問題、模擬問題を繰り返し行い、出題の傾向を把握する。			
	ビジネス能力検定3級に合格できるレベルに到達する。			

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	仕事の基本とビジネス文書(1)・社会人になるにあたって・会社の仕組み・会社の組織・会社の規律と勤務条件	
	【予習】シラバスおよびテキストp.16-31を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第2回	仕事の基本とビジネス文書(2)・仕事に対する基本姿勢・仕事への取り組み・指示・報告・連絡・相談	
	【予習】テキストp.48-53を読んでおく。 配付資料：公式問題集 第1編.pdf	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第3回	仕事の基本とビジネス文書(3)・ビジネス文書の基本・社内文書の種類と役割・社外文書の種類と役割	
	【予習】テキストp.80-109を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第4回	仕事の基本とビジネス文書(4)・表とグラフ	
	【予習】テキストp.118-123を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第5回	仕事の基本とビジネス文書(5)・通信事務・社会常識を高める情報収集	
	【予習】テキストp.124-131を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第6回	仕事の基本とビジネス文書(6)・業種・業界知識の基本・社会保険と税金	
	【予習】テキストp.132-135を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第7回	対人関係とコミュニケーション(1)・職場の人間関係・就業中のマナー・服装と身だしなみ	
	【予習】テキストp.32-47を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第8回	対人関係とコミュニケーション(2)・話し方の基本・ことばづかい・話の聞き方と指示・命令の受け方	
	【予習】テキストp.54-63を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第9回	対人関係とコミュニケーション(3)・電話応対・来客応対・名刺交換と紹介	
	【予習】テキストp.110-117、p.70-71を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分

	対人関係とコミュニケーション(4)・面談の基本マナーと取引先訪問	
第10回	【予習】テキストp.64-73を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
	対人関係とコミュニケーション(5)・取引先とのつきあい	
第11回	【予習】テキストp.74-75を読んでおく。 ジョブパス過去問題と解答へのリンク 新聞記事(R元年度前期).pdf 新聞記事(R元年度後期).pdf 新聞記事(R2年度後期).pdf 新聞記事についてはあらかじめ印刷しておくことをお勧めします。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
	対人関係とコミュニケーション(6)・冠婚葬祭のマナー	
第12回	【予習】テキストp.76-77を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
	総まとめ(1)・項目別演習(練習問題)	
第13回	【予習】これまで学んだ練習問題を見直しておく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	30分
	総まとめ(2)・総合演習(過去問題)	
第14回	【予習】これまで学んだ練習問題を見直しておく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	30分
	総まとめ(3)・総合演習(過去問題) 授業アンケート(7/29(木)17:00まで)	
第15回	【予習】これまで学んだ練習問題を見直しておく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	30分
	ビジネス能力検定3級試験	
第16回	【予習】これまでに学んだ練習問題、過去問題で検定試験準備をしておく。	30分
	【復習】検定試験結果を確認する。	30分

評価方法	<p>ビジネス能力検定3級合格を基準とする。 欠席が3分の1を超える学生は、評価の対象としません。 なお、文部科学省後援「秘書検定3級」に合格している学生に対しては、受講を免除し、単位認定を行う。 到達目標の評価は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：30% 社会性：30% 専門性：40%</p>		
使用資料 <テキスト>	職業教育・キャリア教育財団 監修 日本 能率協会マネジメントセンター「ビジネス	使用資料 <参考図書>	同左 『ビジネス能力検定ジョブパス3級公 式試験問題集(2021年版)』(1404円)
授業外学修等	演習問題は自宅学習を原則とし、予習復習を強く奨励する。		
授業外質問方法	質問等は、掲示板やメールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。		
オフィス・アワー	水曜日1時限(425室)		

授業科目名	ビジネス実務演習 Yクラス			科目コード	G0702P01
英文名	Training in Practical Business Affairs I				
科目区分	キャリア科目・実務科目				
職名	准教授	担当教員名	高尾 哲康		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	水曜日	時限	4限目		
開講時期	2年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	<p>ビジネス社会に関する全体像の把握、ならびに実務に即した知識・技能の向上を図る。ビジネスシーンにおいて必要不可欠なビジネスマナーや社会人としての基本姿勢を身につける。新入社員レベルの仕事の基本とスキルを身につけ、職場の基本的なマナー、話し方、コミュニケーションの手法などをマスターし、ビジネス文書、報告・連絡・相談、仕事の基本やルール、社会常識を正しく理解する。テキストとして、ビジネス能力検定3級テキスト（財団法人専修学校教育振興会監修）を使用。</p> <p>オンライン授業（Zoomミーティング） Teamsへのリンク(平成25年以降の全過去問はファイルのクラスの資料から) 「チームに参加、またはチームを作成」から、「コードでチームに参加する」をクリック（チームコード：1nmvkkq）。</p>				
キーワード	ビジネスマナー	一般常識	社会人基礎力	資格取得	
到達目標	ビジネス能力検定3級の受験に必要な基礎的内容を理解する。				
	ビジネス能力検定3級の過去問題、模擬問題を繰り返し行い、出題の傾向を把握する。				
	ビジネス能力検定3級に合格できるレベルに到達する。				
ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	キャリア・実務能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	仕事の基本とビジネス文書(1)・社会人になるにあたって・会社の仕組み・会社の組織・会社の規律と勤務条件	
	【予習】シラバスおよびテキストp.16-31を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第2回	仕事の基本とビジネス文書(2)・仕事に対する基本姿勢・仕事への取り組み・指示・報告・連絡・相談	
	【予習】テキストp.48-53を読んでおく。 配付資料：公式問題集 第1編.pdf	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第3回	仕事の基本とビジネス文書(3)・ビジネス文書の基本・社内文書の種類と役割・社外文書の種類と役割	
	【予習】テキストp.80-109を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第4回	仕事の基本とビジネス文書(4)・表とグラフ	
	【予習】テキストp.118-123を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第5回	仕事の基本とビジネス文書(5)・通信事務・社会常識を高める情報収集	
	【予習】テキストp.124-131を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第6回	仕事の基本とビジネス文書(6)・業種・業界知識の基本・社会保険と税金	
	【予習】テキストp.132-135を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第7回	対人関係とコミュニケーション(1)・職場の人間関係・就業中のマナー・服装と身だしなみ	
	【予習】テキストp.32-47を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第8回	対人関係とコミュニケーション(2)・話し方の基本・ことばづかい・話の聞き方と指示・命令の受け方	
	【予習】テキストp.54-63を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
第9回	対人関係とコミュニケーション(3)・電話応対・来客応対・名刺交換と紹介	
	【予習】テキストp.110-117、p.70-71を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分

	対人関係とコミュニケーション(4)・面談の基本マナーと取引先訪問	
第10回	【予習】テキストp.64-73を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
	対人関係とコミュニケーション(5)・取引先とのつきあい	
第11回	【予習】テキストp.74-75を読んでおく。 ジョブパス過去問題と解答へのリンク 新聞記事(R元年度前期).pdf 新聞記事(R元年度後期).pdf 新聞記事(R2年度後期).pdf 新聞記事についてはあらかじめ印刷しておくことをお勧めします。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
	対人関係とコミュニケーション(6)・冠婚葬祭のマナー	
第12回	【予習】テキストp.76-77を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	15分
	総まとめ(1)・項目別演習(練習問題)	
第13回	【予習】これまで学んだ練習問題を見直しておく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	30分
	総まとめ(2)・総合演習(過去問題)	
第14回	【予習】これまで学んだ練習問題を見直しておく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	30分
	総まとめ(3)・総合演習(過去問題) 授業アンケート(7/29(木)17:00まで)	
第15回	【予習】これまで学んだ練習問題を見直しておく。	30分
	【復習】授業中に学んだ練習問題を再確認しておく。	30分
	ビジネス能力検定3級試験	
第16回	【予習】これまでに学んだ練習問題、過去問題で検定試験準備をしておく。	30分
	【復習】検定試験結果を確認する。	30分

評価方法	<p>ビジネス能力検定3級合格を基準とする。 欠席が3分の1を超える学生は、評価の対象としません。 なお、文部科学省後援「秘書検定3級」に合格している学生に対しては、受講を免除し、単位認定を行う。 到達目標の評価は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：30% 社会性：30% 専門性：40%</p>		
使用資料 <テキスト>	職業教育・キャリア教育財団 監修 日本 能率協会マネジメントセンター「ビジネス	使用資料 <参考図書>	同左 『ビジネス能力検定ジョブパス3級公 式試験問題集(2021年版)』(1404円)
授業外学修等	演習問題は自宅学習を原則とし、予習復習を強く奨励する。		
授業外質問方法	質問等は、掲示板やメールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。		
オフィス・アワー	水曜日1時限(425室)		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	講師	担当教員名	一井 崇
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>
-------	---

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	伊藤 葵
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>
-------	---

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	河野 信
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>
-------	---

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1.「人」としての能力(人間性の向上)
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	教授	担当教員名	佐藤 悦夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>
-------	---

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	教授	担当教員名	高橋 ゆかり
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>
-------	---

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>
-------	---

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	大谷 友男
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1.「人」としての能力(人間性の向上)
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ b	科目コード	G0802L04
英文名	Sophomore Seminar b		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	助教	担当教員名	梁 庭昌
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>後期の教養演習 においても前期同様、一般の講義に比べ、学生の皆さんの発表や討論に重点をおいて進めます。またアカデミック・アドバイザーは、3年次での専攻の勉学に備え、学習全般にわたるアドバイスを引き続き行います。具体的には、前期同様、本や新聞を読んで、これまで以上に完成度の高いレポート作成を目指します。こうした学習によって、4年次での卒業論文作成や将来、社会人となったときに求められる基礎力を身につけます。なお、下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。</p>
-------	---

キーワード	文献講読	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察し、レポートにまとめることができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期の学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。後期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	後期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>教養演習におけるレポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用しましょう。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。地元の古い伝統や文化、地域活動等について研究するのもよいでしょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	講師	担当教員名	一井 崇
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用する必要があります。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	伊藤 葵
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』</p>	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用する必要があります。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用する必要があります。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	河野 信
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40％）、授業での発表内容（30％）、レポートの内容（30％）によって評価します。到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70％、社会性30％</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用することが必要です。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	教授	担当教員名	佐藤 悦夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用する必要があります。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	教授	担当教員名	高橋 ゆかり
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用する必要があります。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40％）、授業での発表内容（30％）、レポートの内容（30％）によって評価します。到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70％、社会性30％</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用する必要があります。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	准教授	担当教員名	大谷 友男
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生 活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用することが必要です。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	教養演習 ・ a	科目コード	G0802P03
英文名	Sophomore Seminar a		

科目区分	教養演習科目
------	--------

職名	助教	担当教員名	梁 庭昌
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	演習
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>教養演習 は、学生の発表や討論に重点をおいて進める授業です。本や新聞などの文章を通じた情報収集 (input)、得た情報から自分で考えること (think)、その考えをレポートにして (output) 発表するなどの演習を通して、他人に対して論理的に自分の考えを述べる力を身につけます。同時に、社会への関心も高めていきます。下記の「授業計画」の内容については、前後の順番や実施内容に関して若干変更する場合があります。またアカデミック・アドバイザーと呼ばれる担当教員は、勉学の指導だけでなく、履修指導など大学生活全般に関するアドバイスにも当たります。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	文献調査	レポート作成	プレゼンテーション	ディスカッション
-------	------	--------	-----------	----------

到達目標	文献から必要な情報を得ることができ、その要旨についてまとめたり、自分で考えて意見発表ができる。
	現代社会の諸問題について、さまざまな角度から考察することができる。
	ゼミ内での発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対して質問やコメントができる。

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力 (人間性の向上)
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2年次生としての学生生活、勉学の進め方について...ガイダンス及び履修指導。前期における演習の目標等について。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	合同教養演習（未定）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	文献や新聞の講読、レポート作成、その他の演習	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	期末レポートはこちらから提出してください。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への積極的取り組み姿勢（40%）、授業での発表内容（30%）、レポートの内容（30%）によって評価します。到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】人間性：70%、社会性30%</p>		
使用資料 <テキスト>	担当教員による指示テキスト及び『大学生活のためのツールブック2020』	使用資料 <参考図書>	適宜、演習において紹介します。
授業外学修等	<p>授業の予習・復習については、担当教員が直接伝えます。文献講読はもとより、レポート作成や発表準備等については、授業のない空き時間を大いに活用することが必要です。また、日々新聞やニュースに接し、社会に生じる様々な問題について考えるようにしましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。</p>		
オフィス・アワー	<p>各ゼミの担当教員のオフィスアワーを確認してください。</p>		

授業科目名	消費者論	科目コード	G1102L02
英文名	Consumerism		

科目区分	学部共通科目 - 基礎科目		
------	---------------	--	--

職名	客員教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>21世紀初頭には、消費者基本法の制定、消費者団体訴訟制度の実現、消費者庁の設置など消費者を取り巻く制度的な環境整備が進んだ。しかし、これらの整備が進んでいても、消費者に提供される商品の偽装表示・遺伝子組み換え食品、振り込め詐欺、エネルギー問題等々、消費者を取り巻く環境はさまざまな課題に直面している。今後は、消費者として適切な判断力、意思決定ができる情報力と判断する力が重要である。この講義では、消費者を取り巻く環境について様々な観点から学び、自立した消費者として行動できる基本的な態度を育成する。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	消費者基本法	環境問題	消費者問題	消費者運動	SDGs 1 2
-------	--------	------	-------	-------	----------

到達目標	目標 : 消費者問題に関する法律を理解する。(30%)
	目標 : 消費者問題の歴史を知り、現在の消費者問題を理解する。(40%)
	目標 : 消費者被害への対策を身に付ける。(30%)

ディプロマポリシー	1.「人」としての能力(人間性の向上)
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業の内容と計画、課題、評価方法など） 消費者論とは何を指すのか。消費者の定義、消費者問題とは何か。	
	【予習】	
	【復習】新聞やインターネットで最近の消費者問題について調べる。	30分
第2回	最近の消費者問題について特色を説明する。また、富山県の特色について説明する。 受講者の皆さんの調査内容を報告する。	
	【予習】最近の消費者問題について新聞などで調べる。	30分
	【復習】本時の調査結果をまとめる。	20分
第3回	消費者を取り巻く環境・消費者問題の発生について歴史的な観点から説明する。	
	【予習】	
	【復習】時代区分と消費者問題を整理する。	20分
第4回	最近の消費者を取り巻く環境・身近な消費者問題（食品、衣料、住宅、契約分野）	
	【予習】	
	【復習】最近の食生活、衣生活、住生活で身近なトラブルについて調査する。	30分
第5回	消費者問題・消費者運動の歴史の変遷について説明する（海外）、アメリカ、ヨーロッパを中心に。	
	【予習】	
	【復習】本時の内容をまとめる。	20分
第6回	消費者問題・消費者運動の歴史の変遷について説明する（日本）	
	【予習】	
	【復習】本時の内容をまとめる。	20分
第7回	消費者関連法規 消費者六法について概要を説明する。消費者基本法、消費者保護に関連する法律について説明する。	
	【予習】消費者六法とは何を指すか。	20分
	【復習】消費者関連の法律が制定された経緯についてまとめる。	20分
第8回	消費者行政について学ぶ。	
	【予習】	30分
	【復習】富山県と消費者に関する法令について振り返る。	

第9回	消費者問題解決のための機関 消費生活センターの見学研修（外部研修）または、消費者問題に関連する講演会に参加する。 富山県における消費者の問題や問い合わせについて現状を知る。（場合によっては変更する可能性がある。）	
	【予習】富山県消費生活センターの概要を調べる	20分
	【復習】研修報告をまとめる	30分
第10回	消費者を取り巻く身近なテーマを取り上げ、調査方法、調査データ分析などについて説明する。	
	【予習】社会調査法の履修者は資料に目を通しておくこと。	
	【復習】調査のためのテーマやアンケート内容について考える。	30分
第11回	消費者調査の実施（グループ編成） アンケート作成について、消費者調査について説明。アンケートの作成。	
	【予習】アンケートのテーマについて事前調査	20分
	【復習】グループごとにアンケートを実施する。	60分
第12回	消費者調査の実施 調査結果の集計方法とグループでの集計作業	
	【予習】アンケート実施	60分
	【復習】集計作業と報告書の作成	60分
第13回	消費者調査の実施結果報告会（グループ）	
	【予習】発表準備	60分
	【復習】報告書作成と発表準備	30分
第14回	消費者と事業者の関係についてSDGs12との関係を説明する。エシカル消費について学ぶ。	
	【予習】前期に学んだ、企業・環境・倫理について振り返る	30分
	【復習】消費者としての態度・あり方について考える(課題)	30分
第15回	これから求められる消費者市民社会について総括する。	
	【予習】	
	【復習】これまでの授業で配布したプリントなど整理し、課題のポイントを確認すること。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業中の課題（50％）と最終レポート（50％）で総合的に評価する。 到達目標の評価は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 40％ 本学のデプロマポリシーの達成比率 人間性 30％ 専門性 30％ 社会性		
使用資料 <テキスト>	講義時にプリント配布	使用資料 <参考図書>	消費者六法
授業外学修等	事前の準備（予習）及び事後は授業時に出した課題を作成すること。消費者調査票の作成、調査の実施など時間外に行う。		
授業外質問方法	授業時間開始・終了前後に受けるか、obata@tuins.ac.jpへのメールによる質問も可能		
オフィス・アワー	授業前・終了時		

授業科目名	社会調査法	科目コード	G1102L03
英文名	Social Research Methodology		

科目区分	学部共通科目 - 基礎科目		
------	---------------	--	--

職名	助教	担当教員名	梁 庭昌
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、量的な手法に焦点を当て、調査方法とデータ分析などの技術的側面から社会調査を学ぶ。また、社会調査の考え方についても学ぶ。具体的には、さまざまな社会調査の手法、データ収集から結果分析までのプロセス、また調査倫理などについて、調査の実例を紹介しながら説明する。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	社会調査	定量調査	データ集計	データ分析
-------	------	------	-------	-------

到達目標	社会調査の基本的な考え方を理解することができる。			
	社会調査の分類とそれぞれの事例を理解し、社会調査の全体像を把握することができる。			
	社会調査の基本的な手順を理解し、データ集計および分析方法を把握することができる。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	幅広く多様な専門知識の修得

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、社会調査の全体像	
	【予習】本講義の概要や到達目標、各回の内容を確認する。	60分
	【復習】社会調査の全体像を確認する。	60分
第2回	社会調査とは何か：事例の紹介	
	【予習】「社会調査の具体的な事例として何が挙げられるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】社会調査の事例を理解し、それぞれの調査目的をまとめること。	60分
第3回	社会調査にはどのようなものがあるか：社会調査の分類	
	【予習】「社会調査はどのように分類されるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】社会調査の分類とそれぞれの特徴をまとめること。	60分
第4回	社会調査の事前準備とは：社会調査の企画	
	【予習】「社会調査を実施する前にはどのような準備が必要なのか」について調べておくこと。	60分
	【復習】社会調査を企画するための必要事項をまとめること。	60分
第5回	社会調査の対象は誰か：標本調査	
	【予習】「全数調査と標本調査との違いは何か」について調べておくこと。	60分
	【復習】標本抽出の方法と注意点、また標本サイズの決め方をまとめること。	60分
第6回	第3回から第5回までの講義内容を総括し、小テストを行う。	
	【予習】第3回から第5回までの内容（社会調査の分類、社会調査の企画、標本調査）を確認し整理すること。	90分
	【復習】小テストでわからなかった内容を確認すること。	30分
第7回	小テストのフィードバック・解説 社会調査の主な手段とは何か：調査票の作成（1）	
	【予習】「社会調査の調査票にはどのようなものがあるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】調査票の種類と作成上の注意点をまとめること。	60分
第8回	社会調査の主な手段とは何か：調査票の作成（2）	
	【予習】「調査票の参考となる資料」について調べておくこと。	60分
	【復習】事前に調べた資料を参考し、実際に調査票を作成していただくこと。	60分

第9回	調査票の結果をどのようにまとめるか：調査結果の集計・とりまとめ（1）	
	【予習】「調査票の結果を分析可能なデータに変換するにはどのような方法があるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】調査結果の集計方法、結果のとりまとめ方法をまとめること。	60分
第10回	調査票の結果をどのようにまとめるか：調査結果の集計・とりまとめ（2）	
	【予習】「調査票の自由回答を分析可能なデータに変換するにはどのような方法があるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】調査票の自由回答を処理する基本的な方法をまとめること。	60分
第11回	第7回から第10回までの講義内容を総括し、小テストを行う。	
	【予習】第7回から第10回までの内容（調査票の作成、調査結果の集計・とりまとめ）を確認し整理すること。	90分
	【復習】小テストでわからなかった内容を確認すること。	30分
第12回	小テストのフィードバック・解説 既存の知見をさらなる拡張するために：文献調査	
	【予習】「文献を調べる方法はどのようなものが挙げられるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】文献調査の主な方法を実践してみること。	60分
第13回	既存データをどのように利用するか：社会調査データの利用	
	【予習】「既存の社会調査データを入手できるデータアーカイブにはどのようなものがあるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】主な社会調査データアーカイブからデータを入手する方法を身につけること。	60分
第14回	オンラインで社会調査を実施する場合：インターネット調査	
	【予習】「オンラインで社会調査を実施するにはどのような方法があるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】Googleフォームを利用して調査票の作成を実践すること。	60分
第15回	社会調査するための遵守事項とは：社会調査における法と倫理	
	【予習】「社会調査の倫理とは何か」について調べておくこと。	60分
	【復習】個人情報保護法と社会調査の基本的な倫理をまとめること。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト(2回) 40% ・最終課題レポート 60% ・富山国際大学成績評価基準に従って評価する 		
使用資料 <テキスト>	講義の際に適宜資料を用意し、一部を配布する。	使用資料 <参考図書>	伊達平和・高田聖治『社会調査法(データサイエンス大系)』, 学術図書出版社, 2011
授業外学修等	予習、復習を合計、週2時間必要とする。その他、新聞、雑誌、ニュースなど、社会問題や社会動向などの関連記事に常に目を通しておくこと。		
授業外質問方法	適宜相談に応じるが、電子メールなどで事前にアポイントを取ること。		
オフィス・アワー			

授業科目名	地域文化論	科目コード	G1202P03
英文名	Regional Culture		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目
------	------------------

職名	非常勤講師	担当教員名	木本 秀樹
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>「地域」概念の多様性から1970年代、歴史学において「地域史研究」の理念が登場する。その後、大規模災害や各分野での流動化現象により、地域社会の継続性の困難さも指摘されてきた。こうした中で地域文化における技術・技能伝承、記録・記憶の不連続性や継承力の低下がさげばれながら、今世紀に入りこれらを克服しようとする新たな動向もうかがわれる。ローカルとは地域自体に籠もることではなく、例えば、「地域」という窓から日本全体や北東アジアなどを見る視点として位置づけていこうとするものである。そして地域に生きることの肯定感の高揚や地域社会を批判的（学問的）に見すえて変えていくとともに、ライフステージに応じた担い手育成の役割にも注視していきたい。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	地域史研究	地域文化遺産	生活文化	継承力	地域知
-------	-------	--------	------	-----	-----

到達目標	<p>：文化構造には、基層文化（ex.生活文化）のもとに表層文化（ex.芸術文化）があり、地域文化のもつ多様性や同質性、相互扶助の理念など様々な性格や形態、実情などについて理解を深めることができる。（60％）</p>				
	<p>：地域文化の継承や発展がこれからの地域力創造や地方再生の担い手となり、地域住民が「よりよい生活」を志向していく有用な手段となり得ることを理解することができる。（20％）</p>				
	<p>：社会全体に進行する「ネットワーク型ヨコ社会」や生活単位の基本となる「21世紀家族」の構成、住民間の自己存在感と他者理解の均衡など、地域社会における共存・共生のあり方や課題解決に向けた取り組みにつき、地域文化論の立場から志向することができる。（20％）</p>				

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業科目計画ガイダンス 「地域」・「文化」とは 本授業科目がめざす目的や実施計画、学修上の留意事項などを説明します。次いで、「地域」や「文化」を考える上での基本的な概念や視点、参考文献を提示するとともに、受講学生自身の出身地や居住する地域の文化のあり方を振り返ります。	
	【予習】 出身地や居住する地域の地形・産業などの特色を踏まえるとともに、その地に根ざしてきた芸能や年中行事、現在も行われている（過去に行われていた）特徴的なイベントなどをわかる範囲で挙げる。第1回授業のあり、そのレポートを書いて提出する。第1回授業以降の予習のあり方は、随時各回授業時において説明する。	60分
	【復習】	
第2回	「地域」・「文化」とは 「地域」・「文化」概念については歴史学、民俗学、文化人類学などの学際的視点から解説します。また、「地域」や「文化」が時間的な経過（歴史）と空間的な広がり（地理）から多様に構成されて今日に至るとともに、さらに重層的に解釈できることを概観していきます。	
	【予習】	
	【復習】 「地域」・「文化」のもつ多様性や多角的な視野からの観点を整理する。「地域」・「文化」に関しては、自分の興味関心となる視点を見出すことができるよう、毎回の授業内容を見直すことに努める。第2回授業以降の復習のあり方は、随時各回授業時において説明する。	30分
第3回	富山県の歴史と文化 富山県の自然環境と文化構造・県民性 日本の風土や富山県の自然環境を解説して富山県の文化を生み出した背景や文化圏を概観するとともに、古記録等から文化構造の要素を読み取っていきます。さらに県民性を育ててきた具体的な歴史事象をもとに、県民性の特徴や文化の土壌などを考える手立てとします。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	富山県の歴史と文化 時代区分と古代・中世の越中 日本史上の時代区分を概観し、古代の行政制度が今日の地域区分の基となることを理解します。さらに古代越中国の大家持と『万葉集』や立山と古代社会、中世鎌倉・南北朝・室町・戦国期の歴史事象から、全国的に特色ある地域史・地域文化の一端に触れる機会とします。	
	【予習】	
	【復習】 第4・5・6回授業のテーマから興味関心をもった事柄の一つ調べてまとめ、レポートを提出する。（詳細は授業時に説明する）	120分
第5回	富山県の歴史と文化 近世の越中・近現代の富山県 近世では佐々成政、前田氏による支配ー加賀藩及び富山藩の政策や特徴的な越中売薬について紹介します。近現代では富山県誕生に至る変遷や工業県としての発展、高度経済成長と日本海時代の到来、交通ネットワークの整備など、今日の富山県の姿に迫ります。	
	【予習】	
	【復習】（第4回-復習内容と同様）	
第6回	富山県の歴史と文化 立山にみる文化構造 奈良時代から歴史の舞台に登場し、平安時代から信仰の山として広まり、全国的に布教を展開した立山信仰史を解説します。また、日本の山岳信仰や日本人の精神世界との関わりにも触れるとともに、今日の観光の山ー立山とその文化構造について考える機会とします。	
	【予習】	
	【復習】（第4回-復習内容と同様）	
第7回	「山」・「川」・「海」の文化と思想 自然地形には、それに関係性をもつ集団の営みや文化的要素が内在するとともに、その根底に息づいてきたものに日本のみならず、東アジアにおける思想的背景が存在することを解説します。中でも、これらが日本における精神文化の基調となっていくことにも触れていきます。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	地域社会と文化遺産 富山県に現存する伝統芸能に関する映像（「とやまの奥山（ひきやま）」）を視聴して、現存する文化遺産の一端を解説します。さらに、それらのもつ今日的な文化的価値や現況について紹介するとともに、自分の身近な地域に存在する芸能やその保存に関わる考え方に迫ります。	
	【予習】 第13回授業では、地域博物館・資料館について学修する。そこで富山県内の地域博物館・資料館などを紹介し、その中から1館を選択して事前に観覧する。（他に自分が観覧したい館でもよい）観覧は「地域」や「文化」といった観点を中心にして、第13回授業までの間にレポートを書いて提出してもらおう。（詳細は授業時に説明する）	120分
	【復習】	
第9回	地域社会と文化遺産 現代に生きる伝統芸能とそれを取り巻く今日の課題は、数々存在します。これらを踏まえて世界遺産、日本遺産をはじめとする国内外の遺産登録の現状とその背景について考える機会とします。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	生活文化とは 日本の風土に根ざしてきた生活文化とは何か、その内容の一端と視点を解説します。実例として、太平洋戦争後（1945年・昭和20年～）から今日までの日本の半世紀にわたる生活様式の変遷について取り上げ、生活文化という概念が登場するに至った背景を考えます。	
	【予習】	
第11回	生活文化とは 日本の風土と生活習慣を背景に、今日まで培われてきた太陰暦（旧暦）1年間の生活暦や年中行事について解説します。これら背景には日本のみならず、古代東アジア社会の思想が色濃く反映するとともに、現代においても姿形を変えて息づいていることの意義を考えます。	
	【予習】	
第12回	【復習】 地域的特色や違いをとらえることを視点とし、自宅で食べる正月の雑煮の内容を確認してレポートを提出する。（詳細は授業時に説明する）	60分
	「郷土史」から「地方史」、そして「地域史」へ 地域の歴史は、明治・大正期から昭和前期（～1945年）まで広く「郷土史」とよばれ、その後、1950年代の「地方史」、1970年代からは「地域史」と呼称して今日に至ります。これが単なる名称の変化のみならず、「郷土」の歴史研究や「地域」概念の変遷に基づくことを考えます。	
第13回	【予習】	
	【復習】 これまで既習（既修）してきた歴史教科と本授業科目での「地域史」との相違する視点は何か、第3～6回授業内容も踏まえながら自分の考えをまとめておく。	60分
第13回	地域歴史遺産と生涯学習社会 地域社会に伝えられてきた歴史資料（史）料の存在、その保存や活用に向けた取り組みについて解説します。さらに地域博物館・資料館、自治体史編纂、市民講座、歴史的環境整備など、地域社会と地域文化をつなぐコーディネーターとしての役割や機能についても考えます。	
	【予習】 第15回授業・総括と発表（アクティブ・ラーニング）に向けて準備する。発表内容や形態、方法、機器の使用などについては、今回授業時以前から適宜指導していくが、自分の専攻や他授業科目の既修内容を踏まえた視点からの発表も期待する。	120分
第14回	【復習】	
	地域学と地域文化 地域学や地域づくり、地域学習の視点を提示してその背景について説明するとともに、近未来における地域社会の担い手育成に向けたあるべき姿や方向性についても解説します。さらに、地域文化の継承・発展をこれからの市民的教養として捉えていく姿勢も示します。	
第15回	【予習】（第13回-予習内容と同様）	
	【復習】	
第15回	総括と発表 - アクティブ・ラーニング 地域文化の継承と発展を図る上で求められる資質や能力、地域づくりと地域文化との関わり、伝統文化の保存と地域開発との整合性など、各授業時に示したテーマの中から関心をもったものを選択して発表してもらいます。（自分の専攻を踏まえた視点からの発表も期待する）	
	【予習】	
第16回	【復習】 これまでの学修内容の概略をまとめ、地域文化の振興を図る上で自ら課題解決に臨む姿勢をもつことができるよう、復習に努める。	120分
	前期末試験	
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標 及び では、授業中に指定する課題レポート、口頭発表、受講態度等を中心に評価する。(40%)</p> <p>到達目標 及び では、前期末筆記試験をもとに評価する。(60%) 評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>毎授業時には講師作成資料や記事、データ、映像(動画・静止画)などの教材を提示</p>	<p>使用資料 <参考図書></p>	<p>・『富山県史』各巻、各市町村史、地域史研究書、歴史学研究書をはじめ、テーマに</p>
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回-予習で挙げた、学生個人による地域博物館・資料館の観覧及びレポート提出。 ・学生の出身地や居住地における年中行事など、地域資源の確認。(授業時に説明する) 		
授業外質問方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時前後及び随時、理解度の確認。 ・講師と学生との時間調整により面談、その他による対応。(第1回授業時のガイダンスにおいて説明する) 		
オフィス・アワー	<ul style="list-style-type: none"> ・金曜日2時限 非常勤講師控室。(事前確認のうえで水曜日2時限も可) ・講師と学生との時間調整により面談、その他による対応。(第1回授業時のガイダンスにおいて説明する) 		

授業科目名	地域課題探求講座	科目コード	G1202P04
英文名	Course in Regional Problem Exploration		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目		
------	------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	伊藤 葵
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日 金曜日	時限	3限目 4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本科目は今日の地域社会がどのような問題点や課題を掲げ、どのような対策を講じていくべきか、問題発見型・課題解決型学習を目指します。具体的には、県内の地域社会の現状を理解し、論理的、体系的に分析・発表できる力を養成するために、外部講師等を招聘して実践的な学習を行うこととします。また、講義形式だけではなくグループワークや発表の時間も設けることで、アクティブ・ラーニング型の授業を実施します。</p> <p>授業は、2コマ連続・隔週で実施します。1コマ目は教員による説明および外部講師による講義、2コマ目は講義内容を基にグループでの地域課題分析および発表を行います。授業実施日は、第1回ガイダンス（4/9）、第2、3回（4/16）、第4、5回（5/14）、それ以降は、随時、連絡します。</p> <p>（担当教員：実務経験あり）</p>		
-------	--	--	--

キーワード	地域問題の発見	地域課題解決	課題解決型学習		
-------	---------	--------	---------	--	--

到達目標	県内の地域社会の現状や問題について理解すること。（30%）				
	地域課題に対して、どのような解決アプローチがあるのかについて理解すること。（30%）				
	グループワークや発表を通して、地域課題解決に向けた自身の意見を発信すること。（40%）				

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	幅広く多様な専門知識の修得

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>ガイダンス 本講義の進め方および問題発見型・課題解決型学習について説明します。また、地域社会の現状や問題の概要について学びます。</p>	
	<p>【予習】自身が感じる地域の問題について考えてきてください。</p>	30分
	<p>【復習】授業中に配布したテキストやノートを参考に、課題を提出してください。</p>	30分
第2回	<p>地域課題 地域創生の現状と課題（外部講師）資料</p>	
	<p>【予習】富山県のホームページに掲載されている「とやま未来創生戦略」に目を通す。</p>	30分
	<p>【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。</p>	
第3回	<p>グループワーク 地域課題 の内容を基に、グループでの討論と発表。</p>	
	<p>【予習】第2回の講義内容を整理したノートを確認する。</p>	
	<p>【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。</p>	60分
第4回	<p>地域課題 コンパクトシティ政策について（外部講師） 資料 資料</p>	
	<p>【予習】富山市のホームページに掲載されている「富山市のコンパクトシティ政策」に目を通す。</p>	30分
	<p>【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。</p>	
第5回	<p>グループワーク 地域課題 の内容を基に、グループでの討論と発表。</p>	
	<p>【予習】第4回の講義内容を整理したノートを確認する。</p>	
	<p>【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。</p>	60分
第6回	<p>地域課題 自治体における少子高齢化対策について（外部講師） 資料</p>	
	<p>【予習】少子高齢化に関するニュースや新聞記事をノートにまとめる。</p>	30分
	<p>【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。</p>	
第7回	<p>グループワーク 地域課題 の内容を基に、グループでの討論と発表。</p>	
	<p>【予習】第6回の講義内容を整理したノートを確認する。</p>	
	<p>【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。</p>	60分
第8回	<p>地域課題 自治体の転入政策について（外部講師） 配布資料</p>	
	<p>【予習】外部講師と調整し、事前に予習内容を提示。</p>	30分
	<p>【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。</p>	

第9回	グループワーク 地域課題 の内容を基に、グループでの討論と発表。	
	【予習】第8回の講義内容を整理したノートを確認する。	
	【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。	60分
第10回	地域課題 民間組織による地域課題解へのアプローチ 1 配布資料	
	【予習】外部講師と調整し、事前に予習内容を提示。	30分
	【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。	
第11回	グループワーク 地域課題 の内容を基に、グループでの討論と発表。	
	【予習】第10回の講義内容を整理したノートを確認する。	
	【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。	60分
第12回	地域課題 民間組織による地域課題解へのアプローチ 2 配布資料	
	【予習】外部講師と調整し、事前に予習内容を提示。	30分
	【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。	
第13回	グループワーク 地域課題 の内容を基に、グループでの討論と発表。	
	【予習】第12回の講義内容を整理したノートを確認する。	
	【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。	60分
第14回	地域課題 産学官連携による地域課題の解決 配布資料	
	【予習】外部講師と調整し、事前に予習内容を提示。	
	【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。	
第15回	グループワーク +総括 地域課題 の内容を基に、グループでの討論と発表し、最後に全体の総括をする。	
	【予習】第14回の講義内容を整理したノートを確認する。	
	【復習】講義の内容やグループワークの内容を踏まえ、小レポートを提出。	60分
第16回	期末レポート 課題提出 に提出するようにしてください。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	グループ発表および小レポート（70%）、期末レポート（30%）とし、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	指定なし	使用資料 <参考図書>	指定なし
授業外学修等	講義中に配られたプリントや自分の講義ノートをよく復習するようにして下さい。また、グループワークやレポート課題では、事前の予習が大切となります。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	国際関係論	科目コード	G1302L03
英文名	International Relations		

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	渡部 恵子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	国際情勢を読むツールとなる理論の基礎を学び、多くの国際報道に触れながら、身の回りで起きている事象への洞察力をみがく。(担当教員: 新聞社での実務経験あり)			
-------	---	--	--	--

キーワード	国際関係	グローバリゼーション	アメリカ	東南アジア	北東アジア
-------	------	------------	------	-------	-------

到達目標	国際関係論の歴史や理論を理解し、自分が関心を持つ世界の地域やテーマに自分なりの考えを表明することができる。(100%)			

ディプロマポリシー	1. 「人」としての能力(人間性の向上)	
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
				/

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		/	/	/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	国際関係論とは何か、国際関係研究の基本的枠組みについて学ぶ。	
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく。	120分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第2回	安全保障。冷戦時代からの安全保障という概念の変遷を確認しながら、現在の安全保障体制について検討する。	
	【予習】教科書の該当部分に目を通しておく。	120分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第3回	9.11後のアメリカの政治・外交	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第4回	国際社会とベトナム	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第5回	台頭する中国	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第6回	朝鮮半島	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第7回	国際社会の中の日本 。日本の経済外交、国際貢献について考察する。	
	【予習】テーマに関係する記事を探して読み、印刷してくる。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第8回	国際社会の中の日本 。日本の領土問題について考察する。	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	60分
	【復習】テストの結果を見直し、理解が不十分な箇所について教科書を読み直す。	30分
第9回	国際関係論の理論。リアリズム、リベラリズム、コンストラクティズムなどについて学ぶ。	
	【予習】参考図書をはじめ、国際関係論についての概説書の中の、当該の章にできる限り目を通しておく。	120分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語の意味などを再確認する。	30分

第10回	世界の紛争・内戦	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	60分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第11回	欧州の統合と英国の離脱	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第12回	南北問題	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第13回	グローバリゼーション	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第14回	情報革命と脱国家的主体。インターネットの普及による情報革命が国家間の関係に及ぼした影響について考察。こうした技術革新を背景にした脱国家的主体にどのようなものがあるか検討し、それらが国家関係に及ぼす影響について明らかにする。	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第15回	国際社会の未来。情報化が済み、脱国家的主体が急増し、大きな役割を占めるようになってきた国際社会の近未来について考察する。	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷して持参する。	60分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第16回	課題（1ページ目は問題、2ページ目が解答用紙です。解答を記入して、ファイルごと渡部まで送信してください。教科書を見てかまいません）	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	積極的な授業参加を評価します（30％）、期末テスト（70％）。なお、評価は、「富山国際大学評価基準」に従って行います。DP配分比率は、人間性：60％、専門性：40％		
使用資料 <テキスト>	『Next教科書シリーズ 国際関係論』（有斐閣）	使用資料 <参考図書>	ナイ『国際紛争 理論と歴史』（有斐閣）
授業外学修等			
授業外質問方法	随時受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜・木曜2限。		

授業科目名	異文化理解	科目コード	G1302L04
英文名			

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	客員教授	担当教員名	才田 春夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	グローバル化社会での経済・社会活動は、異なる社会的背景を持った人々との共存共生について考える授業とします。国際社会における異文化、日本国内での異文化について考え、さらに、異なった文化背景を持った人といかに円滑に共存できるかについて一緒に考えていきましょう。			
-------	--	--	--	--

キーワード	グローバリゼーショ	異なる考え方	身近な異文化	多文化共生
-------	-----------	--------	--------	-------

到達目標	見える文化、見えない文化について説明できる。
	異文化受容のプロセスについて説明できる。
	非言語によるコミュニケーションができる。

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
	/			

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 授業の概要や重要な点などについて説明する。	
	【予習】シラバスを読む	5分
	【復習】	
第2回	現代社会と文化 文化とは何か	
	【予習】文化についての資料を読んでくる	15分
	【復習】文化について自分なりの考えをまとめる	20分
第3回	現代社会と文化 身近な文化について考える	
	【予習】地域の文化について調べる	15分
	【復習】身近な文化についてまとめる	20分
第4回	現代社会とグローバリゼーション	
	【予習】グローバリゼーションとは何かについて資料を読んでくる	15分
	【復習】グローバル社会に求められることについてまとめる	20分
第5回	異文化との出会い	
	【予習】異文化についての資料を読み、自分なりにまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第6回	異文化との出会い イスラム文化	
	【予習】資料を読み、自分なりにまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第7回	授業内容の整理とまとめ	
	【予習】資料を読み、自分なりにまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第8回	異文化との出会い 経済のグローバリゼーションと社会活動	
	【予習】資料を読み、自分なりにまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ&宿題	20分
第9回	異文化適応	
	【予習】異文化適応についての資料を読む	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分

第10回	違いに気づく	
	【予習】資料を読み、自分の考えをまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第11回	異文化発見 身近な異文化について考える	
	【予習】資料を読み、自分の考えをまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第12回	差別を考える	
	【予習】資料を読み、自分なりにまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第13回	多異文化受容のプロセス	
	【予習】資料を読み、自分の考えをまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第14回	非言語コミュニケーション	
	【予習】資料を読み、自分の考えをまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第15回	異文化社会と国際協力 途上国の人々との話方（インタビュー調査）ワークショップ	
	【予習】資料を読み、自分の考えをまとめる	15分
	【復習】授業内容の整理とまとめ	20分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業への積極的取り組み姿勢20%、毎回、授業の最後に小テスト50% プレゼンテーション30 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。 【ディプロマポリシー配分比率】 人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%		
使用資料 <テキスト>	適宜資料配布	使用資料 <参考図書>	異文化との出会い（勁草書房） 途上国人々との話方（みずのわ出版）
授業外学修等	各自、与えられた課題について授業時間外に調べてまとめる。		
授業外質問方法	saida@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	日本の社会と文化	科目コード	G1302L05
英文名	Japanese Society and Culture		

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	福島 美枝子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	この科目は、留学生が日本理解を深めるための科目です。講義やディスカッションによって日本を多角的に調べて考えるとともに、留学生が普段の生活や勉強の中で得ている問題意識や知識を深化させる活動を行ないます。後半には個人（または参加者が多い場合はグループ）で研究を行ない、その成果を発表する機会を設けます。			
-------	---	--	--	--

キーワード	日本理解	社会と文化	多角的考察	母国との比較	個人研究
-------	------	-------	-------	--------	------

到達目標	日本理解：授業内容の吸収、母国との比較をまじえての考察。
	日本語育成：要点を読み取る、統計資料が開説できる、自分のことばで分かりやすく説明できる、考えを伝え合う、レポートを作成する。
	個人（グループ）研究の遂行：問題点の明確化、文献や統計資料の活用、引用方法、情報の総合、情報源の明示。

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	留学生の日本語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業ガイダンス・日本の地理と富山について	
	【予習】	
	【復習】復習のためのワークシート	30分
第2回	四季と年中行事・祝日：春・夏	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】復習のためのワークシート	30分
第3回	四季と年中行事・祝日：秋・冬	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】復習のためのワークシート	30分
第4回	伝統芸能（DVD視聴）	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】あなたの国の伝統芸能について紹介文を書いてみよう	30分
第5回	日本の歴史：時代区分・日本の近代化と戦後	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】復習のためのワークシート	30分
第6回	住まいと食生活	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】あなたの郷里の名産物について紹介文を書いてみよう	30分
第7回	少子高齢化 と 社会福祉	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】復習のためのワークシート	30分
第8回	教育制度 と 教育に関する社会問題	
	【予習】資料（プリント教材）の読解	30分
	【復習】あなたの国の教育制度や教育に関する社会問題について紹介文を書いてみよう	30分
第9回	文学作品を読み、味わう - 『羅生門』 『ピルマの竖琴』	
	【予習】原文の抜粋部の音読	30分
	【復習】あなたの国の文学作品で紹介したいものについて書いてみよう	30分

第10回	新聞記事を読み、要点を書く	
	【予習】資料（プリント教材）読解のためのワークシート	30分
	【復習】記事の音読 ・ 語彙の復習	30分
第11回	統計資料から情報を読み取り、要点を書く	
	【予習】資料（プリント教材）読解のためのワークシート	30分
	【復習】応用問題（宿題）	30分
第12回	研究プロジェクト(1) 課題の設定 と 図書館の利用	
	【予習】研究課題の考案	30分
	【復習】資料探し	30分
第13回	研究プロジェクト(2) 資料購読と考察	
	【予習】資料収集	30分
	【復習】資料の要点整理と考察点の明確化	60分
第14回	研究プロジェクト(3) 口頭発表に関するガイダンス・配布資料作成	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】発表内容全体の明確化 ・ PPおよびスピーチ原稿完成	60分
第15回	研究発表とディスカッション（第1グループ）	
	【予習】発表グループ リハーサル	30分
	【復習】他の学生や教員の質問や意見を組み入れてレポート作成	60分
第16回	研究発表とディスカッション（第2グループ）	
	【予習】発表グループ リハーサル	30分
	【復習】他の学生や教員の質問や意見を組み入れてレポート作成	60分

評価方法	(1) 平常点～授業内の課題と宿題(60%) (2) 個人(またはグループ)研究～口頭発表とレポート提出(40%)		
使用資料 <テキスト>	1 プリント教材配付 (2) ノートと辞書を毎回持参	使用資料 <参考図書>	授業で適宜紹介
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の資料を必ず読み、授業でのディスカッションに備えること。 ・授業外の時間も活用して個人(またはグループ)の研究を遂行すること。 		
授業外質問方法	メール mifuku@tuins.ac.jp または メディアコーナーでの面談		
オフィス・アワー	木曜日 3・4 時限(国際交流センター)		

授業科目名	異文化研修	科目コード	G1305F06
英文名			

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	才田 春夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	世界遺産の首都バレッタをはじめ多くの世界遺産を有する地中海の小国マルタ。その歴史と文化に惹かれ毎年、人口の10倍以上の観光客が世界各国から訪れる。そんなマルタの人と文化に触れ、マルタの魅力を理解する研修である。		
-------	---	--	--

キーワード	世界遺産	中世ヨーロッパ文化	学生交流		
-------	------	-----------	------	--	--

到達目標	: マルタの人と文化を理解する。			
	: 世界遺産とその利用について考える。			
	: 英語でコミュニケーションをとる。			

ディプロマポリシー	4. 社会人としての能力 (社会性の向上)	
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、学内での事前準備と現地活動についての説明。マルタ文化に触れる	
	【予習】シラバスに目を通す	10分
	【復習】マルタ文化の復習	30分
第2回	実習内容は以下の通り。 事前準備	
	【予習】マルタの歴史について調べる	30分
	【復習】歴史のまとめ	60分
第3回	マルタの文化（食）	
	【予習】資料を読む	30分
	【復習】食文化のまとめ	60分
第4回	マルタの文化（世界遺産）	
	【予習】資料を読む	30分
	【復習】世界遺産のまとめ	60分
第5回	マルタの文化（人と観光の関わり）	
	【予習】資料を読む	30分
	【復習】人と観光のまとめ	60分
第6回	渡航準備（危機管理）	
	【予習】資料を読む	30分
	【復習】危機管理のまとめ	60分
第7回	渡航準備（危機管理）	
	【予習】資料を読む	30分
	【復習】危機管理のまとめ	60分
第8回	渡航準備（日本文化紹介PP作成）	
	【予習】何を紹介するかを考える	30分
	【復習】PP作成	60分
第9回	渡航準備（日本文化紹介PP作成）	
	【予習】何を紹介するかを考える	30分
	【復習】PP作成	60分

第10回	現地活動（人と歴史・文化の現地調査）	
	【予習】調査準備	30分
	【復習】その日の活動報告のまとめ	60分
第11回	現地活動（人と歴史・文化の現地調査）	
	【予習】調査準備	30分
	【復習】その日の活動報告のまとめ	60分
第12回	現地活動（人と歴史・文化の現地調査）	
	【予習】調査準備	30分
	【復習】その日の活動報告のまとめ	60分
第13回	現地活動（人と歴史・文化の現地調査）	
	【予習】調査準備	30分
	【復習】その日の活動報告のまとめ	60分
第14回	現地活動（人と歴史・文化の現地調査）	
	【予習】調査準備	30分
	【復習】その日の活動報告のまとめ	60分
第15回	現地活動（人と歴史・文化の現地調査）	
	【予習】調査準備	30分
	【復習】その日の活動報告のまとめ	60分
第16回	事後報告	
	【予習】報告書作成	90分
	【復習】	

評価方法	貢献度50%、レポート50%		
使用資料 <テキスト>	適宜配布	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	ヨーロッパ文化に興味のある人は是非参加。		
授業外質問方法	研究室にて対応。		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	異文化研修	科目コード	G1305F06
英文名			

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	高橋 哲郎
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>韓国での研修を通して、異文化理解を深めることを目的とする。今年度の研修は、協定校である大邱大学学生との合同プログラムを実施する。両大学の専攻分野が近い学生が学びを深めるため、「地方創生ビジネスプラン」、「高齢者・障害者支援システム」、「農村観光」という共通の課題に取り組む予定である。また、韓国の学生、一般の方に富山県および日本の紹介するプログラムを実施する。プレゼンテーション用資料は事前授業で準備作成する。大邱大学の学生との交流会も計画している。帰国後、研修レポートを作成し報告してもらう。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	学生交流	学術交流	プレゼン		
-------	------	------	------	--	--

到達目標	韓国の学生との交流を通してコミュニケーション力の向上を図る。(50%)				
	韓国の学生との専攻分野でのディスカッションを通して、専門知識の充実・深化を図る。(50%)				

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	今年度、韓国異文化研修の概要説明	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	研修前教育： 日本と韓国の地域問題学習、グループ分け、国際交流準備講座	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	研修前教育： 日本と韓国の地域問題学習、担当課題の決定、国際交流準備講座	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	研修前教育： 日本と韓国の地域問題学習、国際交流準備講座	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	研修前教育： 日本と韓国の地域問題学習、担当課題の決定、グループ分け、国際交流準備講座	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	現地実習（約2週間）： 大邱大学学生と本学学生の混成チームを結成（1チーム5名程度、4チーム）、交流会等	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	現地実習（約2週間）： 大邱大学及び本学教員による韓国・日本の地域問題に関する講義受講	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	現地実習（約2週間）： 現地調査	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	現地実習（約2週間）： 現地調査	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	現地実習（約2週間）： 現地調査	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地実習（約2週間）： 現地調査	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地実習（約2週間）： 現地調査結果を踏まえて各チームで地域課題解決案作成	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地実習（約2週間）： 現地調査結果を踏まえて各チームで地域課題解決案作成	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地実習（約2週間）： 地域課題解決案のプレゼンテーション実施	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	事後研修： 報告書作成	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前研修への取り組み姿勢(25%)及び韓国での現地研修(60%)、研修報告レポート(15%)により評価する。		
使用資料 <テキスト>	テキストなし。これまでの研修内容をまとめた資料・プレゼンテーション等配布。	使用資料 <参考図書>	随時紹介
授業外学修等	韓国での研修は夏休み中に実施(8月~9月初旬、約2週間を予定)。韓国語の初歩(ハングルが読める程度)を学習しておくことが望ましいが、事前授業でも簡単に教える予定である。自宅でもプレゼン資料作成が必要となる。		
授業外質問方法	授業後とオフィス・アワーにて対応する。メーリングリスト作成予定。		
オフィス・アワー	木曜日1時限		

授業科目名	異文化研修	科目コード	G1305F06
英文名			

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	湯 麗敏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>中国で研修を通して、異文化理解を深めることを目的とする。研修は、本学の中国にある協定校の協力の下で実施する。中国の大学生との交流や中国の文化、歴史、言葉などの学びをしながら、中国の世界遺産、観光地での現場見学と実習を行う予定である。百聞一見しかず、生の異国の風景を見、人の声を聴き、事情を理解できることにより国際感覚を培うことを目指したい。出発までには、15回の事前勉強をする。帰国後、研修レポートを作成し報告してもらう。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	日中学生交流	異文化理解	国際感覚		
-------	--------	-------	------	--	--

到達目標	1. 研修先のヒト・モノ・文化への認識と理解ができる。
	2. 積極的にいろいろな人とコミュニケーションをとることができる
	3. 国際感覚を身に付け、複眼で世の中の動き、モノ・ヒト・コトを見る、考える力をつくようができる。

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	中国異文化研修について+B35:l77での概要説明	
	【予習】関係資料の収集	30分
	【復習】資料を読む	60分
第2回	研修先の事情について	
	【予習】研修先地の情報資料の調べ	60分
	【復習】ご当地の文化歴史民俗を知る	60分
第3回	人文、歴史、地理について語る	
	【予習】発表準備	60分
	【復習】発表練習	60分
第4回	生活環境、風俗習慣について	
	【予習】異文化理解への心構え	60分
	【復習】発表準備	60分
第5回	中国人の考え方、価値観、発想法について	
	【予習】資料収集	60分
	【復習】資料を読む、メモをする	60分
第6回	現地の経済状況について	
	【予習】関係事情を調べ	60分
	【復習】発表に準備	60分
第7回	現地の学生と交流するための準備	
	【予習】交流の内容、必要なことを考える	30分
	【復習】各自で調べる	60分
第8回	発表用の原稿作り	
	【予習】発表内容を考える	30分
	【復習】発表内容を作成、チェック	60分
第9回	全員発表	
	【予習】発表準備	30分
	【復習】発表練習	30分

第10回	簡単な挨拶言葉の勉強	
	【予習】各自で練習、覚える	30分
	【復習】会話準備	30分
第11回	出発前の準備こと	
	【予習】各自で調べる	30分
	【復習】各自で調べる	30分
第12回	海外へ行く必要な心構え	
	【予習】事前準備	30分
	【復習】事前準備	30分
第13回	安全教育について	
	【予習】渡航リスク考え	30分
	【復習】研修先の情報を把握	30分
第14回	渡航に必要な保険、書類作成、手続きについて	
	【予習】各自で準備	30分
	【復習】出発前の最終チェック（必要な書類、交流用の資料、持っていくものなど）	30分
第15回	研修後の報告レポートなど	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前研修への取り組み姿勢(25%)、中国での現地研修(60%)、研修報告レポート(15%)により評価する。		
使用資料 <テキスト>	テキストなし。	使用資料 <参考図書>	随時紹介
授業外学修等	中国での研修は夏休み中に実施(8月下旬か~9月初旬に、約1週間を予定)。中国語が分からなくても、参加できるプログラムである。事前授業でも簡単に教える予定である。事前勉強の一環として、自宅でプレゼン資料作成が必要となる。		
授業外質問方法	質問があれば、424研究室にまで来てください。		
オフィス・アワー	火曜日 2 時限		

授業科目名	インターナショナルプログラム（長期）	科目コード	G1306F09
英文名	International Programs (long-term)		

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年夏季集中	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	0単位

授業の概要	<p>本プログラムは、原則として3カ月以上、1年以下の留学プログラムである。留学先は、フランス、オーストラリア、マルタ、米国、カナダ、中国、韓国等の本学との提携校である。現地での語学研修のプログラム内容は留学先で異なるが、派遣前指導、派遣後指導を行い、受講時間数ならびに成績によって単位を与える。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	語学のスキルアップ	異文化理解		
-------	-----------	-------	--	--

到達目標	語学研修プログラムを通して、語学のスキルアップを図る。		
	ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の人々との交流を図る。		

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	派遣前指導、派遣先大学の状況、生活等について説明。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	事後指導、本学における単位認定請求の資料作成。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	現地研修の時間数や成績に応じて、単位を与える。評価は、認定単位 (P)とする。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	インターナショナルプログラム（短期）	科目コード	G1306F10
英文名	International Programs (short-term)		

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年夏季集中	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	0単位

授業の概要	<p>本プログラムは、2週間～5週間の留学プログラムである。留学先は、フランス、オーストラリア、マルタ、米国、カナダ、中国、韓国等の本学との提携校である。現地での語学研修のプログラム内容は留学先で異なるが、派遣前指導、派遣後指導を行い、受講時間数ならびに成績によって単位を与える。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	語学のスキルアップ	異文化理解		
-------	-----------	-------	--	--

到達目標	語学研修プログラムを通して、語学のスキルアップを図る。		
	ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の人々との交流を図る。		

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	派遣前指導、派遣先大学の状況、生活等について説明。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	事後指導、本学における単位認定請求の資料作成。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	現地研修の時間数や成績に応じて、2～4単位を与える。評価は、認定単位(P)とする。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	プログラミング基礎	科目コード	G1402L04
英文名	Fundamentals of Programming		

科目区分	学部共通科目 - 情報科目		
------	---------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	河野 信
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>現在最もポピュラーなプログラミング言語「Python」を利用して、プログラミングの基礎を学ぶ。Pythonの基本文法ならびに繰り返し・条件分岐などの制御構造を駆使して、簡単なアルゴリズムを実装する。また、拡張モジュールを利用してグラフィカルなインターフェイスの実装方法についても学ぶ。受講者はこれまでプログラミングの経験がない未経験者を想定している。本講義ではPCを利用する。（担当教員：企業での実務経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	プログラミング	データ構造	アルゴリズム	Python
-------	---------	-------	--------	--------

到達目標	Pythonの基本的なコマンドを使ってプログラミングできる（60%）			
	Pythonを利用してグラフィック操作ができる（20%）			
	クラスとオブジェクトについて説明できる（20%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス プログラミング言語とは / プログラミング言語の選び方 / プログラミングに必要な環境	
	【予習】シラバスを読んでおくこと	30分
	【復習】教科書第1章を見直しておくこと	30分
第2回	Pythonのインストール	
	【予習】教科書第2章を読んでおくこと	60分
	【復習】Pythonのインタラクティブモードでいろいろ試してみること	60分
第3回	Pythonでプログラムを書くときのルール1	
	【予習】教科書第3章1～4までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみること	60分
第4回	Pythonでプログラムを書くときのルール2	
	【予習】教科書第3章5～9までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみること	60分
第5回	プログラムを構成する基本的な機能1	
	【予習】教科書第4章1～4までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみること	60分
第6回	プログラムを構成する基本的な機能2	
	【予習】教科書第4章5～7までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみること	60分
第7回	数当てゲームを作ってみよう1	
	【予習】教科書第5章1～3までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみること	60分
第8回	数当てゲームを作ってみよう2	
	【予習】教科書第5章4～5までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみること	60分
第9回	数当てゲームをグラフィカルにしよう1	
	【予習】教科書第6章1～3までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみること	60分

	数当てゲームをグラフィカルにしよう2	
第10回	【予習】教科書第6章4～6までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみることに	60分
	クラスとオブジェクト1	
第11回	【予習】教科書第7章1～3までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみることに	60分
	クラスとオブジェクト2	
第12回	【予習】教科書第7章4～6までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみることに	60分
	クラスとオブジェクト3	
第13回	【予習】教科書第6章7～9までを読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみることに	60分
	拡張モジュールを使ってみよう	
第14回	【予習】教科書第7章を読んでおくこと	60分
	【復習】講義中に書いたプログラムを、数字・文字を変えて試してみることに	60分
	まとめとレポート課題	
第15回	【予習】これまで講義中に作成したプログラムを動かしてみることに	60分
	【復習】レポート課題のプログラムを作成し、提出することに	180分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	講義期間中の課題提出（50%）+ 期末レポート（50%） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	大澤文孝著：「いちばんやさしいPython入門教室」、ソーテック社、2,280円+税	使用資料 <参考図書>	山田 祥寛著：「独習Python」、翔泳社 オンライン学習サイト「Progate」
授業外学修等			
授業外質問方法	いつでもどうぞ		
オフィス・アワー	月曜5限		

授業科目名	情報統計学II	科目コード	G1402P02
英文名	Informational Statistics II		

科目区分	学部共通科目 - 情報科目		
------	---------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	河野 信
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>「情報統計学II」では、実際のデータに触れながらより応用的なデータの分析方法、分析結果の解釈や問題の解決方法について学ぶ。情報統計学Iを履修していることを前提とする。（担当教員：企業での実務経験あり）</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	R	分散分析	二項検定	因子分析	共分散構造分析
-------	---	------	------	------	---------

到達目標	Rを使って統計解析ができる（20%）				
	分散分析によるデータの分析ができる（40%）				
	より高度な統計学的手法によるデータの分析ができる（40%）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス・授業の進め方・評価方法	
	【予習】シラバスを読んでおく。PCにRとRstudioをインストールしておくこと	60分
	【復習】ガイダンス資料を確認し、受講する場合には受講登録をすること	30分
第2回	記述統計（復習）	
	【予習】テキスト第2章「1つの変数の記述統計」、テキスト第3章「2つの変数の記述統計」	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
第3回	母集団と標本（復習）	
	【予習】テキスト第4章「母集団と標本」を読んで、コマンドをRで実行してみる	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	60分
第4回	統計的仮説検定（復習）	
	【予習】テキスト第5章「統計的仮説検定」を読んで、コマンドをRで実行してみる	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
第5回	2つの平均値を比較する	
	【予習】テキスト第6章「2つの平均値を比較する」を読んで、コマンドをRで実行してみる	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
第6回	分散分析1	
	【予習】テキスト第7章「分散分析」の7.1「一元配置分散分析（対応なし）」（P159～P174）を読んで、コマンドをRで実行してみる	60分
	【復習】講義中に作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
第7回	分散分析2	
	【予習】テキスト第7章「分散分析」の7.2「一元配置分散分析（対応あり）」、7.3「二元配置分散分析（対応なし）」（P175～P192）を読んで、コマンドをRで実行してみる	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
第8回	分散分析3	
	【予習】テキスト第7章「分散分析」の7.4「二元配置分散分析（2要因とも対応あり）」、7.3「二元配置分散分析（1要因のみ対応あり）」（P192～P198）を読んで、コマンドをRで実行してみる	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
第9回	ベクトル・行列の基礎	
	【予習】テキスト第8章「ベクトル・行列の基礎」を読んで、コマンドをRで実行してみる	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分

	データフレーム	
第10回	【予習】テキスト第9章「データフレーム」を読んで、コマンドをRで実行してみること	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
	統計解析で分かること・分からないこと	
第11回	【予習】テキスト第11章「統計解析で分かること・分からないこと」を読んで、コマンドをRで実行してみること	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。テキスト第7章「分散分析」のまとめページを読み、付属の練習問題を解くこと	30分
	二項検定	
第12回	【予習】テキスト第12章「二項検定」を読んで、コマンドをRで実行してみること	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
	因子分析	
第13回	【予習】テキスト第16章「因子分析」を読んで、コマンドをRで実行してみること	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
	検定力分析によるサンプルサイズの決定	
第14回	【予習】テキスト第20章「検定力分析によるサンプルサイズの決定」を読んで、コマンドをRで実行してみること	60分
	【復習】作成・実行したプログラムの入力値を変えて実行し、結果を確認すること。	30分
	まとめと総復習	
第15回	【予習】テキスト全体のまとめを再確認しておくこと	60分
	【復習】テキスト全体の練習問題を再確認しておくこと	30分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験(40%)、レポート(30%)、各回の課題(30%)にて評価する なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	山田剛史、杉澤武俊、村井潤一郎著：「Rによるやさしい統計学」、オーム社、2,700円	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	統計解析ソフトRを使いながら授業を進める。PCを持参すること		
授業外質問方法	いつでもどうぞ		
オフィス・アワー	月曜5限		

授業科目名	人工知能とその活用	科目コード	G1402P03
英文名	Artificial Intelligence and its Practical Application		

科目区分	学部共通科目 - 情報科目		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	新森 昭宏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>画像認識・機械翻訳・対話ロボットなど、人工知能（AI: Artificial Intelligence）を活用した製品やサービスが広く使われ始めている。これらの成果は、1950年代からの長い歴史を持つ研究の積み重ねによってもたらされたものである。現在も多くの研究課題があり、継続して研究開発が勧められている。それと並行して、製造・流通・金融・医療・農業・水産業など多くの産業分野への応用展開も進められている。この授業では、人工知能の基礎概念を学び、技術動向と活用状況についての理解を深める。さらに、データサイエンスの基本的事項を学び、演習を行う。 （担当教員：企業での実務経験あり）</p> <p><注意>本授業では、スマートフォン、またはタブレット端末、またはPCを利用して、小テストや課題を行うため、いずれかを毎回持参すること。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	アルゴリズム	探索	論理と推論	機械学習	データサイエンス
-------	--------	----	-------	------	----------

到達目標	人工知能技術の基礎概念を説明できる。（40%）				
	人工知能技術の活用状況を説明できる。（40%）				
	人工知能の活用について、自らアイデアを出すことができる。（20%）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）			
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上		キャリア・実務能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス。人工知能をめぐる最近の話題と、人工知能の概要(1) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：人工知能とその活用-第1回	
	【予習】シラバスを読むこと。人工知能に関する新聞記事やTVニュースを見ておくこと。	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第2回	人工知能の概要(2)、人工知能の歴史と課題 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】人工知能についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第3回	人工知能の基礎：アルゴリズム (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】「ユークリッドの互除法」について調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第4回	人工知能の基礎：探索、ゲーム (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】深さ優先探索と幅優先探索についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第5回	人工知能の基礎：論理と推論 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】三段論法についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第6回	社会で起きている変化(1) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】「データ駆動」という言葉についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分

第7回	社会で起きている変化(2) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】データサイエンスについてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第8回	社会で起きている変化(3) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】「機械学習」についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第9回	社会で活用されているデータ (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】「構造化データ」「非構造化データ」という用語についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第10回	データ・AIの活用領域 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】データ・AIが活用されている領域についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第11回	データ・AI活用のための技術(1) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】「回帰」についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第12回	データ・AI活用のための技術(2) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】自然言語処理の技術についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第13回	データ・AI活用の現場	
	【予習】推薦システムについてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	45分
第14回	データ・AI活用の最新動向	
	【予習】【予習】データ・AI活用の最新動向についてインターネットで調べておくこと	45分
	【復習】【復習】講義資料を再確認し、課題レポートを提出すること	45分

第15回	まとめ (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】これまでの授業内容を復習しておくこと	45分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すこと。期末試験に向けた学習を行うこと。 なお、理解度を自己確認できるようにするため、これまで課したMicrosoft Formsを使った小テストを繰り返し実施できるようにする。	45分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（60%）、各回の課題レポート（40%）にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：10% 社会性：10% 専門性：80%		
使用資料 <テキスト>	毎回、資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	・「人工知能は人間を超えるか」（松尾豊著, KADOKAWA, 2015）
授業外学修等	毎回何らかの課題を課す。提出された課題のうちフィードバックが必要なものは、次回の授業でフィードバックを行う。 日頃から新聞記事、テレビ番組などで人工知能関連の情報収集をすること。		
授業外質問方法	メールまたはオフィス・アワーで対応。		
オフィス・アワー	月曜日2限		

授業科目名	観光・観光政策の歴史			科目コード	G2102L03
英文名	History of Japanese Tourism				
科目区分	観光専攻科目 - 観光基礎				
職名	教授	担当教員名	佐藤 悦夫		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	3限目		
開講時期	2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位		
授業の概要	<p>「観光・観光政策の歴史」では、日本の観光の歴史を概観し、最近の観光政策について詳しく学びます。小泉元首相による「観光立国」宣言以降、日本の観光政策は大きく変化しました。「観光立国」として現在日本が行っていること、また課題等に関して検討します。</p>				
キーワード	観光立国推進基本法	リゾート政策	歴史街づくり政策	景観政策	
到達目標	日本の観光の歴史を理解できる（25％）（授業中の発言、小レポートで評価）。				
	日本の観光政策の具体的な内容を理解できる（25％）（授業中の発言、小レポートで評価）。				
	観光立国としての日本の課題を検討できる（50％）（期末レポートで評価）。				
ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 15回の授業の内容、評価方法について説明します。また、最近の日本の観光に関するトピックスについて解説する。	
	【予習】	
	【復習】最近の観光に関するトピックスの中で興味のあるものを整理する	30分
第2回	日本の観光の歴史：戦後 戦後から今日までの観光の歴史を日本の経済状況と関連させながら概観する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第3回	日本の観光政策の歴史-1：VJC VJCについて考える。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第4回	日本の観光政策の歴史-2：観光立国推進基本法の制定 観光関連の法律と観光立国推進基本法について解説する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第5回	日本の観光政策の歴史-3：観光基本法と観光立国推進基本法の違い 観光基本法から観光立国推進基本法に改訂された何が変わったのかについて議論します。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第6回	まとめ&ディスカッション	
	【予習】（1）～（5）の今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。	30分
	【復習】	
第7回	最近の観光政策-1：民主党の観光政策（2009年）-1 2009年に策定された成長戦略の観光部会の政策を検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第8回	最近の観光政策-2：民主党の観光政策（2009年）-2 2009年に策定された成長戦略の観光部会の政策を検討する。光立国推進基本計画について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分

第9回	最近の観光政策-3：観光立国推進基本計画、観光白書 観光立国推進基本計画について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第10回	まとめ&ディスカッション、DVD	
	【予習】(7)～(9)の今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。	30分
	【復習】	
第11回	リゾート法ならびにそれに伴う観光開発の問題点 1987年に制定されたリゾート法の概要とリゾート政策の問題点について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第12回	まちづくりに関する政策 2008年に制定された歴史街づくり法とそれに基づくまちづくり政策の現状と課題について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第13回	景観に関する政策-1：景観を守るための法整備と政策 景観法とそれに基づく景観政策の現状と課題について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第14回	景観に関する政策-2：小布施町の事例 小布施を事例に景観政策、歴史街づくり政策を検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第15回	まとめ 全体のまとめを行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業中の発言(30%)、まとめシート(20%)、期末レポート(50%) また、ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10%、社会性：10%、専門性：80%で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	無し	使用資料 <参考図書>	授業の最初の時間にガイダンスを行い、参考図書等について説明します。
授業外学修等	授業の進行に合わせて、授業の理解度を確認するために2回ほどまとめシートを書きます。毎回の復習を行ってください。		
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜日 1 限 (9:30 ~)		

授業科目名	観光調査・分析法	科目コード	G2102L04
英文名	Tourism Field Investigation and Analysis		

科目区分	観光専攻科目 - 観光基礎		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	助重 雄久
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	この授業では観光調査をするために必要な基礎的手法を学んだのち、現地でフィールドワーク(観光客への対面アンケート調査等)を実施する。その後、調査結果を検討・分析し、図・グラフ等を交えた報告書を作成する。本年度のフィールドワークは11月の土・日曜日に石川県の加賀温泉郷で実施する予定(実施地は、新型コロナウイルスの感染拡大状況や現地の受け入れ可否により変更する場合もある)。			
-------	---	--	--	--

キーワード	フィールドワーク	データ分析	報告書作成	Microsoft Excel
-------	----------	-------	-------	-----------------

到達目標	自分の足で観光地を歩き、自分の目で観察し、自分の耳で観光客や地元の方の話を聞くことで、観光地の現状や問題点を把握することができる。			
	他の学生と協力しながら、一つのプロジェクトを推進していくことができる。			
	Microsoft Excelでデータを整理・分析し、図・グラフ等を交えた調査報告書を作成することができる。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス、宿泊人数・バス乗車人数の確認の調整 必ず出席すること。欠席した場合は原則として登録を認めない。 バスの乗車人数や宿泊可能人数を超過した場合は、人数を調整することがある。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	観光調査の基礎、対面式アンケート調査のテクニック	
	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第3回	調査項目設定、スケジュールの検討	
	【予習】 坂井市や東尋坊の地域概要と、主要観光スポット、観光の概況(統計等)について下調べをしておくこと。	60分
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第4回	調査票・依頼状のフォーマット作成	
	【予習】 坂井市や東尋坊の地域概要と、主要観光スポット、観光の概況(統計等)について下調べをしておくこと。	60分
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第5回	調査票・依頼状・調査用具の準備、フィールドワークの最終説明	
	【予習】	
	【復習】 調査内容を再確認しておくこと。	30分
第6回	フィールドワーク(対面式アンケート調査等) 1泊2日。通常授業の4回分に相当する。参加しなかった場合は単位を修得できない。	
	【予習】 フィールドワーク当日に向けて、調査用具等必要な持ち物を準備し、アンケート用紙の内容を確認しておくこと。	60分
	【復習】	
第7回	現地収集データの整理、入力(Excel使用)	
	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	30分
第8回	現地収集データの集計(Excel使用)	
	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分

	現地収集データの集計・分析(Excel使用)	
第9回	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
	調査結果を示すための図表作成(Excel使用)	
第10回	【予習】	
	【復習】 やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
	報告書・報告用プレゼンの作成(Word、Powerpoint使用)	
第11回	【予習】	
	【復習】 報告書がまとまっていない学生は、次週に提出できるようまとめておくこと。	120分
	報告書の仕上げ・提出、授業アンケート	
第12回	【予習】	
	【復習】	
第13回	【予習】	
	【復習】	
第14回	【予習】	
	【復習】	
第15回	【予習】	
	【復習】	
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	フィールド・ワークに取り組む姿勢(到達目標 : 25点)、事前・事後指導の受講態度および他の学生との協力状況(到達目標 : 25点)、調査報告書の内容(到達目標 : 50点)。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【注意】調査・分析・作業・報告書(レポート)による評価なので、再試験は実施しない。 【ディプロマポリシー配分比率】 人間性：15%、 社会性：20%、 専門性：65%		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて資料を配布する。データはファイルでやりとりするので、USBフラッシュ	使用資料 <参考図書>	事前準備の際に随時紹介する。
授業外学修等	・フィールドワーク参加費用(宿泊費と傷害保険加入料等)は自己負担とする。 ・現地に行く前に、加賀温泉郷とその近辺の観光地について、文献や関連ホームページで下調べしておくこと。 受講にあたっての注意 この授業は土・日曜日に実施する1泊2日のフィールド・ワークと、教室での事前・事後指導(計11回)からなる。すべてに参		
授業外質問方法	・研究室で随時受けつける(授業・会議・出張等で不在の時間帯を除く)。 ・Eメール(t-suke@tuins.ac.jp)でも受けつける。Eメールの場合は件名と発信者の名前を明記すること。		
オフィス・アワー	木曜 12:45-14:00 研究室		

授業科目名	富山県の文化・自然と観光	科目コード	G2102P01
英文名	Tourism in Toyama		

科目区分	観光専攻科目 - 観光基礎
------	---------------

職名	教授	担当教員名	佐藤 悦夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>「富山県の文化・自然と観光」は、富山県の観光政策、自然資源、文化資源の保全と活用について検討します。最終的には、今後の富山県の観光のあり方、特に新しい観光資源の開発や立山・黒部の世界遺産登録の可能性に関して考えたい。テーマによっては、学生の意見を求めますので積極的に発言してください。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	売薬	北前船	黒部第4ダム	観光圏
-------	----	-----	--------	-----

到達目標	富山県の観光政策を理解できる(25%) (授業中の発言、小レポートで評価)
	富山県の観光資源の現状と課題を理解できる(25%) (授業中の発言、小レポートで評価)
	今後の富山県の観光のあり方について自分の考え方を述べる(50%) (期末レポートで評価)

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 15回の授業の内容、評価方法について説明します。また、最近の富山県の観光に関するトピックスについて解説する。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	富山県の観光の概要 統計データを使いながら、富山県の観光の概要を解説する。比較資料として石川県の観光データも使用する。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第3回	富山県の観光政策-1 北陸新幹線の開業を迎えるにあたり、富山県がどのような観光政策を行ってきたかを振り返る。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第4回	富山県の観光政策-2 北陸新幹線開業後の状況と課題を考える。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第5回	富山県の観光圏について 富山県の観光県について検討する。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第6回	まとめ&まとめシートの作成	
	【予習】 今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。	60分
	【復習】	
第7回	富山県の自然と観光-1：立山黒部アルペンルート 立山黒部アルペンルートの概観し、歴史的背景を知る。DVD使用。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第8回	富山県の自然と観光-2：黒部第四ダムの歴史 黒部ダムが観光資源としてなぜ人気があるのかについて考える。DVD使用。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分

第9回	富山県の歴史と観光-1：売薬 富山県の売薬の歴史、観光資源としての魅力について考える。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第10回	富山県の歴史と観光-2：北前船と岩瀬 富山県における北前船の歴史を考える。DVD使用。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第11回	まとめ&まとめシートの作成	
	【予習】今まで調べたキーワードの内容を発表できるように整理する。	30分
	【復習】	
第12回	富山県の新しい観光資源（外部講師） 新しい観光資源の発見と実践的取組に関して（株）エコロの森社長の森田氏を招聘し授業をしてもらう。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第13回	富山県の新しい観光資源（外部講師） 新しい観光資源の発見と実践的取組に関して（一社）南砺市観光協会の山崎氏を招聘し授業をもらう。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第14回	今後の富山県の観光を考える：立山砂防ダムの世界遺産の登録 富山県から推薦されるであろう立山砂防ダムの世界遺産の可能性について探る。DVD使用	
	【予習】	
	【復習】（8）授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第15回	まとめ 全体のまとめを行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業中の発言(30%)、まとめシート(20%)、期末レポート(50%) また、ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10%、社会性：10%、専門性：80%で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	なし	使用資料 <参考図書>	授業の最初の時間にガイダンスを行い、参考図書等について説明します。
授業外学修等	授業の進行に合わせて、授業の理解度を確認するために4回ほどまとめシートを書きます。毎回の復習を行ってください。		
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜日1時限(9:30~)		

授業科目名	観光地理	科目コード	G2102P02
英文名	Tourism Geography		

科目区分	観光専攻科目 - 観光基礎		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	助重 雄久
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>この授業はテーマ ~ で構成される。テーマ では、観光客にとってわかりやすい地図の作り方を作業を通して学んでいく。テーマ では、富山県観光にとって重要な自然について学び、「山の幸」「海の幸」等を観光資源として活かす方法を考える。テーマ では、テーマ ・ で学んだことを活かしながら、体験ツアーをグループで企画し、受講生全員の前で発表する。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、グループワークを個人発表に切り替える場合がある。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	地理	地図	情報伝達	自然環境	グループワーク
-------	----	----	------	------	---------

到達目標	テーマ : 観光を考えるうえで必要不可欠な地図に関する知識や説明能力を修得し、地域や観光の情報を人に的確に伝えることができる。			
	さまざまな自然について学び、自然を観光資源として活かしていく方法を考えることができる。			
	体験ツアーの企画・マップ作成をグループで行うことで、チームでひとつのものを創りあげることができる。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業ガイダンス 授業の進め方や評価に関する詳細説明	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	テーマ - 1 地図と観光 地図に関する基礎知識 地図を読むのに必要な基礎知識を習得する。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを再度読み返しておくこと。	30分
第3回	テーマ - 2 地図と観光 大学構内のメンタルマップをつくる	
	【予習】予備知識や先入観があると学習の妨げとなるので、予習は絶対にしないこと。	
	【復習】作りかけのメンタルマップは、次の授業までに完成させておくこと。	45分
第4回	テーマ - 3 地図と観光 わかりやすい観光案内地図をつくる メンタルマップの解説とわかりやすい地図に必要な条件について学ぶ	
	【予習】予備知識や先入観があると学習の妨げとなるので、予習は絶対にしないこと。	
	【復習】わかりやすい地図に必要な条件を頭に入れておくこと。	30分
第5回	テーマ - 4 地図と観光 わかりやすい大学構内地図をつくる(学内フィールドワークと作業) 学内フィールドワークを行い、人にわかりやすい構内地図を作成する。	
	【予習】	
	【復習】やり残した作業は、次の授業までに済ませること。	60分
第6回	テーマ - 5 地図と観光 大学構内地図の仕上げ、相互評価 受講生が作成した地図を見せ合い相互評価を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	テーマ - 1 自然と観光 旅先の気候を知る 1 気候グラフの読み取り作業を行う。	
	【予習】	
	【復習】やり残した作業は、次の授業までに済ませること。 設問で出てきた場所がどこにあるのかを、地図で確認しておくこと。	60分
第8回	テーマ - 2 自然と観光 旅先の気候を知る 2 気候グラフの解説する。また担当教員が撮影した現地写真によって各気候帯の景観を確認する。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	テーマ - 3 自然と観光 山岳を活かした観光 山岳地形の特徴とそれを活かした観光について解説する。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを再度読み返しておくこと。	30分
第10回	テーマ - 4 自然と観光 水を活かした観光 川・湖・海・湧水等を活かした観光について解説する。	
	【予習】	
	【復習】配布したプリントを再度読み返しておくこと。	30分
第11回	テーマ - 1 体験ツアーの企画・発表 グループワークの方法説明とグループ分け	
	【予習】	
	【復習】やり残した作業は、グループのメンバーが分担して次の授業までに進めておくこと。	120分
第12回	テーマ - 2 体験ツアーの企画・発表 ツアープランのアウトライン作成	
	【予習】	
	【復習】やり残した作業は、グループのメンバーが分担して次の授業までに進めておくこと。	120分
第13回	テーマ - 3 体験ツアーの企画・発表 ツアーマップの作成	
	【予習】	
	【復習】やり残した作業は、グループのメンバーが分担して次の授業までに進めておくこと。	120分
第14回	テーマ - 4 体験ツアーの企画・発表 ツアープランの仕上げ	
	【予習】	
	【復習】グループのメンバーで話し合い、次の授業までに発表する内容を完成させておくこと。	120分
第15回	テーマ - 5 体験ツアーの企画・発表 ツアープランの発表、授業アンケート	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>受講態度や発言・質問への回答(40点)、テーマ・での作業成果(到達目標、:各20点)、テーマにおけるグループワークの成果発表(到達目標:20点)。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【注意】授業中の提出物や発表による評価なので、再試験は実施しない。 【ディプロマポリシー配分比率】 人間性:20%、社会性:20%、専門性:60%</p>		
使用資料 <テキスト>	プリント・スライド等を用いて講義を進めるが、参考となる文献があればその都度紹	使用資料 <参考図書>	「旅に出たくなる地図・日本」(帝国書院)
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・「旅に出たくなる地図」は他の観光専攻科目や国内旅行業務取扱管理者の試験でも活用できるので、可能な限り購入すること。 ・授業でとりあげた地域の地名・位置や地域概況は、必ず授業時間外に地図や各地の観光関連ホームページ、資料等で確認しておくこと。 		
授業外質問方法	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室で随時受けつける(授業・会議・出張等で不在の時間帯を除く)。 ・Eメール(t-suke@tuins.ac.jp)でも受けつける。Eメールの場合は件名と発信者の名前を明記すること。 		
オフィス・アワー	木曜 12:45-14:00 研究室		

授業科目名	国際コミュニケーション論	科目コード	G2202L01
英文名	International Communication		

科目区分	観光専攻科目 - コミュニケーション		
------	--------------------	--	--

職名	講師	担当教員名	一井 崇
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>グローバル化の進展とともに、国籍、言語、文化、宗教、人種などの異なる人々の国境を越えた交流が今後更に盛んになる。様々な背景をもつ人々の交流は、文化的差異による反発を生む一方で社会に新たな変化をもたらす契機ともなる。この「新たな気づき」こそ、国際コミュニケーションの面白さ(醍醐味)とも言える。本講座では、「国際コミュニケーション」を「異文化をもつ者同士のコミュニケーション」と位置づけ、様々な角度から異文化理解について考える。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	コミュニケーション	異文化理解	アイデンティティ		
-------	-----------	-------	----------	--	--

到達目標	国際コミュニケーションに必要な基礎知識の取得
	異文化に対する理解の醸成
	国際コミュニケーション能力の向上

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【ガイダンス】 15回の授業の進め方、評価方法について説明する。国際コミュニケーションについてのイントロダクション	
	【予習】特になし	
	【復習】コミュニケーションについて考える。	30分
第2回	【異文化理解とグローバル化】 グローバル化について「ヒト」「モノ」というキーワードから考える。	
	【予習】「ヒト」「モノ」の移動がもたらす影響について考えてみる。	30分
	【復習】「ヒト」「モノ」の移動の今後についてまとめる。	60分
第3回	【異文化理解とグローバル化】 グローバル化について「カネ」「情報」というキーワードから考える。	
	【予習】「カネ」「情報」の移動がもたらす影響について考えてみる。	30分
	【復習】「カネ」「情報」の移動の今後についてまとめる。	60分
第4回	【異文化理解とグローバル化】 「グローバル化とは何か」というテーマで整理する。	
	【予習】グローバル化によって生じた最近のニュースについて調べてみる。	30分
	【復習】グローバル化の課題を乗り越えるための方策について考えてみる。	60分
第5回	【アイデンティティと他者性】 「他者を理解する」というテーマで、アイデンティティについて解説する。	
	【予習】「多様な他者」について考えてみる。	30分
	【復習】アイデンティティとは、どのように形作られるのかについて考えてみる	60分
第6回	【アイデンティティと他者性】 異なる文化的地平(異なる思考や文化的な活動)との出会いがもたらす影響について考える。	
	【予習】異なる文化をもつ人との出会いで思い出に残るエピソードをまとめてみる。	30分
	【復習】身近にいる「異なる文化的地平」と出会ってみる。	60分
第7回	【アイデンティティと他者性 : ゲストスピーカーによる講義】 「多様な文化性に触れる」というキーワードから、海外在住経験者をお招きします。	
	【予習】対象となる国や文化についてあらかじめ調べてみる。	30分
	【復習】印象に残った内容についてまとめる。	60分
第8回	【コミュニケーションと文化的融合 : 空間の認識】 コミュニケーションと空間認識との関連について考える。	
	【予習】対人関係と距離について考えてみる。	30分
	【復習】居場所、境界線などのキーワードについてまとめる。	60分
第9回	【コミュニケーションと文化的融合 : 時間の認識】 コミュニケーションと時間認識との関連について考える。	
	【予習】時間の認識に対して他者との差異を感じたエピソードについて考えてみる。	30分
	【復習】異なる時間の認識が異文化の対立を生み出す要因についてまとめる。	60分

第10回	【コミュニケーションと文化的融合 : 文化の諸類型】 コミュニケーションの前提となる文化的背景について考える。	
	【予習】国際コミュニケーションを考える上で、どんな文化的背景が想定できるか考える。	30分
	【復習】文化的背景の違いによって、コミュニケーションをとる上でどんなことが生じるのかまとめる。	60分
第11回	【コミュニケーションと文化的融合 : 場の形成】 文化的な融合と場(場所、空間)との関係について考察する。	
	【予習】自己のアイデンティティと場(場所)との関係性について考えてみる。	30分
	【復習】場(場所)がいかにアイデンティティの形成に関係しているのか整理する。	60分
第12回	【異質性と向き合う : 「多様性」という言葉のもつ意味】 「多様性」という言葉を理解する。	
	【予習】「多様性」というキーワードで新聞などのトピックから調べてみる。	30分
	【復習】「多様性」という言葉の意味を自分なりに整理してみる。	60分
第13回	【異質性と向き合う : ゲストスピーカーによる講義】 「異質性」というテーマに関連する、ゲストスピーカーをお招きします。	
	【予習】「異質性」に関するトピックについて調べてみる。	30分
	【復習】印象に残った内容についてまとめる。	60分
第14回	【異質性と向き合う : 「コミュニケーションと社会」】 コミュニケーションと社会との関係性について考える。	
	【予習】社会生活の中でのコミュニケーションの意味について考える。	30分
	【復習】社会で生活する上でのコミュニケーションの重要性についてまとめる。	60分
第15回	【まとめ】 コミュニケーションと多様性という言葉の関係について、自分なりの整理してみる。	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>出席・コミュニケーション・ペーパー(Google Formなどによる授業の感想)(60%)、期末課題(40%)により総合的に判断する。</p> <p>ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：15%、社会性：15%、専門性：70%で評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	プリント配布	使用資料 <参考図書>	講義時に適宜紹介します。
授業外学修等	<p>特に課題等を課すことはありませんが、授業を通じて疑問に思ったこと、関心を持ったことなどは主体的に学ぶ習慣を身につけてください。予習、復習を行うことで、授業内容がより深く理解できるようになります。</p>		
授業外質問方法	<p>授業終了後、またはオフィスアワーに対応します。オフィスアワー以外でも、事前にアポイントを取っていただければ時間調整します。</p>		
オフィス・アワー			

授業科目名	観光資源論	科目コード	G2302L01
英文名	Theory of Tourist Resources		

科目区分	観光専攻科目 - 観光資源		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	佐藤 悦夫
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本授業では、観光資源の基礎概念を観光学や観光人類学の視点から説明し、観光資源の活用方法や問題点について、具体的な事例を踏まえながら考察します。また、観光資源を考える上での2つの異なる立ち位置を説明し（保全優先か活用優先か、経済的効果優先か地域の文化理解をさせることが優先か、観光客のための施策か地域住民のための施策か、等）、学生の意見を求めますので積極的に参加してください。最終的に、観光資源を考える上での自らの立ち位置を確立してください。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	観光資源の概念	観光施設	観光資源の保全と活	
-------	---------	------	-----------	--

到達目標	観光資源の考え方を理解できる（25％）（授業中の発言、小レポートで評価）。
	観光資源としての観光施設の現状と課題を理解できる（25％）（授業中の発言、小レポートで評価）
	観光資源の魅力向上のための考えをまとめることができる（50％）（期末レポートで評価）

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス ・授業の目的・概要、目指すべきゴールと評価方法について説明する。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	観光資源とは何か ・観光対象、観光行動～観光とは何か～ 観光学で使用されている観光対象の分類ならびに観光行動とは何かについて説明する。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第3回	観光資源とは何かか ・我々が観光地でみているものは何か～本物VS演出された本物 アメリカの社会学者D.ブーアスティンの考え方を紹介し、内容に関して検討する。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第4回	観光資源とは何か アニメは観光資源になるのか？～聖地巡礼～ 現代文化の一つであるアニメを題材に、聖地巡礼の現状と課題について検討する。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第5回	観光資源とは何か 世界遺産～観光資源か否か～ 世界遺産は観光資源なのか？という問いに対して、石見銀山、沖ノ島、等の世界遺産を事例に検討する。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第6回	観光資源とは何か 観光資源としての日本遺産～その光と影～ 富山県の日本遺産を事例にその現状と課題を検討する。	
	【予習】	
	【復習】 授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第7回	まとめ ・これまでのまとめを行います。	
	【予習】 今まで調べたキーワードの内容を発表できるようにノートに整理する。	60分
	【復習】	

第8回	観光施設 観光資源としての博物館、美術館 世界や日本の博物館の現状と課題について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第9回	観光施設 観光資源としての博物館、美術館 富山県の博物館、美術館の現状と課題について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第10回	観光施設 観光資源としてのテーマパーク TDL、ハウステンボスなどのテーマパークの現状と課題について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第11回	まとめ	
	【予習】今まで調べたキーワードの内容を発表できるようにノートに整理する。	60分
	【復習】	
第12回	新しい観光資源 フードツーリズムについて検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第13回	新しい観光資源 音楽は観光資源になるのか?について検討する。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第14回	観光資源と観光地の賞味期限 バトラーの理論を検討しながら、宇奈月温泉街の状況を見る。	
	【予習】	
	【復習】授業内容に関して興味を持ったキーワードを調べる。	30分
第15回	まとめ ・授業全体のまとめを行う。	
	【予習】今まで調べたキーワードの内容を発表できるようにノートに整理する。	60分
	【復習】	

第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業中の発言(30%)、まとめシート(20%)、期末レポート(50%) また、ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10%、社会性：10%、専門性：80%で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	無し	使用資料 <参考図書>	授業の最初の時間にガイダンスを行い、参考図書等について説明します。
授業外学修等	授業の進行に合わせて、授業の理解度を確認するために2回ほどまとめシートを書きます。毎回の復習を行ってください。		
授業外質問方法	授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜日 1 時限 (9 : 30 ~)		

授業科目名	旅行業論	科目コード	G2402L03
英文名	Travel Agency Business		

科目区分	観光専攻科目 - 観光事業・マネジメント		
------	----------------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	浦田 美紗
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>旅行業は観光産業のあらゆる分野と繋がっています。また現在、旅行業は日本や世界の社会・経済・政治の変化やITの高度化、環境問題などに直面し、大規模な変革が求められています。この授業では旅行業の仕組みや事業活動を学ぶとともに、現状の課題を理解し、これからの旅行業の姿についても考えていきます。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	IT	インバウンド	地域との連携	サステナブル
-------	----	--------	--------	--------

到達目標	旅行業の社会に果たす役割を理解し、説明できる。(30%)
	旅行会社の仕組みと実務について理解し、説明できる。(40%)
	旅行業の現状と経営課題を認識し、今後のあり方について考えることができる。(30%)

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス、旅行業とは（役割と機能）	
	【予習】特になし	
	【復習】旅行者サイドから見た旅行業の役割、機能について	30分
第2回	旅の歴史と旅行業の変遷（日本、世界）	
	【予習】江戸時代における旅の姿	30分
	【復習】日本の旅行業の変遷 平安時代から近代までをまとめる。	60分
第3回	旅行業の現状（旅行マーケットの規模と概要＝国内旅行、海外旅行、インバウンド旅行）	
	【予習】人気の旅行先、ツアーを調査する。	30分
	【復習】旅行業マーケットのシェアの変遷をまとめる。	60分
第4回	旅行業に関する法令・約款	
	【予習】旅行約款の抜粋を読んでおく。	30分
	【復習】旅行業務におけるトラブル事例と約款について	60分
第5回	旅行業の経営と財務の特徴	
	【予習】経営に関する基本的事項を抑える。	30分
	【復習】旅行業の財務の特徴をまとめる。	60分
第6回	旅行業の業態（旅行業の分類と種別、販売形態、流通形態）	
	【予習】地域における旅行業の販売形態は	30分
	【復習】最近の旅行業の販売形態についてまとめる。	60分
第7回	旅行市場（教育旅行、ハネムーン、クルーズ、MICE etc.）	
	【予習】旅行市場の種類を考える。	30分
	【復習】MICEについてその優位性、効果等をまとめる。	60分
第8回	旅行業と情報社会	
	【予習】スマートフォンでできる旅行の情報収集から予約までの過程を調べる。	30分
	【復習】旅行業におけるデータ、AIの活用について	60分
第9回	旅行業とホスピタリティ（事例から学ぶ）	
	【予習】観光産業におけるホスピタリティとは	30分
	【復習】究極のホスピタリティを考える。	60分

第10回	旅行プランニングの技術、旅行パンフレットを読み解く	
	【予習】海外旅行パンフレットを入手し、内容を検討する。	30分
	【復習】旅行プランニング課題の完成	60分
第11回	ツアーコンダクター、ガイド、ツアーオペレーターの実務	
	【予習】ツアーコンダクターとガイドの仕事の違い	30分
	【復習】それぞれの業務を整理する。	60分
第12回	インバウンド旅行の現状と課題	
	【予習】インバウンド客の行動特性を調査する。	30分
	【復習】地域におけるインバウンド振興を考えてみる。	60分
第13回	社会の進展と旅行業（観光政策 観光行政と旅行業 地域との連携）	
	【予習】自治体の観光課 観光協会について知る。	30分
	【復習】観光分野における産学連携についてまとめる。	60分
第14回	旅行業に求められる人材像	
	【予習】旅行業において必要な知識、適性を考える。	30分
	【復習】社会に求められる人材とは、またそのために学生時代をどのように送るか考えをまとめる。	60分
第15回	旅行業の未来（経営課題と今後の展望）	
	【予習】これまでの学習から旅行業の課題を考える。	30分
	【復習】旅行業についてまとめる。	60分
第16回	試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題（授業中および家庭での課題と小レポート）（30%） 授業姿勢（出席状況、積極性、受講マナー）（30%） テスト（期末テスト）（40%）		
使用資料 <テキスト>	プリント対応	使用資料 <参考図書>	授業中、適宜紹介します。
授業外学修等	授業毎の復習で理解を深めてください。また、旅行産業に関する様々なニュース、トピックスに関心を持ち、絶えず情報収集に努めてください。 理解度確認のため、課題やレポートの提出も求めます。		
授業外質問方法	次のメールアドレスに連絡のこと。uradamisa@yahoo.co.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	観光サービス論	科目コード	G2402L04
英文名	Service in Tourism		

科目区分	観光専攻科目・観光事業・マネジメント		
------	--------------------	--	--

職名	講師	担当教員名	一井 崇
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講座では、サービスとホスピタリティという言葉の違いについて整理した上で、観光におけるサービス/ホスピタリティの可能性についてその実践を中心に考察する。また、ユニバーサルツーリズムの視点から観光サービスについて考える。本講座で整理した観光分野におけるサービス/ホスピタリティの概念については、3年次前期のホテル業論ともつながっている。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	観光サービス	ホスピタリティ	ユニバーサルツーリ		
-------	--------	---------	-----------	--	--

到達目標	観光とサービス/ホスピタリティとの関係性について考える。		
	サービスとホスピタリティの違いについて理解する。		
	観光サービスの今後の可能性について探求する。		

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【ガイダンス】 15回の授業の進め方、評価手法について説明する。観光サービスについてのイントロダクション	
	【予習】特になし	
	【復習】特になし	
第2回	【サービス/ホスピタリティとは何か】 サービス/ホスピタリティの語源と歴史についてまとめる。	
	【予習】 サービス、ホスピタリティという言葉から何が連想できるか考えてみる。	30分
	【復習】 サービスとホスピタリティの語源とその関係について再確認する。	60分
第3回	【サービス/ホスピタリティとは何か】：クラブツーリズムの事例研究】 サービス/ホスピタリティに関する研究の概要(サービスの構造)についてまとめる。	
	【予習】 身近なサービスには、どのようなものが想定できるか考えてみる。	30分
	【復習】 サービスの構造に関する研究についてまとめる。	60分
第4回	【サービス/ホスピタリティとは何か】：星野リゾートの事例研究】 サービス/ホスピタリティに関する研究の概要についてまとめる。	
	【予習】 身近なホスピタリティについて、どのようなものが想定できるか考えてみる。	30分
	【復習】 ホスピタリティに関する研究についてまとめる。	60分
第5回	【サービス/ホスピタリティとは何か】：ホテル・コンシェルジュの事例研究】 サービス/ホスピタリティに関する研究の概要についてまとめる。	
	【予習】 接客のプロフェッショナルが考えるサービスについて学ぶ。	30分
	【復習】 サービス/ホスピタリティの形態についてまとめる。	60分
第6回	【サービス/ホスピタリティとは何か】：一流料理人に学ぶ】 ホスピタリティの定義とその特性、サービスとの関係性についてまとめる。	
	【予習】 “サービス”と“ホスピタリティ”の異同について考えてみる。	30分
	【復習】 ホスピタリティの定義とサービスとの関係についてまとめる。	60分
第7回	【観光産業におけるサービス/ホスピタリティの実情】：旅行業】 旅行業におけるサービス/ホスピタリティについて、ユニバーサルツーリズムの視点から考える。	
	【予習】 旅行業とは何を指すのかについて考えてみる。	30分
	【復習】 旅行業の定義と、旅行業におけるユニバーサルツーリズムの意義について整理する。	60分
第8回	【観光産業におけるサービス/ホスピタリティの実情】：交通事業】 交通事業におけるサービス/ホスピタリティについて、ユニバーサルツーリズムの視点から考える。	
	【予習】 富山県の公共交通機関の特徴について、ユニバーサルツーリズムの視点から調べてみる。	30分
	【復習】 交通事業とユニバーサルツーリズムの関係性についてまとめる。	60分
第9回	【観光産業におけるサービス/ホスピタリティの実情】：宿泊産業】 宿泊産業におけるサービス/ホスピタリティについて、ユニバーサルツーリズムの視点から考える。	
	【予習】 ホテル、旅館などの宿泊施設におけるサービス/ホスピタリティについて、ユニバーサルツーリズムの視点から調べてみる。	30分
	【復習】 宿泊産業とユニバーサルツーリズムの関係性についてまとめる。	60分

第10回	【観光産業におけるサービス/ホスピタリティの実情】：テーマ・パーク】 テーマパークにおけるサービス/ホスピタリティについて、東京ディズニーリゾートの事例から考察する。	
	【予習】東京ディズニーリゾートのサービス/ホスピタリティについて調べてみる。	30分
	【復習】長期にわたり、多数の来場者数を維持できる要因についてまとめる。	60分
第11回	【新たなサービス/ホスピタリティの探求】 ユニバーサルツーリズムの変遷、現状と課題について考える。	
	【予習】ユニバーサルツーリズムの語源について考えてみる。	30分
	【復習】ユニバーサルツーリズムの課題解決の方策について考える。	60分
第12回	【新たなサービス/ホスピタリティの探求】 ユニバーサルツーリズムの国際的な潮流について考える。	
	【予習】“UNWTO”、“SDGs”という言葉の意味について調べる。	30分
	【復習】UNWTO(国連世界観光機関)が想定するSDGs(持続可能な開発目標)と観光との関連性についてまとめる。	60分
第13回	【新たなサービス/ホスピタリティの探求】 ニューツーリズムと呼ばれる旅行形態について考える。	
	【予習】ニューツーリズムにはどのような種類があるのか調べてみる。	30分
	【復習】ニューツーリズムの可能性についてまとめる。	60分
第14回	【新たなサービス/ホスピタリティの探求】 観光サービスの新しい形について、高齢者が観光を担う事例から考察する。	
	【予習】高齢者が観光をどのような形で担うことができるのか考えてみる。	30分
	【復習】観光サービスと地域の高齢者との今後の関係性についてまとめる。	60分
第15回	【まとめ】 「観光サービスの今後のあり方とは何か」について考える。	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>出席・コミュニケーション・ペーパー(Google Formなどによる授業の感想)(60%)、期末課題(40%)により総合的に判断する。ディプロマポリシーとの関連においては、人間性:10%、社会性:10%、専門性:80%で評価する。</p> <p>到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	プリント配布	使用資料 <参考図書>	授業内で適宜紹介する
授業外学修等	<p>特に課題等を課すことはありませんが、授業を通じて疑問に思ったこと、関心を持ったことなどは主体的に学ぶ習慣を身につけてください。予習、復習を行うことで、授業内容がより深く理解できるようになります。</p>		
授業外質問方法	<p>授業終了後、またはオフィスアワーに対応します。オフィスアワー以外でも、事前にアポイントを取っていただければ時間調整します。</p>		
オフィス・アワー			

授業科目名	観光ビジネス論	科目コード	G2402P01
英文名	Tourism Business		

科目区分	観光専攻科目 - 観光事業・マネジメント		
------	----------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	大谷 友男
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	観光には多くのビジネスが関わっています。そのプレイヤーにはどのようなビジネス（産業）があり、そのビジネスはどのように動いているのかについて、業界別に学んでいきます。観光ビジネスのプレイヤーを俯瞰することで、卒業後の進路を考える際の視野を広げることに結びつけます。			
-------	---	--	--	--

キーワード	観光ビジネス	観光産業	業界動向	観光振興
-------	--------	------	------	------

到達目標	観光ビジネスにどのようなプレイヤーが関わり、それぞれのビジネスにおける現状や課題を理解できる。（50％）			
	観光ビジネスの重要性やそれを支えるビジネスや行政の動きと観光ビジネスとの関わりについて理解できる。（30％）			
	観光ビジネスにおける最近の動向や課題について理解できる。（20％）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>【ガイダンス】 講義のねらい、年間計画、進め方のほか、評価方法について説明します。講義を受ける皆さんには、日々のニュースにアンテナを張ってもらいたいと考えていますので、効果的な情報収集方法やチェックしてほしい情報源についても解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】</p>	
第2回	<p>【ビジネス・産業としての観光】 観光にはどのようなビジネスや産業が関係しているか、旅行会社やホテル・旅館だけではなく、さまざまなビジネスや産業が関わっていることを解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第3回	<p>【観光ビジネス・産業の地域経済における重要性】 観光ビジネス・産業がなぜ地域経済にとって重要なのかについて、「観光は地域の外からお金を稼ぐ産業であり、地域の人口増加（減少の食い止め）に有効である」という視点から解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第4回	<p>【観光ビジネスのプレイヤー 旅行業】 観光ビジネスのプレイヤーである「旅行業」の特徴、業界動向、課題について解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第5回	<p>【観光ビジネスのプレイヤー ホテル・旅館業】 観光ビジネスのプレイヤーである「ホテル・旅館業」の特徴、業界動向、課題について解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第6回	<p>【観光ビジネスのプレイヤー 鉄道、バス・タクシー】 観光ビジネスのプレイヤーである「鉄道、バス・タクシー」の特徴、業界動向、課題について解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義で提出してください。</p>	
第7回	<p>【観光ビジネスのプレイヤー 航空】 観光ビジネスのプレイヤーである「航空」の特徴、業界動向、課題について解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第8回	<p>【観光ビジネスのプレイヤー 飲食業】 観光ビジネスのプレイヤーである「飲食業」の特徴、業界動向、課題について解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	

第9回	【観光ビジネスのプレイヤー レジャー業】 観光ビジネスのプレイヤーである「レジャー業」の特徴、業界動向、課題について解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第10回	【観光ビジネスのプレイヤー その他の観光ビジネス】 これまでの講義で説明しきれなかった観光ビジネスのプレイヤー（例：みやげ品、観光農園、体験型工房、スポーツ・アクティビティなど）について解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第11回	【観光ビジネスを支えるプレイヤー 民間企業】 観光ビジネスには直接的に関わらないものの、広告業や通訳などの専門サービス、清掃業など、観光ビジネスを支えるプレイヤーは多数存在します。これらのビジネスとこれまで解説してきた観光ビジネスとの関わりについて解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第12回	【観光ビジネスを支えるプレイヤー 行政】 観光ビジネスを振興する立場から行政もさまざまな取り組みを進めています。国や県、市町村の観光振興を進めるための動きや観光ビジネスとの関わりについて解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第13回	【観光ビジネスをめぐる新たな動き】 経済・社会の変化に伴い、観光ビジネスのあり方も大きく変化しています。インバウンド、民泊、MICEなど最近の観光業界におけるトピックやトレンドについて解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第14回	【観光ビジネスが抱える課題と今後の展望】 観光ビジネスは生産性が低いという課題が長年指摘されています。生産性が低いと何が問題なのかを解説したうえで、生産性向上を図るためのビッグデータの活用、DXの活用といった課題解決に向けた動きについて解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第15回	【まとめ】 これまでの講義のまとめ、それぞれの業界動向を踏まえた観光ビジネスの動向について再整理します。	
	【予習】	
	【復習】試験に向けてこれまでの講義を振り返ってください。	
第16回	試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業態度（授業への貢献度：20%）、授業課題（30%）、期末試験（50%）で総合的に評価します。 また、ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10%、社会性：10%、専門性：80%で評価します。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>テキストは使用しません。講義の中で必要に応じてレジュメや資料を配布します。</p>	使用資料 <参考図書>	<p>講義の中で必要に応じて紹介します。</p>
授業外学修等	<p>観光ビジネスの題材は地域にたくさんあります。日々の生活の中で、このビジネスって観光に関係があるのではないか、どうしてこういう仕組みでやっているのかなど好奇心を持って観察してください。</p>		
授業外質問方法	<p>授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。</p>		
オフィス・アワー			

授業科目名	国際観光論	科目コード	G2502P01
英文名	International Tourism		

科目区分	観光専攻科目 - 地域観光
------	---------------

職名	講師	担当教員名	一井 崇
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>国際観光の概要について理解したうえで、海外の観光地の中でも特にヨーロッパの主要観光国を対象に、その観光資源について学ぶ。ヨーロッパにおける主要な観光資源として、主に世界遺産などに登録されている教会や大聖堂、城郭や宮殿などが挙げられる。それらの観光資源は、ヨーロッパの歴史や宗教、地理などと深いかかわりをもっている。その観光資源について、「地理的背景」「古代ギリシャ・ローマ時代」「キリスト教」という3つのキーワードから考察する。</p>		
-------	---	--	--

キーワード	インバウンド	アウトバウンド	観光資源		
-------	--------	---------	------	--	--

到達目標	国際観光の概要とその現状、課題について理解する。
	ヨーロッパ諸国の観光資源について、地理、歴史、宗教の視点から考える。
	国際観光のあり方について、自分自身の主張を提案できる。

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 15回の授業の進め方、評価手法について説明する。国際観光論についてのイントロダクション	
	【予習】特になし	
	【復習】ヨーロッパ諸国の地理的な位置関係について把握しておく。	30分
第2回	【国際観光の概要】 日本人の海外旅行(アウトバウンド)の現状と課題について、観光白書データから整理する。	
	【予習】アウトバウンド関連のニュースで自分が関心をもったトピックについて調べてみる。	30分
	【復習】アウトバウンドの課題解決の方策について、自分なりにまとめる。	60分
第3回	【国際観光の概要】 訪日外国人旅行者誘致(インバウンド)の現状と課題について、観光白書データから整理する。	
	【予習】インバウンド関連のニュースで自分が関心をもったトピックについて調べてみる。	30分
	【復習】インバウンドの課題解決の方策について、自分なりにまとめる。	60分
第4回	【国際観光の実情 (西欧：フランス)】 フランスの観光事情・観光施策と主要観光資源について、写真や映像をまじえて解説する。	
	【予習】フランスの主要都市の地理について把握しておく	30分
	【復習】フランスの観光の特徴について簡単にまとめておく	150分
第5回	【国際観光の実情 (西欧：イギリス)】 イギリスの観光事情・観光施策と主要観光資源について、写真や映像などをまじえて開設する。	
	【予習】イギリスの主要都市の地理について把握しておく。	150分
	【復習】イギリスの観光の特徴について簡単にまとめる。	60分
第6回	【国際観光の実情 (西欧：ドイツ)】 ドイツの観光事情・観光施策と主要観光資源について、写真や映像資料などをまじえて解説する。	
	【予習】ドイツの主要都市の地理について把握しておく	30分
	【復習】ドイツの主要な観光資源についてまとめる	60分
第7回	【国際観光の実情 (南欧：イタリア)】 イタリアの観光事情・観光施策と主要観光資源について、写真や映像資料などをまじえて解説する。	
	【予習】イタリアの主要都市の地理について把握しておく。	30分
	【復習】イタリアの主要観光資源についてまとめる。	60分
第8回	【国際観光の実情 (北欧：デンマーク)】 デンマークの観光事情・観光施策と主要観光資源について、写真や映像資料などをまじえて解説する。	
	【予習】デンマークの主要都市の地理について把握しておく。	30分
	【復習】デンマークの主要観光資源についてまとめる。	60分
第9回	【国際観光の地理的背景 :ヨーロッパを中心に】 ヨーロッパの地理的な特性を踏まえて、観光の背景を読み解く。	
	【予習】ヨーロッパの地図を見て、地理的な特徴がないか考えてみる	30分
	【復習】ヨーロッパの大まかな分類とその特徴についてまとめてみる	150分

第10回	【国際観光の地理的背景 : ヨーロッパを中心に】 ヨーロッパの地理的な特性を踏まえて、観光の背景を読み解く。	
	【予習】ヨーロッパの地理的な特徴と日本の地理的特徴との差異について考えてみる。	150分
	【復習】ヨーロッパの地理的な特徴と観光との関連についてまとめる。	60分
第11回	【国際観光の歴史的背景 : 古代ギリシャ・古代ローマ時代】 古代ギリシャ、ローマ時代の歴史から、ヨーロッパの観光の背景を読み解く。	
	【予習】ヨーロッパの観光資源の中で、古代ギリシャ、ローマ時代の建造物について調べてみる	30分
	【復習】古代ギリシャ、ローマ時代の歴史について簡単にまとめてみる	60分
第12回	【国際観光の歴史的背景 : 古代ギリシャ・古代ローマ時代】 古代ギリシャ、ローマ時代の歴史から、ヨーロッパの観光の背景を読み解く。	
	【予習】古代ギリシャ、ローマ時代の発展した地域(エリア)とその特徴について考えてみる。	30分
	【復習】古代ギリシャ、ローマ時代の歴史と観光との関連についてまとめる。	60分
第13回	【国際観光の宗教的背景 : キリスト教という視点から】 キリスト教の歴史から、ヨーロッパの観光の背景を読み解く。	
	【予習】キリスト教誕生とその後の経緯について調べてみる。	30分
	【復習】ヨーロッパにおけるキリスト教関連の主要な観光資源について調べる。	60分
第14回	【国際観光の宗教的背景 : キリスト教という視点から】 キリスト教の歴史から、ヨーロッパの観光の背景を読み解く。	
	【予習】キリスト教の関連の歴史的な出来事について調べてみる。	30分
	【復習】キリスト教の歴史と観光との関連についてまとめる。	60分
第15回	【まとめ】 日本が目指す国際観光の在り方について、ヨーロッパの観光全般と対比しながら考える。	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>出席・コミュニケーション・ペーパー(Google Formなどによる授業の感想)(60%)、期末課題(40%)により総合的に判断する。 ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10%、社会性：10%、専門性：80%で評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	プリント配布	使用資料 <参考図書>	講義時に適宜紹介します。
授業外学修等	<p>特に課題等を課すことはありませんが、授業を通じて疑問に思ったこと、関心を持ったことなどは主体的に学ぶ習慣を身につけてください。予習、復習を行うことで、授業内容がより深く理解できるようになります。</p>		
授業外質問方法	<p>授業終了後、またはオフィスアワーに対応します。オフィスアワー以外でも、事前にアポイントを取っていただければ時間調整します。</p>		
オフィス・アワー			

授業科目名	観光メディア論	科目コード	G2503L02
英文名	Tourism Media		

科目区分	観光専攻科目 - 地域観光
------	---------------

職名	准教授	担当教員名	大谷 友男
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>情報伝達的手段である「メディア」と観光の関係について学びます。前半では、観光の動向について知るためのさまざまな「メディア」について学び、3年次以降の専門演習や卒論に向けて「調べる方法」を習得します。後半では、集客のためのツールとしての「メディア」について学び、3年次以降の観光企画論や卒業後に実際に集客に関わる際の基礎知識として役立てます。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	メディア	調査方法	PR	マーケティング	ビッグデータ
-------	------	------	----	---------	--------

到達目標	観光の動向を知るための方法について理解できる。(50%)
	集客のためのツールとしてのメディアにはどのようなものがあり、どのように活用できるか理解できる。(50%)

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>【ガイダンス】 講義のねらい、年間計画、進め方のほか、評価方法について説明します。講義を受ける皆さんには、日々のニュースにアンテナを張ってもらいたいと考えていますので、効果的な情報収集方法やチェックしてほしい情報源についても解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】</p>	
第2回	<p>【観光の動向を知るためのメディア マスコミ（テレビ・新聞）】 観光を取り巻く状況や業界の動きを知る上での身近なメディアであるテレビや新聞の特徴、ニュースの見方について解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第3回	<p>【観光の動向を知るためのメディア 行政情報】 観光ビジネス（産業）を取り巻く動きについては、国や県などがまとめているレポートや観光振興のための政策などが適宜公表されています。これらの情報源と政策の活用について解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第4回	<p>【観光の動向を知るためのメディア オウンドメディア・SNSなど】 オウンドメディア（Owned Media）とは自社で保有している媒体のことです。インターネットの普及により観光業界の動きを知る上でオウンドメディアも重要な情報源となっています。その概要について解説します。またSNSなどの新しいメディアについても解説します。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第5回	<p>【ビッグデータ分析ツールによる動向分析 RESAS】 近年、ビッグデータ分析ツールを活用して地域の実態を容易に把握することができるようになってきました。まずは地域経済情報システム（RESAS）について解説するとともに、実際に操作してもらいます（パソコン持参のこと）。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第6回	<p>【ビッグデータ分析ツールによる動向分析 V-RESAS】 近年、ビッグデータ分析ツールを活用して地域の実態を容易に把握することができるようになってきました。2回目は、速報性の高いデータ、日々のデータを収録したV-RESASについて解説し、実際に操作してもらいます（パソコン持参のこと）。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義で提出してください。</p>	
第7回	<p>【ビッグデータ分析ツールによる動向分析 観光予報プラットフォーム】 近年、ビッグデータ分析ツールを活用して地域の実態を容易に把握することができるようになってきました。3回目は観光に特化した「観光予報プラットフォーム」について解説するとともに、実際に操作してもらいます（パソコン持参のこと）。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	
第8回	<p>【ビッグデータ分析ツールによる動向分析 Google Trendなど】 近年、ビッグデータ分析ツールを活用して地域の実態を容易に把握することができるようになってきました。Googleのサービスの一つであるGoogle Trendについて解説するとともに、実際に操作してもらいます（パソコン持参のこと）。</p>	
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】 その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。</p>	

第9回	【観光の意思決定とそのプロセス】 後半からは集客のためのツールとしてのメディアについて説明します。後半の第1回は、そもそも人はどのようなプロセスで観光の意思決定をしていくのかといった点について解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第10回	【集客とマーケティング】 前回講義を踏まえ、観光客を呼び込むための土台となる考え方であるマーケティングの基礎について解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第11回	【集客のためのメディア CM・キャンペーン】 集客を図る上で、メディアの持つ意味は大きいです。集客のための伝統的かつ効果的な手法であるCMや集客に大きな力を持つ旅行会社や交通事業者とのタイアップやプロモーションといったキャンペーンについて解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第12回	【集客のためのメディア オウンドメディア、SNS】 インターネットやSNSの普及により自らが情報発信をすることも容易になりました。こうしたツールについてその特徴や課題を解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第13回	【集客のためのメディア 新たなメディア戦略】 口コミサイトの影響力やインフルエンサーの登用、フィルムコミッションといった新しいメディア戦略について解説します。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第14回	【メディア×集客のケーススタディ】 メディア活用を集客に結びつけるための全国各地の取り組みについて事例を紹介していきます。これまでの授業で紹介した内容を補足する形にもなります。	
	【予習】	
	【復習】その日の講義のポイントについての課題を出します。次回の講義までに提出してください。	
第15回	【まとめ】 これまでの講義のまとめをします。	
	【予習】	
	【復習】試験に向けてこれまでの講義を振り返ってください。	
第16回	試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業態度（授業への貢献度：20%）、授業課題（40%）、授業時間内で適宜実施する小テスト（40%）で総合的に評価します。</p> <p>また、ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10%、社会性：10%、専門性：80%で評価します。</p> <p>到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>テキストは使用しません。講義の中で必要に応じてレジュメや資料を配布します。</p>	使用資料 <参考図書>	<p>講義の中で必要に応じて紹介します。</p>
授業外学修等	<p>日々の生活の中で、さまざまなメディアに触れると思います。折に触れて、講義の内容と照らし合わせたり、自身が関心を持つ情報源についてはフォローするなど、高い好奇心を持って観察してください。</p>		
授業外質問方法	<p>授業終了後ならびにオフィスアワー以外でも研究室に滞在中はいつでも質問を受け付けます。</p>		
オフィス・アワー			

授業科目名	インターンシップ	科目コード	G2607F02
英文名	Internship		

科目区分	観光専攻科目 - 総合		
------	-------------	--	--

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年・3年・4年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中であって、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	インターンシップ	企業研究			
-------	----------	------	--	--	--

到達目標	高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。		
	学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。		
	自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。		

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	事前研修(1) 企業説明会への参加(富山県インターンシップ推進センター主催説明会)	
	【予習】 インターンシップ研修参加希望企業につき予習をしておくこと	30分
	【復習】 説明会で学んだ企業情報を整理しておくこと	30分
第3回	事前研修(2) インターンシップ参加の心得	
	【予習】	
	【復習】 企業研究ノートを作成し、整理しておくこと	30分
第4回	事前研修(3) マナー講座 (身だしなみ)	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	事前研修(4) テーマ発表	
	【予習】 インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	90分
	【復習】 テーマ発表で受けたアドバイスにもとづき修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第6回	事前研修(5) マナー講座 (マナー研修Part1)	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	事前研修(5) マナー講座 (マナー研修Part2)	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修(6) 事前面談(就職アドバイザーとの個人面談)	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	企業研修(1)	
	【予習】	
	【復習】 日報の作成	60分

第10回	企業研修（2）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（3）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（4）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（5）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	事後研修（1） 報告書の作成	
	【予習】日報や企業研究ノートをもとに報告書の原案を作成しておくこと	90分
	【復習】教員による添削をもとに報告書を修正すること	60分
第15回	事後研修（2）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	
第16回	事後研修（3）インターンシップ学内報告会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修、研修先での実習・研修に対する評価、事後レポートを総合的に判断する。		
使用資料 <テキスト>	適宜資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	質問にはオフィスアワー以外にも対応します（メール可）。		
オフィス・アワー	木曜日3限		

授業科目名	環境基礎演習	科目コード	G3102L02
英文名	Basics of Environment Practicum		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 環境基礎		
------	-------------------	--	--

職名	教授 教授	担当教員名	高橋 ゆかり 大谷 孝行
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	環境汚染物質の構造や基本的な性質、国際単位系、環境中の化学物質の種類や濃度の表し方など、環境を理解するための基礎となる事柄を演習を通して理解する。また、定性分析、定性分析の基本的な事柄を学ぶ。また、実験によって得られた結果から結論を導き出し、レポートを作成する力を養成する。さらに、エコ検定に合格できるレベルの知識を身につけることも目指す。(担当教員：実務経験あり)			
-------	---	--	--	--

キーワード	国際単位系	環境中の化学物質濃	データの取り扱い方	エコ検定
-------	-------	-----------	-----------	------

到達目標	環境を学ぶための基礎的な事項や環境汚染物質の表し方について説明できる。(50%)
	実験によって得られた結果をグラフなどで表記し、結論を導き出し、レポートにまとめることができる。(30%)
	環境全般にわたり基礎的な知識を身につけており、エコ検定に合格できる。(20%)

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業概要の説明とエコ検定対策（高橋、大谷） 授業全体の概要について説明する。 エコ検定の問題演習と解説	
	【予習】特に定めない	
	【復習】授業で扱った問題を、「eco検定公式テキスト」を使い復習する。	10分
第2回	有機化合物の構造（高橋） プラスチック製品や合成繊維をはじめ、私たちの身の回りには多くの種類の有機化合物が存在する。環境汚染物質の中にも多種の有機化合物がある。実際に分子模型を使って分子を組み立ててみるにより、有機化合物の分子構造や命名法を理解する。	
	【予習】プラスチックの種類や性質、用途について調べておく。	45分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。（提出）	30分
第3回	環境中の化学物質の種類の構造（高橋） 大気、水、土壌に含まれる汚染物質には、どのようなものが存在するかについて学ぶとともに、表記方法について学ぶ。	
	【予習】授業中に指定する参考資料を読んで授業に臨むこと	30分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。（提出）	30分
第4回	エコ検定対策（大谷） 問題演習と解説	
	【予習】	
	【復習】授業で扱った問題を、「eco検定公式テキスト」を使い復習する。	
第5回	環境中の化学物質濃度の表し方（高橋） 大気、水、土壌に含まれる微量の化学物質濃度を単位体積当たりの質量で表す方法について理解する。測定データの見方を学ぶ。	
	【予習】授業中に指定する参考資料を読んで授業に臨むこと	30分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。（提出）	30分
第6回	環境中の化学物質濃度の表し方（高橋） 大気、水、土壌に含まれる微量の化学物質濃度を単位体積当たりの質量で表す方法について理解する。測定データの見方を学ぶ。	
	【予習】授業中に指定する参考資料を読んで授業に臨むこと	30分
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。（提出）	30分
第7回	エコ検定対策（大谷） 問題演習と解説	
	【予習】	
	【復習】授業で扱った問題を、「eco検定公式テキスト」を使い復習する。	
第8回	エコ検定対策（大谷） 問題演習と解説	
	【予習】	
	【復習】授業で扱った問題を、「eco検定公式テキスト」を使い復習する。	

第9回	環境汚染物質濃度の表し方（高橋） 大気や土壌に含まれる微量の化学物質濃度を割合で表す方法を演習を通して学ぶ。また、データの見方を学ぶ。	
	【予習】授業中に指定する参考資料を読んで授業に臨むこと	
	【復習】授業中に与えられた課題に取り組む。（提出）	
第10回	室内の二酸化炭素濃度の測定を通して、環境中の微量物質の表記方法を復習するとともに、実験の基本操作や実験レポートの書き方の基本を身につける。	
	【予習】あらかじめ配布されたテキストをよく読み、実験の目的、使用する器具、実験操作を十分に理解し、ノートに整理しておく。	
	【復習】実験によって得られた結果を整理し、実験レポートを作成する。（提出）	
第11回	エネルギーや放射性物質に関する単位について、演習を通して理解を深める。	
	【予習】授業中に指定する参考資料を読んで授業に臨むこと	30分
	【復習】授業中に提示された課題に取り組む	30分
第12回	土壌の性質（高橋） 土壌の含水率について演習を通して学ぶことにより、有効数字や誤差の考え方について理解を深める。	
	【予習】あらかじめ配布されたテキストをよく読み、実験の目的、使用する器具、実験操作を十分に理解し、ノートに整理しておく。	30分
	【復習】実験によって得られた結果を整理し、実験レポートを作成する。（提出）	90分
第13回	ペーパークロマトグラフィー（定性分析の基礎）（高橋） ペーパークロマトグラフィーにより、混合物中の成分を分離できることを学ぶ。また、実験の基本的な操作やレポートの書き方についても学ぶ。	
	【予習】あらかじめ配布されたテキストをよく読み、実験の目的、使用する器具、実験操作を十分に理解し、ノートに整理しておく。	
	【復習】実験によって得られた結果を整理し、実験レポートを作成する。（提出）	30分
第14回		
	【予習】あらかじめ配布されたテキストをよく読み、理解しておく。	30分
	【復習】実験によって得られた結果を整理し、実験レポートを作成する。（提出）	90分
第15回	全体のまとめ これまでのまとめをし、重要事項について補足する。	
	【予習】第1回から第14回までの授業で学んだことをよく復習しておく。	60分
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業中の演習課題（70％）と実験レポート（30％） 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 エコ検定合格者は、加点する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：100％		
使用資料 <テキスト>	授業中に資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	・実験を安全に行うために ・続 実験を安全に行うために
授業外学修等	・授業中に配布する資料をよく読み、十分に理解してから授業に臨むこと。 ・ほぼ毎回、レポートまたは課題の提出があるので、授業時間外にも課題に取り組むこと。		
授業外質問方法	授業終了後、オフィスアワーおよびEメール(y-takahasi@tuins.ac.jp、otani@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	水曜日1時限（高橋）440研究室、木曜日2時限（大谷）324研究室		

授業科目名	生活と水環境	科目コード	G3202L02
英文名	Lifestyle and Water Environment		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	教授 客員教授	担当教員名	高橋 ゆかり 尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>水は、生活にとって必要不可欠なものであり、また、富山県にとって大きな財産でもある。この大切な水について、基本的性質を知り、生活する上で安全な水の維持管理や水の活用方法について考える。生活水についての基礎的な知識として、自然水の性質、水質汚濁と環境基準、さらに生活排水の汚染の実態、上下水の浄化システム、新しい水の活用等について説明する。【SDGs：目標6】（担当教員：実務経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	富山の名水	ミネラルウォーター	水の科学	水と暮らし	資源としての水
-------	-------	-----------	------	-------	---------

到達目標	生活と水について、性質、資源としての重要性を説明できる（40％）。
	飲料水としての水質基準や排水の環境基準など安全な暮らしを維持するための環境基準について説明できる（30％）。
	富山の水環境や世界の水事情について説明できる（30％）。

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2021年度オリエンテーション くらしと水のかかわりについて述べる。富山県と水とのかかわりを理解する。	
	【予習】	
	【復習】自分のくらしと水の関わりについて最も関心の高い点をまとめる	30分
第2回	水と生体（高橋） 水は生命活動において不可欠なものであり、さまざまな役割を担っている。 生命と水について、健康面を中心として学ぶ。	
	【予習】健康と水に関して、印象に残っている体験をまとめる	30分
	【復習】健康と水の関わりで重要な点を整理する	30分
第3回	水の基本的性質、水の特異性（高橋） くらしの中で関係する水の物理化学的性質や水の特異性について考える	
	【予習】高校時代の理科のテキストなどで水の性質を復習しておく	30分
	【復習】くらしの自然現象の中で水に関わる点をまとめる	30分
第4回	くらしと水（尾畑） 使う水、おいしい水、富山の名水、飲む水	
	【予習】各自の家庭の水使用量を調べる	
	【復習】水の利用について、まとめる	
第5回	飲む水（尾畑） おいしい水、富山の名水、名水百選 など	
	【予習】富山の名水地についてHP調べる	
	【復習】実際に2か所名水の地を訪ね、特色を調査する。（課題）	
第6回	ミネラルウォーターと飲料水（尾畑） ミネラルウォーターの生産、将来	
	【予習】富山で製造されているミネラルウォーターを調査する	
	【復習】店頭に並びミネラルウォーターについて実際にどれくらいの種類が販売されているか調べる	
第7回	浄水場のしくみと水質基準（高橋） 世界の水道について、日本の水質基準について	
	【予習】	
	【復習】浄水のしくみについて復習する	
第8回	下水道の歴史と処理のしくみ（高橋） 日本の下水道整備の歴史、現在の処理方法について	
	【予習】自宅の下水処理状況を調べる	
	【復習】今後の水利用についてどのようにすべきかまとめる	

第9回	環境水の質の問題 - 排水基準と環境基準 (高橋)	
	【予習】 前回の授業中に配布された資料を読んでおく。	
	【復習】	
第10回	環境水の量の問題 - 水は十分にあるのか (高橋)	
	【予習】 前回の授業中に配布された資料を読んでおく。	30分
	【復習】 授業中に与えられた課題に取り組む	30分
第11回	地球上の水の姿、地球環境と水 (高橋)	
	【予習】 地球の水循環、水に関する地球環境問題について調べておく。	60分
	【復習】	
第12回	世界の水事情 (グループワーク) (高橋)	
	【予習】 世界の水事情について、調べておく。	60分
	【復習】 グループワークの内容をまとめ、次回の授業で発表できるようにしておく	60分
第13回	世界の水事情 (グループワーク) (高橋)	
	【予習】	
	【復習】 グループワークの内容をまとめるとともに、世界の水事情について整理する	60分
第14回	新しい水の利用と将来の水需要 (高橋) 水循環から見た将来の水需要を様々な視点から推定する	
	【予習】 美しい水辺環境について考え、まとめておく。	30分
	【復習】 授業中に提示する。	30分
第15回	総括、質問、意見交換を通して今後の水循環や資源の保全について考える	
	【予習】 とやま水ビジョンを読んでおく。	30分
	【復習】 富山県の水資源の今後について、調査しまとめる	60分
第16回	試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業への積極的取り組み姿勢、授業内に実施する課題（40％）期末試験（40％）、レポート（20％） 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：100％		
使用資料 <テキスト>	授業中にプリントを配布する	使用資料 <参考図書>	令和元年度版日本の水資源の現状（国土交通省）
授業外学修等	授業外における課題学習については、授業中にレポート課題などを提示する。		
授業外質問方法	授業終了後または電子メール【高橋（y-takahasi@tuins.ac.jp）もしくは尾畑（obata@tuins.ac.jp）】		
オフィス・アワー	水曜日1時限（高橋）440研究室		

授業科目名	住環境デザイン	科目コード	G3202L06
英文名	Living Environment Design II		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザイン」「住環境デザイン」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「住環境デザイン」と「住環境デザイン」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。「住環境デザイン」では、住まいの設計、構造と環境工学、住まいの法律、生産についてを学ぶ。住宅設計実務者による住宅設計実習を行う予定である。（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：目標7、目標11、目標12）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	住まいの設計と生産	構造と材料	住まいと環境工学	住まいの設備	住まいの法制度
-------	-----------	-------	----------	--------	---------

到達目標	住まいの設計の基本事項を説明することができる。（30％）				
	住まいの性能に関して説明できる。（40％）				
	住まいの法律・生産を理解する。（30％）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第2回	住まいの設計（1）	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第3回	住まいの設計（2）	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第4回	住まいの設計例	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第5回	住まいの構造	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第6回	住まいを構成する材料	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第7回	住まいと環境工学（気候・空気・音）	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第8回	住まいと環境工学（光・熱）	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第9回	省エネルギーな住まい	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分

第10回	住まいの設計実習	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第11回	設備機器	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第12回	電気設備・照明・防災設備	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第13回	バリアフリーデザイン	
	【予習】LINEで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第14回	住宅関連法制度の概要	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第15回	住まいの生産とマネジメント	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」（約50%の評価）、全員が提出すべき「必修レポート」（「復習レポート」を含む）、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」（ミニテスト以外で約50%の評価）の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ</p>	<p>使用資料 <参考図書></p>	<p>授業の内容はSNS上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に応</p>
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。 メールアドレス：kawamoto@tuins.ac.jp SNS：https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室（439室）にて</p>		

授業科目名	生活環境論	科目コード	G3202P01
英文名	Living Environment		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	高橋 ゆかり
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>地域環境について知ることは、その重要性を次世代の人々にも伝えるためにたいへん重要である。この授業では、大気環境、水環境、土壌環境の現状と課題についての理解を深める。また、生活環境問題は、他の環境問題とどのように関わっているのかということや、私たちの取るべき態度についても考える。【SDGs：目標3、12】（担当教員：実務経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	地域環境問題	大気環境	土壌環境	化学物質	持続可能な社会
-------	--------	------	------	------	---------

到達目標	大気環境、水環境、土壌環境が良好であることの大切さとこれらが汚染した場合の問題点について説明できる。（50％）				
	生活の中で使われている物質の恩恵や不適切な使用による問題について説明できる。（30％）				
	私たちの生活と世界とのつながりについて説明し、自分の意見を述べるができる。（20％）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション～人間と環境のかかわりや環境問題を学ぶことの大切さ授業の概要について説明する。また、人間活動や人口と環境のかかわりや人間活動にともなってどのような地球環境問題が生じたのかについて学ぶ。また、日本はこれまでの環境問題にどのように対処してきたのかということも学ぶ。	
	【予習】特に定めないが、授業には必ず出席すること。	
	【復習】テキスト1～11ページおよび授業ノートを読んで復習する。	30分
第2回	環境問題の歴史から環境について考える 日本は、過去にさまざまな公害問題を経験してきた。これらの問題を通して、環境問題について考える。	
	【予習】前回の授業で出された課題に取り組む	30分
	【復習】テキスト12～20ページおよび授業ノートを読んで復習する。	30分
第3回	大気環境 空気は人間の生存にとって不可欠なものである。空気と人間のかかわり、大気役割やその組成などについて学ぶ。	
	【予習】あらかじめ配布された資料を読んでおく。	30分
	【復習】授業中に出された課題に取り組む。	30分
第4回	さまざまな大気環境問題 酸性雨、黄砂などの大気環境問題、浮遊粒子状物質や微小粒子状物質（PM2.5）などによる大気汚染の現状やとられている対策などについて学ぶ。また、現状やとられている対策などについても学ぶ。	
	【予習】テキスト57～65ページを読み、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第5回	水環境問題 水環境が良好であるということはどのようなことを指すのか、いくつかの視点から考える。	
	【予習】どのような原因で環境水が汚染されるか調べておく。また、教科書66～79ページを読んでおく。	30分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	30分
第6回	土壌の役割と構造 土壌とは何か、生物の生存に対してどのような役割を担っているのかについて学ぶ。また、土壌の質や土壌が劣化してしまう原因について考える。 また、前半の授業の復習をする。	
	【予習】土壌の機能と役割について調べ、整理しておく。 第1回から第7回の授業の復習をして授業に臨む。	120分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第7回	土壌・地下水汚染 土壌汚染の原因、どのような物質が土壌汚染物質となるのか、土壌や地下水が汚染されるとどのような影響があるのかということについて学ぶ。さらに、汚染土壌の調査方法やとられている対策についても理解する。	
	【予習】テキスト80～89ページを読み、わからない語句について調べておく。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第8回	生活の中の化学物質（1） 私たちは化学物質によって豊かな生活を送ることができる。生活の中の様々な製品について、その利便性と誤った使用法による危険性について考える。	
	【予習】テキスト90～104ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	
	【復習】	

第9回	生活の中の化学物質(2)～化学物質が生物に及ぼす影響 化学物質の定義を明らかにした上で、生物の生存に必要な化学物質、生物にとって害になる化学物質について理解する。さらに、化学物質が環境中に放出された場合、どのような影響があるのかについて考える。	
	【予習】テキスト105～111ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第10回	生活の中の化学物質(3)～化学物質による環境汚染 化学物質は、私たちの生活を豊かにする一方で、リスクもある。リスク評価の基本的な考え方について理解する。さらに、これまで問題となった化学物質の例を挙げる。	
	【予習】予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	40分
第11回	放射性物質による環境汚染	
	【予習】教科書112～123ページを読んでおく	
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	
第12回	食品と環境問題 私たちの食品の中には、海外で生産されているものも多い。生産の過程で起きている環境問題や生産者が直面している問題について、グループワークを通して考える。	
	【予習】テキスト163～167ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	
第13回	食料自給率と食品の安全性に関する問題	
	【予習】テキスト167～171ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	
第14回	ごみと廃棄物	
	【予習】テキスト172～180ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	
第15回	持続可能な社会と私たちの生き方 これまでの授業で学んできたことをふまえ、私たちはどのように環境とかわかり、環境保全をしたらよいのかについて考える。	
	【予習】テキスト195～204ページをよく読み、分からない語句について調べる。また、予習課題に取り組む。	40分
	【復習】授業で配布されたプリント、テキスト、ノートをよく読んで復習する。	180分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び授業中に実施する小課題（60％）、期末試験（40％）によって評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：100%		
使用資料 <テキスト>	川合真一郎、張野宏也、山本義和「環境科学入門 第2版」（化学同人）	使用資料 <参考図書>	・金原粲監修「環境科学 改訂版（専門基礎ライブラリー）」（実教出版、2014年）
授業外学修等	指定された予習・復習を行う。		
授業外質問方法	授業終了後、オフィスアワーおよびEメール（y-takahasi@tuins.ac.jp）など		
オフィス・アワー	月曜日4限、440室		

授業科目名	住環境デザイン	科目コード	G3202P05
英文名	Living Environment Design I		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザイン」「住環境デザイン」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「住環境デザイン」と「住環境デザイン」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を旨としている。「住環境デザイン」では、私たちの生活と住まい、インテリアコーディネート、住まいの歴史を中心に学ぶ。また、インテリアコーディネーター実務者によるプレゼンテーション実習を予定している。(担当教員:企業での実務経験豊富)(関連SDGs:目標7、目標11、目標12)</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	生活と住まい	色彩と造形	家具の設計	インテリアエレメン	住まいの歴史
-------	--------	-------	-------	-----------	--------

到達目標	私たちの生活と住まいの関係性を説明できる。(30%)				
	家具、インテリアエレメントに関するデザイン基礎知識がある。(30%)				
	住まいの歴史の概要を説明できる。(40%)				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第2回	私たちの暮らし(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第3回	私たちの暮らし(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第4回	色彩の基礎	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第5回	色彩計画と造形	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第6回	家具の種類と構造	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第7回	家具の生産	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第8回	人間工学と椅子の設計	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第9回	インテリアエレメント	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分

第10回	日本の住まいの歴史(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第11回	日本の住まいの歴史(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第12回	インテリアコーディネート実習	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第13回	世界の住まい(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第14回	世界の住まい(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第15回	現代の住まい	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」(約50%)、全員が提出すべき「必修レポート」(「復習レポート」を含む)、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」(ミニテスト以外約50%)の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ</p>	<p>使用資料 <参考図書></p>	<p>授業の内容はSNS上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に応</p>
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやSNSにて行うことを希望する。 メールアドレス : kawamoto@tuins.ac.jp SNS : https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 2時限 (10:40~12:10) 研究室(439室)にて</p>		

授業科目名	資源・エネルギー論	科目コード	G3302L03
英文名	Resources and Energy		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 地球・自然環境		
------	----------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	上坂 博亨
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	現代社会を支える資源とエネルギーの供給と消費の過程を量的に把握し、食糧と人口との関係にも目を向けた現状と今後の見通しについて考える。そして枯渇性資源から脱却した持続可能な社会を形成するための、再生可能エネルギーの可能性と利用方法について学び、生活との関わりの中での資源・エネルギー感覚を養う。【SDGs：目標7】			
-------	--	--	--	--

キーワード	化石燃料	枯渇性資源	再生可能エネルギー	持続可能性	水素社会
-------	------	-------	-----------	-------	------

到達目標	資源とエネルギーの概念について理解し、現代社会における枯渇性資源の現状と見通しを大局的に理解し、自分の言葉で説明できる(30%)
	再生可能エネルギーの種類と性質、分布と利用方法などについて概要を理解し自分の言葉で説明できる(40%)
	生活の中での、エネルギー循環のフローとボリュームを理解し、適切な行動ができるようになる(30%)

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションとトピックス 本授業の概要を示し、本授業で学ぶ内容と授業の受け方について説明する 資源開発と環境負荷について概要を解説する	
	【予習】新聞やテレビのニュースなどから、再生可能エネルギーに関する記事の一つピックアップして読んでおく	10分
	【復習】再生可能エネルギーの活用することの重要性をまとめておく	30分
第2回	人口変動と高齢化 中国とインドをはじめとする発展途上国の爆発的な人口増加にともなって、世界人口は爆発的に増加している。その一方で、世界に先駆けて日本の人口は減少に転じ、人口ピークであった2010年を境に大きく減り始めた。加えて劇的な速度で進む高齢化の実態にもせまる	
	【予習】日本と世界の国々の人口を調べておく 世界の国を人口の順に10位までリストアップし、おおよその人口が言えるようにしておく	10分
	【復習】将来の年齢層別の人口変動を予測して、2030年と2050年および2100年の高齢化率を計算せよ	30分
第3回	日本のエネルギー問題 実質的なエネルギー自給率が4%と言われる日本において、化石燃料依存性が引き起こす様々な問題について考える	
	【予習】自宅ではどのようなエネルギーを利用しているかについて調査しておく	10分
	【復習】自宅でのエネルギー源別の費用を、月別にまとめ、年間のエネルギー費用を算出する	30分
第4回	枯渇性資源の動向 - 石油 - コリンキャンベルの化石燃料生産曲線を基礎として、世界の石油生産の動向と日本の石油依存性について現状を分析する。さらにに非在来型の石油資源について理解をふかめ、石油の将来と重要性を考える	
	【予習】身の回りの石油製品を10種類ピックアップする	10分
	【復習】「もし日本への石油供給が止まったら・・・」と題して、想像できる社会の姿をA4用紙1枚でまとめてみよう	30分
第5回	枯渇性資源の動向 - 天然ガス - 日本における天然ガス生産の歴史をヒモ解き、天然ガスの世界的動向と日本におけるガス依存性について学ぶ。さらに2010年にIEAが報告した「The Golden Age of Gas」の意味を理解し、非在来型の天然ガスの現状を学ぶ	
	【予習】自宅のガス使用量を調査せよ	10分
	【復習】自宅でのガスの使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	30分
第6回	枯渇性資源の動向 - 石炭 - 日本における石炭生産の歴史をヒモ解き、石炭の由来や世界的動向について学ぶ。	
	【予習】自宅のガソリン使用量を調査せよ	10分
	【復習】自宅でのガソリンの使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	30分
第7回	枯渇性資源の動向 - ウラン - 東日本大震災以降、身近な問題として注目をあびる原子力発電について理解を深め、様々な議論が交わされている原子力発電所の是非と日本のエネルギー政策について議論を深める	
	【予習】自宅の灯油使用量を調査せよ	10分
	【復習】自宅での灯油の使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	30分
第8回	二次エネルギーの動向 一次エネルギーと二次エネルギーの概念を整理し、エネルギー資源について理解をする。さらに電力・ガス・熱供給について考え、エネルギー資源との関連性を正しく整理する。	
	【予習】自宅の電気使用量を調査せよ	10分
	【復習】自宅での電気の使用量を月別に集計して、1年間の使用量と料金を集計せよ	30分

第9回	再生可能エネルギー～風力～ 風力のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の風力利用の現状を学び、持続可能な社会づくりにおける風力の位置づけと可能性について理解する。	
	【予習】発電機によって電気ができる原理を調べ理解しておく	10分
	【復習】デンマークにおける風力開発の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	30分
第10回	再生可能エネルギー～太陽光～ 太陽光のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の太陽光利用の現状を学び、持続可能な社会づくりにおける太陽光の位置づけと可能性について理解する。	
	【予習】太陽電池によって電気ができる原理を調べ理解しておく	10分
	【復習】中国における太陽光発電の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	30分
第11回	再生可能エネルギー～水力～ 水力のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の水力利用の現状を学び、特に富山県における水力の有効性と地域特性を理解する。	
	【予習】水力によって水車が回る原理について調べ理解しておく	10分
	【復習】日本における水力発電（水力開発）の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	30分
第12回	再生可能エネルギー～地熱～ 地熱のもつエネルギーについて理解し、その特徴、長所や短所、分布と利用方法などについて学ぶ。また世界や日本の地熱水力利用の現状を学び日本への適用性を考える。特に富山県に豊富なエネルギーとしての温泉の可能性にも注目する。	
	【予習】地熱発電の方法について調べて概要を理解しておく	10分
	【復習】アイスランドにおける地熱利用の歴史と現状およびその特徴についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	30分
第13回	再生可能エネルギー～バイオマス～ バイオマスのもつ資源としての可能性について理解し、その特徴、長所や短所、利用方法などについて学ぶ。また67%の森林率を誇る富山県においての森林の有効性と経済性についても理解する。	
	【予習】バイオマスとはどのようなものか、例を挙げながら概要を理解しておく	10分
	【復習】日本の森林利用の歴史と現状および問題点についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	30分
第14回	水素社会に向けた基礎知識～水素とは何か～ 二次エネルギーとしての水素の性質を明らかにし、その製造から利用までの特長や長所・短所について学ぶ。さらに燃料電池をもちいた電力と熱生産の原理と応用について学び、燃料電池車の特長や可能性について理解する	
	【予習】水素自動車の原理について調べて概要を理解しておく	10分
	【復習】燃料電池の原理と仕組みについてA4用紙半分程度のメモを作成せよ	30分
第15回	水素社会にむけた基礎知識～水素の利用～ 人類が未経験の水素利用社会について、従来のエネルギーとの違いや社会における利用技術と利用者リテラシーなどに注目し、もしかするとやってくるかもしれない水素社会についての理解を深め未来に備える	
	【予習】水素ステーションについて仕組みと問題点について概要を理解しておく	10分
	【復習】水素利用における製造・貯蔵・運搬・利用の技術についてA4用紙半分程度のメモを作成せよ 並びにこれまでに作成してきたA4用紙半分程度のメモを集大成して一つのファイルにまとめ提出せよ	30分
第16回	期末試験	
	【予習】	10分
	【復習】	30分

評価方法	授業への興味関心度と取り組み姿勢（10%）、授業中に実施する演習問題（30%）、期末試験（60%）にて評価する。 ただし70%以上の出席が無い場合は期末試験受験資格が得られない。 【ディプロマポリシー配分比率】社会性：20%、専門性：80%		
使用資料 <テキスト>	パワーポイント資料などを提示する	使用資料 <参考図書>	パワーポイント資料などを提示する
授業外学修等	テレビや新聞で報道されるエネルギー関連記事にも注目すること		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 送信先：uesaka@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	月曜 2 時限 436室		

授業科目名	地球環境論（自然環境）	科目コード	G3302P01
英文名	Global Environment (Physical Environment)		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 地球・自然環境		
------	----------------------	--	--

職名	教授 准教授	担当教員名	上坂 博亨 繁宮 悠介
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>かけがえのない地球環境をよりよく保ち続けること、その重要性を次世代の人々にも伝えることはたいへん重要である。この授業では、人為活動に伴い地球環境問題が深刻化したことや、大気環境、水環境、土壌環境とそれらの汚染問題の現状と課題についての理解を深める。また、地球環境問題は、他の環境問題とどのように関わっているのかということや、私たちの取るべき態度についても考える。【SDGs：目標13, 目標6, 7, 14, 15】</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	地球の誕生	生命の誕生	物質循環	生物多様性	持続可能社会
-------	-------	-------	------	-------	--------

到達目標	地球の誕生から現在に至るまでの大まかな流れについて説明できる（30%）
	物質とエネルギーの循環や地球環境のバランスについて概略を説明できる（40%）
	自然環境と生物やヒトとの関連性ならびに多様性と持続可能性について概略を説明できる（30%）

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業全体に渡ってのガイダンスを行う。（上坂・繁宮） -授業の概要と目標 -評価方法	
	【予習】特になし	
	【復習】授業をとおして自分の学びの目標を考える	10分
第2回	<地球の誕生>（上坂） -宇宙の誕生・太陽系の誕生・地球の誕生から、地殻の形成、水の生成など地球の成り立ちを学ぶ -生まれたばかりの原始地球の海の状態や海洋成分、大気の状態と成分について現在との違いに注目する	
	【予習】提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第3回	<生命の誕生と生物の進化>（繁宮） -地磁気の発生 宇宙線の遮蔽（オーロラ） タンパク質の合成 生命の誕生 -ラン藻の出現 光合成のスタート 酸素の発生 オゾン層の形成 陸上生物の出現 カンブリア以降の地質時代	
	【予習】提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第4回	<生物の多様化と絶滅>（繁宮） -5億5千万年前に動物の爆発的多様化が起こり、陸や空など様々な環境に適応していった過程を学ぶ -古生代が大絶滅により終わり、中生代には恐竜が繁栄するがその絶滅で幕を閉じる過程を学ぶ	
	【予習】提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第5回	<人類の進化>（繁宮） -新生代の生物相とともに、人類の誕生と進化についてネアンデルタール人など我々以外の人類との関係性を通して学ぶ -文明の発展と衰退についてイースター島の象徴的な話を参考にし、ヒトとはどういう生物かを考える 【中間テスト（15分）】	
	【予習】提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第6回	<人類と水：地球規模から生活まで>（上坂） -食料を支える水、世界の水消費、地球の砂漠化などを通して地球の水事情について学ぶ -海洋大循環、淡水と海水、淡水化技術、水の地域循環、深層海流と海洋資源など、地球の水資源の基本を学ぶ	
	【予習】提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第7回	<人類を支える食料>（上坂） -地球の生産性、人類の増加と農耕地の減少、農地の砂漠化は何故起こるかなど、食料と人類の関係を学ぶ -食料生産に必要なものは水だけでははい。青森三内丸山遺跡に見る農業崩壊にも注目する。	
	【予習】提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分

第8回	<p><地球温暖化> (上坂)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 温室効果ガスとは何か、温暖化のメカニズム、地球の熱収支についての基本を学ぶ - 気候変動、世界の異常気象、地球温暖化の演繹的仮説と帰納的仮説などにも注目する 	
	【予習】 提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】 解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第9回	<p><二酸化炭素排出量と世界目標> (上坂)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 炭素の分布と炭素循環、二酸化炭素排出の原因と現状、緩和策と適応策などの基本を学ぶ - パリ協定 (2030年目標)、各国のCO2排出量にも触れる 	
	【予習】 提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】 解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第10回	<p><温暖化をまねく化石燃料の削減> (繁宮)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 石油・石炭・天然ガスの生い立ち、化石燃料の可採埋蔵量について概観する - CO2排出との関係、未来の化石燃料、ついでに原子力発電にも触れ、エネルギーの未来予測にも触れる <p>【中間テスト (15分)】</p>	
	【予習】 提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】 解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第11回	<p><オゾン層の破壊> (繁宮)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 紫外線が陸上生物に及ぼすこと、フロンなどのオゾン層破壊物質に関することを学ぶ - オゾンホールが地球環境に与える影響、オゾンホールの現在と未来についても注目する 	
	【予習】 提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】 解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第12回	<p><森林の機能と役割> (繁宮)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 森林生態系のメカニズムと役割、森林破壊の現状の概要を学ぶ - 利用されない日本の森林、減少する世界の森林、熱帯林の危機などについても注目する 	
	【予習】 提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】 解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第13回	<p><生物多様性と生態系> (繁宮)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 生態系と食物連鎖、生態系サービス (基盤・供給・調整・文化) など、多様であることの役割を学ぶ - 生物はなぜ多様であることが望ましいのか? 遺伝子、種、生態系レベルでの意味を考える 	
	【予習】 提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】 解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第14回	<p><滅びゆく野生生物> (繁宮)</p> <ul style="list-style-type: none"> - 野生生物種が減少、熱帯雨林の減少などを与える人間活動による影響を学ぶ - 野生生物の減少に関する国際的取り組みにも触れる 	
	【予習】 提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】 解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分

第15回	<美しい地球> (上坂) -人類にとって多くの問題を抱える地球環境への学びを通して、人類の今後の存続について考える -「成長の限界」を理解し、人類として取るべき行動についても触れる 【中間テスト(15分)】	
	【予習】 提示するテキストに目を通しておく	10分
	【復習】 解らなかった部分について、テキストで確認しておく	20分
第16回	筆記試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	積極的な授業への取り組み(20%)、授業中に課すミニテスト(30%)と期末試験(50%)にて評価する。 なお基準以上の出席回数がない場合は試験を受けることができない。
------	--

使用資料 <テキスト>	(特になし)	使用資料 <参考図書>	パワーポイント資料を配布する
----------------	--------	----------------	----------------

授業外学修等	テレビや新聞で報道されるエネルギー関連記事にも注目すること
--------	-------------------------------

授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 送信先：(上坂) uesaka@tuins.ac.jp、(繁宮) shigemiya@tuins.ac.jp
---------	---

オフィス・アワー	月曜日 2時限～お昼休み (場所：4号館436研究室) 木曜日 2時限～お昼休み (場所：3号館320研究室)
----------	--

授業科目名	生態学	科目コード	G3302P02
英文名	Ecology		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 地球・自然環境		
------	----------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	繁宮 悠介
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	地球上では、様々な生物が多様な生き方をしている。気候が過酷な地域に生息するものもいれば、生物同士の激しい競争の中で生きるものもいる。この講義では、生物と環境の関わりを調べる学問である生態学の主要な概念を学びながら、生存競争を繰り広げる生き物たちが進化させた生き延びるための工夫や、今現在も起こっている生物同士の関係の多様さと面白さを紹介していく。とくに、人間と他の生物との違いや類似点を明らかにすることで、人間と環境との関わり方を考える機会とする。			
-------	--	--	--	--

キーワード	環境への適応	競争	捕食と寄生	相利共生	生態系
-------	--------	----	-------	------	-----

到達目標	現代における生物および生態系の置かれた状況について情報を収集しまとめることができる。(40%)			
	それぞれの種が特徴的な生態を進化させ、それにより生態系が成立していることを説明できる。(50%)			
	生物および生態系に関する疑問点を追求し、他者の意見も聞いて思考を深めることができる。(10%)			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第2回	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第3回	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第4回	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第5回	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第6回	鳥類の求愛行動	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第7回	生活史	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第8回	分散	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第9回	植物の種子散布	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分

第10回	捕食・寄生・分解	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第11回	相利共生	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第12回	植物にみられる共生と寄生	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第13回	生態系と人間	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第14回	多様性の価値	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第15回	生態系サービス	
	【予習】様々なメディアを活用し生物の生態に関する情報を収集し、興味関心を抱いた生物名とその生態について文章にまとめる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第16回	期末試験	
	【予習】15回の授業内容の見直しを行い、試験において回答できるようにする。	210分
	【復習】試験において答えられなかったところを復習し、知識として蓄積する。	20分

評価方法	<p>目標 : 毎回の理解度(まとめが書けているか・20%)と毎回の家庭学習成果(ニュース記事が書けているか・20%)で評価する。</p> <p>目標 : 毎回の授業における意見交換(質問が書けているか・10%)で評価する。</p> <p>目標 : 毎回の家庭学習成果(予習の成果が書けているか・20%)および期末試験(知識の定着と課題解決力の養成が行えているか・30%)で評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	適宜配布	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習時間は、1日のメディア視聴時間を約30分として計算したものである。大学での授業と時事的な問題をつなげるための大切な活動であることを理解し取り組むこと。 ・ 毎回の「まとめ」は、個人の感想ではなく、授業全体を通して述べられた内容をまとめること。 		
授業外質問方法	授業終了後およびメールにより質問を受け付ける。		
オフィス・アワー			

授業科目名	持続可能型社会論	科目コード	G3402L02
英文名	Sustainable Society		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 社会環境		
------	-------------------	--	--

職名	客員教授	担当教員名	丁子 哲治
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>持続可能な社会とは、生活の質を高めつつ、社会が持続的に維持・発展することであり、人類全体の究極的な目標である。本講義では、地球上の物質循環や環境問題を科学的に理解し、持続可能型社会の実現に向けたロードマップに基づいて、一人ひとりがそれぞれの関心分野において将来に向けた具体的行動ができるようになることを目的とする。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	持続可能	物質循環	エネルギー	ディーセントワーク	ロードマップ
-------	------	------	-------	-----------	--------

到達目標	持続可能な社会の実現に関する基礎知識を持ち、人に説明できるようになる（40%）			
	持続可能な社会の実現のための課題について各自の関心分野において改善行動として具体化できるようになる（40%）			
	自分の置かれた環境の中で持続可能な社会の実現のための行動ができるようになる（20%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	4.社会人としての能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<ガイダンス> 授業の目的と概要ならびに評価方法について説明する。 持続可能な社会の実現は、今や人類全体の究極的な目標である。この持続可能な社会の概略を説明すると共に、持続可能な社会を実現するための課題について解説する。	
	【予習】特になし	
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	20分
第2回	<人類の歴史から見る持続可能性・食料> 人類はアフリカを出発点として、今や世界に居住を広げているが、野生の動植物を食料とするには常に困難を伴ってきた。その後、農業による食糧確保の技術を会得するが、これには広大な森林伐採が行われた。このような経緯について歴史を振り返って解説する。	
	【予習】これまでに学習したことのある人類の歴史について振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第3回	<人類の歴史から見る持続可能性・エネルギー> ヒトは火を手にすることによって発展してきた。その火とは森林を伐採して得たバイオマスエネルギーである。さらに産業革命以後では地下から掘り出した石炭や石油を使うようになった。このようなエネルギーの使い方から持続可能な社会について考える。	
	【予習】これまでに学習したことのある人類の歴史について振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第4回	<人類の歴史から見る持続可能性・材料> 歴史的に生活水準の向上のために、種々の製品が製造されてきた。これらの製造に使用される材料は、地下資源や陸や海の生態系から原材料として求められてきており、当時から既に深刻な資源の枯渇により持続性が危ぶまれてきた。	
	【予習】これまでに学習したことのある人類の歴史について振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第5回	<人類の歴史から見る持続可能性・生活用水と衛生環境> ヒトは飲料水などの生活用水が不可欠であり、多くは河川や湖沼の近くに居住する場合が多いが、高地や乾燥地など容易に生活用水が得られない場合もある。生活用水の確保によってもたらされる健康的な生活の持続性について考える。	
	【予習】これまでに学習したことのある人類の歴史について振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第6回	<農業の物質循環> 食糧を省力的かつ経済的に生産するには大規模生産方式が効果的であるが、大規模単一生産は気候変動や災害、病虫害などの影響を強く受ける。ヒトの生存のために不可欠な食糧生産の持続可能性について考える。	
	【予習】歴史的な農業の発展の経緯を振り返って予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第7回	<エネルギーの持続可能性> エネルギーはいくつかの種類があり、目的に応じてそれぞれの間で変換される。しかし、一般に変換効率が悪く、しかも貯蔵、輸送が困難な場合があり、ほとんどの場合には最終的にはやがては熱エネルギーとなって大気中に拡散してしまう性質がある。このようなエネルギーの性質を理解し、持続可能性について考える。	
	【予習】これまで学んだエネルギーの種類について予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分
第8回	<大量生産・大量消費時代の環境問題> 人々は大きな集団で分業化することによって技術を高め、その技術による産業によって社会を創り上げてきた。このような社会の持続的発展のために必要な、技術創造の知的財産、技術伝承の方法、技術利用の環境安全について学ぶ。	
	【予習】20世紀までは、環境問題と言えば公害であった。富山県内で発生した公害について予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的な行動について考えてみる。	15分

第9回	<地球大気物質循環> 大気中には酸素、窒素以外に多種多様な微量成分が含まれているが、その多くは、自然現象ばかりではなく、人為的活動を起源としており、気候変動を始めとして種々の環境影響を及ぼしている。このような地球大気物質循環が持続可能な社会に及ぼす影響について理解する。	
	【予習】地球温暖化による身近な影響について、これまで学んだことを予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第10回	<持続可能な社会のための炭素資源の循環> ほとんどの有機化学工業製品は、石油・石炭・天然ガス等を原料としている。これらの製品について、脱炭素化を目指す持続可能な社会のための技術について考える。	
	【予習】有機化学工業製品について、これまで学んだことを予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第11回	<持続可能な社会のための食品の循環> 消費期限切れによる廃棄や食べ残しなど、食品特有の問題について持続可能な社会におけるあり方を考える。	
	【予習】日常の食品の取り扱いについて予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第12回	<持続可能な社会のための工業製品の循環> 工業製品を消費者が使用した後の循環について考える。持続可能な社会では、廃棄ではなく、再生利用から再利用、長期利用への転換が図られている。	
	【予習】持続可能な社会で特に求められている工業製品について、これまで学んだことをもとに予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第13回	<持続可能な社会のための公衆衛生と教育> 新型コロナウイルスの世界的感染の今日、持続可能な社会における公衆衛生について考える。その際、初等教育ばかりではなく、高等教育も重要な役割を果たさなければならないことを理解する。	
	【予習】持続可能な社会で特に求められている高等教育について、これまで学んだことをもとに予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第14回	<持続可能な社会のためのディーセントワーク技術> 少子高齢化による労働人口減少を克服するために、誰もが参加できる持続可能な経済成長と、全ての人に働きがいのある人間らしい雇用の促進のための技術開発が求められている。すなわち、身体機能を補助する技術に加えて、知的機能についても対応する、IoTやビッグデータの扱い、AI等の情報技術などの発展が求められている。	
	【予習】少子高齢化による労働人口減少について、これまで学んだことを予習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第15回	<ロードマップ> 持続可能な社会の実現のための行動は始まったばかりである。第1回～第14回で学んだことに基づいた、持続可能な社会の実現に向けたロードマップを考える。	
	【予習】将来の目標を実現するためのロードマップを考えるために、第1回～第14回の講義について復習しておく。	15分
	【復習】授業の内容を振り返り、持続可能な社会の実現に必要な本質について考えて、ミニテストに回答する。また、振り返りシートを通して自分の具体的行動について考えてみる。	15分
第16回	【2021年度：期末課題】 下記の期末課題ファイルをダウンロードして課題を確認してください。 課題レポートは、下記の書式ファイルを利用して作成し、右の のボタンから提出してください。 提出する際には、ファイル名に自分の学籍番号と氏名が入っていることを確認してください。 課題提出は右の のボタンから 【期末課題ファイル】 【提出用書式ファイル】	
	【予習】特になし	
	【復習】特になし	

評価方法	授業への興味関心度と受講態度（10%）、授業毎のミニテスト（30%）、期末試験（60%）にて評価する。 ただし70%以上の出席が無い場合は期末試験受験資格が得られない。 【ディプロマポリシー配分比率】社会性：50%、専門性：50%		
使用資料 <テキスト>	パワーポイント資料などを提示する	使用資料 <参考図書>	パワーポイント資料などを提示する
授業外学修等	テレビや新聞で報道される環境関連記事にも注目すること		
授業外質問方法	電子メールでの質問を受け付ける 送信先：chohji.tetsuji@gmail.com		
オフィス・アワー	（非常勤のため無し）		

授業科目名	環境経済学	科目コード	G3402L03
英文名	Environmental Economics		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 社会環境		
------	-------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	繁宮 悠介
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	人間の活動は経済活動とみなすことができ、現代ではその経済活動により自然環境が破壊され、人間社会の存続が脅かされるほどになっている。この授業では、世界的な環境問題（農林水産物貿易や地球温暖化など）から地域社会の環境問題（景観保全や消費活動）までを、環境経済学の視点で分析する。その分析を踏まえて、個人の経済活動に見られる時代のおよび心理的傾向を考慮しながら、危機的状況にある地球環境を回復させる経済活動のありかたを考える。			
-------	--	--	--	--

キーワード	市場の失敗	社会的ジレンマ	環境政策	環境経済評価	行動経済学
-------	-------	---------	------	--------	-------

到達目標	経済的手法により環境問題の解決を考えることができる。（30％）			
	環境問題に関する経済学的分析と解決のための手法を把握し説明することができる。（60％）			
	環境と経済に関する疑問点を追求し、他者の意見も聞いて思考を深めることができる。（10％）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業内容と目標、成績評価	
	【予習】一週間以内の新聞・ネット記事から環境と経済に関する記事の内容をまとめるとともに、その記事を自学ノートに貼り付ける。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第2回	経済学の中の環境経済学	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第3回	古典経済学における環境	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第4回	環境と経済の現在	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第5回	環境の経済的価値	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第6回	共有地の悲劇と社会的ジレンマ	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第7回	貿易と環境問題	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第8回	エネルギー生産と排出権取引	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第9回	環境と規制・税制・補助金	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分

第10回	地域通貨・地域おこしと環境	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第11回	地域景観と観光資源の保全	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第12回	企業にとって環境とは	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第13回	プラスチックゴミと脱プラスチック	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第14回	公共事業・防災と環境	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第15回	社会的起業と環境ボランティア	
	【予習】授業内で提示した行動経済学の理論を環境問題に活用する案を1つ以上考えてくる。	210分
	【復習】授業内容の200字程度でまとめ、感想や質問を自学ノートに書く。質問のうち全員で共有すべきものには次回の授業で回答するので、その質問と回答も自学ノートに追記する。	20分
第16回	期末試験	
	【予習】15回の授業内容の見直しを行い、試験において回答できるようにする。	210分
	【復習】試験において答えられなかったところを復習し、知識として蓄積する。	20分

評価方法	<p>目標 : 毎回の家庭学習成果(自分のアイデアが書けているか・30%)で評価する。 目標 : 毎回の授業における意見交換(質問が書けているか・10%)で評価する。 目標 : 毎回の家庭学習成果(ニュース記事が書けているか・30%)および期末試験(知識の定着と課題解決力の養成が行えているか・30%)で評価する。 なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	適宜配布	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<p>・毎回の「まとめ」は、個人の感想ではなく、授業全体を通して述べられた内容をまとめること。</p>		
授業外質問方法	<p>授業終了後およびメールにより質問を受け付ける。</p>		
オフィス・アワー			

授業科目名	環境社会学（環境問題の歴史）	科目コード	G3402P01
英文名	Environmental Sociology		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 社会環境		
------	-------------------	--	--

職名	客員教授	担当教員名	藤田 香
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>気候変動や生物多様性、SDGsなどの地球環境問題やサステナビリティの問題が、社会や企業にどのような影響を及ぼしているかについて、世界・国・地域の観点から学び、学生が社会の中で、環境問題の解決や持続可能な暮らしについて理解を深め、自ら行動することを期待する講義である。</p> <p>富山県出身で、日本経済新聞グループで長年記者を務めてきた講師が、サステナビリティにおける世界の動きや企業の取り組みを、具体事例を交えて紹介する。その上で、富山で学ぶ学生として、サステナブルな社会をつくるために何ができるか、どんなアイデアがあるか、これからの社会にどうかかわっていけばよいか、自分のやりたいことをどう実現生きていくか、などを、社会を構成するステークホルダーの一員として議論してもらう。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	地球温暖化	生物多様性	地球環境	SDGs	持続可能
-------	-------	-------	------	------	------

到達目標	気候変動問題、生物多様性問題など、地球規模で生じている環境問題について説明する事ができる（30%）				
	森林資源問題、リサイクル、海洋プラスチック問題など、身近な社会環境問題について説明することができる（30%）				
	環境・経済・社会の連関の中での持続可能な社会形成について自らの行動レベルで考えることができる（40%）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
			/	/

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションと多様な地球環境問題	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	地球温暖化問題を知る。地球温暖化の議論が出てきた背景、パリ協定など世界のルール、日本の対応などを学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	生物多様性の問題を知る。地球上の生物多様性の危機や、それに対する世界や日本、自治体などの取り組みを学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	暮らしや企業における生物多様性保全の取り組みを知る。企業が原材料を調達する際に生物多様性の損失を減らすような工夫をしているかを学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	身近にある森林と魚資源の問題を知る。森林整備と国産材の活用を考える。また、水産資源が減少している現状を踏まえ、サステナブル・シーフードの取り組みを学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	世界では渇水や洪水が増えている。現状を知り、水対策について行政や企業の取り組みを学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	グループワーク	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	廃棄物（ゴミ）とリサイクルの問題を知る。また、海洋プラスチックが世界で問題視されている。プラスチック問題解決の企業の取り組みなどを学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	労働現場での人権問題が重要になっている。サプライチェーンにおける人権配慮の取り組みを学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	グループワーク	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	東京五輪では様々な環境・社会配慮の取り組みが準備されてきた。その様子を紹介し、大型イベントが持続可能な社会づくりに与える影響を考える。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	2015年に国連で策定された「SDGs（持続可能な開発目標）」とは何かを知り、SDGsに対する企業の取り組み事例を学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	SDGsを活用しながら地方創生に取り組む事例を知る。富山市はSDGs未来都市に選ばれている。どのような取り組みをしているのかを学ぶ。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	グループワーク	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	グループワークの発表と振り返り。課題レポートに関する説明	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題レポートにて評価する（85％）。基準以上の出席回数がなければ試験を受けることができない。グループワークでの積極性も考慮する（15％）。		
使用資料 <テキスト>	（特になし）	使用資料 <参考図書>	パワーポイント資料を提示する
授業外学修等	テレビや新聞などで報道される環境問題に興味をもって耳を傾けること		
授業外質問方法	授業終了後、または電子メールなどで質問を受け付ける（アドレスは授業中に紹介する）		
オフィス・アワー	同上		

授業科目名	インターンシップ	科目コード	G3507F03
英文名	Internship		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年・3年・4年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中であって、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	インターンシップ	企業研究		
-------	----------	------	--	--

到達目標	高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。		
	学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。		
	自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。		

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	事前研修（1）企業説明会への参加（富山県インターンシップ推進センター主催説明会）	
	【予習】 インターンシップ研修参加希望企業につき予習をしておくこと	30分
	【復習】 説明会で学んだ企業情報を整理しておくこと	30分
第3回	事前研修（2）インターンシップ参加の心得	
	【予習】	
	【復習】 企業研究ノートを作成し、整理しておくこと	30分
第4回	事前研修（3）マナー講座（身だしなみ）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	事前研修（4）テーマ発表	
	【予習】 インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	90分
	【復習】 テーマ発表で受けたアドバイスにもとづき修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第6回	事前研修（5）マナー講座（マナー研修Part1）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	事前研修（5）マナー講座（マナー研修Part2）	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修（6）事前面談（就職アドバイザーとの個人面談）	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	企業研修（1）	
	【予習】	
	【復習】 日報の作成	60分

第10回	企業研修（2）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（3）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（4）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（5）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	事後研修（1） 報告書の作成	
	【予習】日報や企業研究ノートをもとに報告書の原案を作成しておくこと	90分
	【復習】教員による添削をもとに報告書を修正すること	60分
第15回	事後研修（2）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	
第16回	事後研修（3）インターンシップ学内報告会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修、研修先での実習・研修に対する評価、事後レポートを総合的に判断する。		
使用資料 <テキスト>	適宜資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	質問にはオフィスアワー以外にも対応します（メール可）。		
オフィス・アワー	木曜日3限		

授業科目名	グローバルキャンパスプログラム（環境デザイン）	科目コード	G3508F04
英文名	Global Campus Program (Environmental Design)		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 総合		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年・3年・4年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	日本の住宅の平均寿命は30年と言われてきた。それに比べて、アメリカは50年以上、イギリスは70年以上と言われている。長寿命な住宅デザインや住宅の供給システムが構築されてきた、アメリカやイギリスの住宅やその産業を実際に視察することにより、持続可能な社会における住宅デザインと住宅生産を考え、これからの日本の住宅関連産業を考えるきっかけを持つことを学生には期待している。本学の「住環境デザイン」においては、世界の住宅の歴史を学んだ。そこで学習した日本の住宅や建築デザインに大きな影響を及ぼした20世紀前半に活躍した建築家の作品を中心に視察を行う。アメリカにおいては、「フランクロイドライト」と「ミースファンデルローエ」であり、イギリスにおいては、「ウィリアムモリス」と「マッキントッシュ」である。また、特に環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街を中心に視察する。住宅関連産業の視察においては、実際に住宅をデザインしている設計会社のオフィスや、インテリア会社のショールームを訪れて、最新の業界情報を習得する。学生は英語で調べ、英語を用いて実体験をし、英語で現地の人とコミュニケーションをとって、海外の住宅の歴史と、住宅事情を学ぶ。なお、この研修は、アメリカへの研修とイギリスへの研修と隔年で実施予定である。（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：目標7、目標11、目標12）			
-------	--	--	--	--

キーワード	住宅寿命	環境と建築	世界の住宅史	アメリカの住宅	イギリスの住宅
-------	------	-------	--------	---------	---------

到達目標	「フランクロイドライト」と「ミースファンデルローエ」や「ウィリアムモリス」と「マッキントッシュ」の住宅に触れ、彼らのデザインの歴史上の意味を説明できる。（40%）			
	長寿命なアメリカやイギリスの住宅デザインや生産システムを日本と比較して説明できる。（30%）			
	アメリカやイギリスで、住宅関連産業の第一線で活躍している方々と、簡単な英語でコミュニケーションをとり、情報収集できる。（30%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<事前指導> 「フランクロイドライト」と「ミースファンデルローエ」や「ウィリアムモリス」と「マッキントッシュ」について概説する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。	
	【予習】「フランクロイドライト」と「ミースファンデルローエ」や「ウィリアムモリス」と「マッキントッシュ」について下調べをする。	20分
	【復習】訪問予定の住宅や建築について、現地での調査内容をまとめる。	30分
第2回	<事前指導> アメリカやイギリスの住宅や建築に関わるの歴史について概説する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。	
	【予習】アメリカやイギリスの住宅や建築に関わるの歴史について下調べをする。	20分
	【復習】訪問予定の住宅や建築について、現地での調査内容をまとめる。	30分
第3回	<事前指導> アメリカやイギリスの住宅デザインや住宅関連産業の特徴について概説する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。	
	【予習】アメリカやイギリスの住宅デザインや住宅関連産業の特徴について下調べをする。	20分
	【復習】訪問予定のデザイン事務所やインテリアショップについて、現地での調査内容、質問内容をまとめる。	30分
第4回	<事前指導> アメリカやイギリスにおける環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街を紹介する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。また、昨年までの研修にの内容を学習する。	
	【予習】環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街について下調べをする。	20分
	【復習】訪問予定の環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街について、現地での調査内容をまとめる。	30分
第5回	<アメリカやイギリスでの実習> 「フランクロイドライト」、「ミースファンデルローエ」、「ウィリアムモリス」、「マッキントッシュ」関連住宅視察 NO1	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第6回	<アメリカやイギリスでの実習> 「フランクロイドライト」、「ミースファンデルローエ」、「ウィリアムモリス」、「マッキントッシュ」関連住宅視察 NO2	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第7回	<アメリカやイギリスでの実習> 「フランクロイドライト」、「ミースファンデルローエ」、「ウィリアムモリス」、「マッキントッシュ」関連住宅視察 NO3	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第8回	<アメリカやイギリスでの実習> 歴史上重要な住宅、建築物視察 NO1	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分

第9回	<アメリカやイギリスでの実習> 歴史上重要な住宅、建築物視察 NO2	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第10回	<アメリカやイギリスでの実習> 住宅関連産業視察（住宅デザイン事務所を予定） NO1	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第11回	<アメリカやイギリスでの実習> 住宅関連産業視察（インテリアショップを予定） NO2	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第12回	<アメリカやイギリスでの実習> 環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街の視察 NO1	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第13回	<アメリカやイギリスでの実習> 環境を配慮してデザインされた建築や持続可能な社会システムを目指した街の視察 NO2	
	【予習】日本での事前レクチャー及び、自分で学習した内容を確認しておく。	10分
	【復習】視察の記録をまとめる。	30分
第14回	<事後指導> 本グローバルキャンパスにおいて、各人が最も興味をもった項目について、一連の視察をパワーポイントにまとめてプレゼンテーションを行う。そのための準備である。	
	【予習】（特になし）	
	【復習】発準備を完成できなかった者は宿題となる。	120分
第15回	<事後指導> グローバルキャンパス視察発表会	
	【予習】発表会の準備を行う。	120分
	【復習】（特になし）	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	研修先での積極的な参加および質問などの発言、ならびに発表会でのプレゼンテーションにて総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ	使用資料 <参考図書>	授業の内容はLINE上にアップするので、予 習・復習に活用することができる。必要に
授業外学修等	現地で視察する住宅、建築、関連施設はすべて事前調査をし、資料を作成して訪問する。また、現地での行動は、所在の把握、交通手段、タイムスケジュールなど学生が自ら計画を立てて行動しなければならない。現地での食事は自炊を原則とし、チームワークを構築し行わなければならない。住宅関連施設の訪問時はもとより、現地での行動では、周りの人や関係者と積極的に英語でコミュニケーションをとって進めることを学修する。		
授業外質問方法	オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやLINEにて行うことを希望する。 メールアドレス：kawamoto@yuins.ac.jp SNS：https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel		
オフィス・アワー	木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室にて		

授業科目名	日本経済論	科目コード	G4202P01
英文名	Economics in Japan		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営環境		
------	-----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	松井 隆幸
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	5限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	産業や企業の視点から日本経済を分析します。技術革新や企業戦略が日本の経済・産業・生活に影響を与えるかを、具体的事例をもとにみていきます。			
-------	--	--	--	--

キーワード	産業	企業戦略	技術革新	ビジネスモデル	北陸の産業
-------	----	------	------	---------	-------

到達目標	メディア・文献・Webなどから日々得られる情報を、自分の頭で理解し、自分で関連づけ、自分の言葉で人に伝えることができるようになることをめざします。			
	企業戦略や技術の変化を念頭に置いて、身の回りの製品やサービスを見ることができると目指します。企業のWebサイトを見て、企業研究ができるようになることを目指します。			
	具体的事例をもとに物事を説明する力を身につけます。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>オリエンテーション 授業進め方、資料の入手方法及び成績の評価方法等についてのガイダンスを行います。 「産業」で世の中を見ると何が見えるか、具体的事例を紹介します。</p>	
	<p>【予習】シラバスを見ておく。</p>	
	<p>【復習】授業で紹介したWebサイトを確認する。</p>	
第2回	<p>・工業化とサービス化。 1, 2, 3次産業の変化が起こるメカニズム、BtoCサービスとBtoBとの違いを学び、身近な事例を関連付けて考えます。</p>	
	<p>【予習】「ベティ・クラークの法則」とは何か調べておく。</p>	
	<p>【復習】BtoCサービスに関する事例をみつける。 2～14回の授業で、毎回、授業終了時にB6用紙でミニ・レポート(10分程度で終わる簡単なレポート)を実施する。</p>	
第3回	<p>・デジタル情報社会とGoogleのビジネスモデル デジタル情報・ICT・IoTとは何かを整理する。 2000年代はじめのインターネットバブル崩壊を振り返り、それを克服したGoogle等のビジネスモデルを分析する。</p>	
	<p>【予習】スマホやPCでグーグル検索をして、画面を確認しておく。</p>	
	<p>【復習】身近なインターネット・ビジネスについてまとめる。</p>	
第4回	<p>・ネットビジネスとロングテール インターネットビジネスに特異な「ロングテール」という現象、それを活用したAmazonや楽天のビジネスモデルについて学ぶ。</p>	
	<p>【予習】ネットで検索して「やっと見つけた」買い物について思い出し、メモしておく。</p>	
	<p>【復習】「私のロングテール体験」についてまとめる。</p>	
第5回	<p>・デファクト・スタンダード、ネットワークの経済性 家庭用VTRにおけるVHS、PCにおけるWindowsなどいわゆる「スタンダード」が成立したプロセスを振り返り、それをめぐる企業戦略について学ぶ。</p>	
	<p>【予習】VHSとベータの歴史について調べておく。</p>	
	<p>【復習】授業で学んだ現象のうち、身の回りにおける具体例を探す。</p>	
第6回	<p>・知的財産制度と企業戦略 特許権、意匠権、著作権などの知的財産制度が、企業戦略としてどのように使われてきたかを、日清食品・バンダイ・ディズニー・サンリオなどの事例で学ぶ。</p>	
	<p>【予習】知的財産権の種類について調べておく</p>	
	<p>【復習】授業で学んだ現象のうち、身の回りにおける具体例を探す。</p>	
第7回	<p>・モジュラー化と国際分業 日本のデジタル家電産業がなぜ急速に競争力を失ったか、いまだ競争力を持っているのはどのような産業か。「モジュラー化」という現象を通じて分析します。</p>	
	<p>【予習】初めに提示した家電メーカーの苦戦についてのデータを見直す。</p>	
	<p>【復習】「モジュラー化」「比較優位」について身の回りの事例を探す。</p>	
第8回	<p>・モジュラー化した世界での企業戦略 インテル、シマノ、アップル、キーエンス、村田製作所など、モジュラー化が進んだ業界で高業績を上げている企業の戦略をとりあげる。</p>	
	<p>【予習】企業Webサイトで企業分析をする。</p>	
	<p>【復習】取り上げた中で、最も関心を持った企業について調べる。</p>	

第9回	<p>・企業の新事業展開 キヤノン、東し、富士フィルム、セーレン、ベネッセなどの事例を用いて、企業が経営資源を活かしてどのように新事業を展開してきたかを振り返る。</p>	
	【予習】企業Webサイトで企業分析をする。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第10回	<p>・失敗物語 コカ・コーラ・マクドナルド・GM、すき家・代々木ゼミナールなど、名門企業の歴史的失敗から学ぶ。</p>	
	【予習】企業Webサイトで企業分析をする。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第11回	<p>・復活物語 アップル・IBM・ソニービクター・玉子屋など、危機的状況から復活を果たした企業事例から学ぶ。</p>	
	【予習】企業Webサイトで企業分析をする。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第12回	<p>・北陸3県の生活と産業 様々な「47都道府県順位」をもとに、北陸3県暮らしや産業の特色を分析する。</p>	
	【予習】指定した地域関連のWebサイトを見ておく。	
	【復習】授業で学んだ内容と、自分の生活実感とを比べてまとめる。	
第13回	<p>・北陸の製造業とニッチトップ企業 富山県の医薬品・アルミ、石川県の産業器械、福井県の繊維など北陸3県の主要産業の成り立ちを振り返り、狭い分野ながら日本や世界でトップシェアを持つ企業を紹介する。</p>	
	【予習】初回に提示した北陸産業についてのデータを見ておく。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第14回	<p>・北陸企業のグローバル戦略 YKK・コマツ・ゴールドウィン・8番ラーメンなど、広く国際展開している北陸企業の事例を紹介する。</p>	
	【予習】企業Webサイトで企業分析をする。	
	【復習】最も関心を持った企業について、さらに調べる。	
第15回	<p>・期末試験の前に 補論：就活について 企業研究と就活についての簡単な話の後、授業時間内にまとめのレポートを実施する。</p>	
	【予習】これまでの配布資料をやノートを整理しておく。	
	【復習】まとめのレポートの課題を出す。	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	2～14回の授業後に実施したミニ・レポート6点×13=78、まとめレポート22点の合計で成績評価する。		
使用資料 <テキスト>	テキストはなし。適時関連したWebサイトを紹介します。	使用資料 <参考図書>	同左
授業外学修等	紹介したWebサイトを見ておいてください。		
授業外質問方法	講義終了後。普段は富山大学にいますので、質問はメールでも受けつけます。 tmatsui@eco.u-toyama.ac.jp		
オフィス・アワー	講義終了後、またはメールで。		

授業科目名	中小企業論	科目コード	G4202P02
英文名	Small and Medium Enterprises		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営環境		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	高橋 哲郎
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>我が国経済の構造変化に伴い、地域経済の担い手としての中小企業が抱える問題と役割も変化している。地域経済と中小企業が直面している状況を理解し、課題解決策を考えることを目的とする。富山県の経済と中小企業への理解を深めることを目指す。グループ学習などアクティブラーニングを取り入れる。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	中小企業	地域経済	地域資源	地域課題	中小企業白書
-------	------	------	------	------	--------

到達目標	中小企業を多方面から理解することにより、地域経済活性化への認識を深める。(30%)			
	地域経済（特に富山県経済）と（富山の）中小企業に対する理解を深める。(35%)			
	グループワーク等でコミュニケーション力、協働力を高める。(35%)			

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	幅広く多様な専門知識の修得	経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【予習】シラバスを読み不明なところあれば講義時に質問する。	20分
	【復習】当日の講義内容の整理。 特に中小企業概念、定義についてしっかり理解すること。	20分
第2回	地域資源とはなにかを学ぶ。 地域ブランド、地域おこしについて。 地域「難題」について	
	【予習】配布資料（地域資源、地域ブランド、地域「難題」）を予習する。	20分
	【復習】地域資源とはなにかを理解する。 地域活性化に必要なことは何かを考える。	20分
第3回	近年の技術革新（IoT、ビッグデータ、AIなど）による地域資源の活用について考える。	
	【予習】配布資料（近年の技術革新関連資料）を予習する。	20分
	【復習】IoT、ビッグデータ、AIなどのキーワードを理解し、地域資源に活用する事例を調べる。	20分
第4回	技術革新（IoT、ビッグデータ、AIなど）による地域資源の活用事例を調べる。 グループ分けを行い、チーム課題を設定する。 アイスブレイク。	
	【予習】富山県の地域資源を調べる	20分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分
第5回	技術革新（IoT、ビッグデータ、AIなど）による地域資源の活用を考える。 グループで地域資源を調べる。	
	【予習】富山県の「地域難題」は何かを調べ、考える。	20分
	【復習】プレゼン資料の作成	20分
第6回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	20分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分
第7回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	60分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分

第8回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	60分
	【復習】プレゼンのフィードバック。	20分
第9回	富山県の地域資源について	
	【予習】配布資料（富山の地域資源）を予習する。	20分
	【復習】講義内容の復習。	20分
第10回	富山県製造業の強みと弱みについて IoT、ビッグデータ、AIなどの富山県内の取り組み状況を調べる。	
	【予習】配布資料を予習する。	20分
	【復習】講義内容の復習。	20分
第11回	富山県経済と中小企業についてグループで調べる。 IoT、ビッグデータ、AIなどの富山県内の取り組み状況を調べる。	
	【予習】配布資料（富山県経済と中小企業関連資料）を予習する。	20分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分
第12回	富山県経済と中小企業についてグループで調べる。 IoT、ビッグデータ、AIなどの富山県内の取り組み状況を調べる。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	20分
	【復習】プレゼン資料の作成。	20分
第13回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	20分
	【復習】プレゼンのフィードバック。	20分
第14回	調べた内容をプレゼンする。 質疑応答。	
	【予習】プレゼン資料の作成。	20分
	【復習】プレゼンのフィードバック。	20分
第15回	これまでの学習内容の整理。 期末試験について。	
	【予習】講義内容の整理、復習。	20分
	【復習】期末試験問題対策	20分

第16回	期末試験	
	【予習】期末試験問題対策	120分
	【復習】試験問題でわからなかった事項を復習する。	30分

評価方法	期末試験(50%)、課題提出・取組姿勢(プレゼンテーション等)(50%)により評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【ディプロマポリシー配分比率】専門性：60%、社会性40%		
使用資料 <テキスト>	使用しない。 適宜、資料を配付する。	使用資料 <参考図書>	講義中に随時紹介する。
授業外学修等	出席は毎回とる。3分の1以上欠席した者は単位を取得できない。 配布資料による予習・復習を欠かさない事が肝要。		
授業外質問方法	授業後とオフィス・アワーにて対応する。メールでの質問は授業時間中に指示する。		
オフィス・アワー	木曜日1時限、130研究室		

授業科目名	経営組織論	科目コード	G4302L02
英文名	Business Management Organizations		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略		
------	-----------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	伊藤 葵
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>経営組織は、現代社会の基礎的な構成要素の一つで、私たちは、様々な場面で経営組織と関わりを持っています。この講義では、マクロ組織論およびミクロ組織論の両面の主要な考え方を理解することで、経営組織論の代表的な理論を習得することを目指します。具体的には、組織デザイン、組織文化、組織学習、モチベーション管理、リーダーシップなどの基本的な理論を学び、これらの理論が実際の組織ではどのように用いることができるのかについて考察します。（担当教員：実務経験あり）</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	経営組織	組織デザイン	組織文化	組織変革
-------	------	--------	------	------

到達目標	組織がどのようにデザインされているのか、代表的な構造を理解できること。（30%）			
	モチベーションやリーダーシップなどの組織行動の理論を理解できること。（30%）			
	組織論の考え方を基に身近な企業や自身が所属する組織について分析できること。（40%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（組織論とは）	
	【予習】身近にどのような組織があるか考えてきてください。	30分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを参考に、課題を提出してください。	30分
第2回	経営組織論の展開 これまで組織論がどのように理論展開をされてきたのかについて、主要な理論について学びます。グループワークでは、組織における人間関係についてディスカッションをしてもらいます。	
	【予習】組織を管理する上で重要だと考える要素について、事前に考えを整理してきてください。	30分
	【復習】グループ・ディスカッションで議論した内容について、小レポートを提出してください。	30分
第3回	組織デザイン 組織における分業と調整、基本的な組織形態として機能別組織、事業部制組織、マトリクス組織などについて学びます。グループワークでは、関心のある企業の組織構造について議論してもらいます。	
	【予習】関心のある企業を1社選び、その組織構造をホームページなどを参考に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第4回	組織デザイン ピラミッド型組織とフラット組織について学びます。グループワークでは、自身が所属する組織の構造について考察し、どのような組織形態が最適であるか議論してもらいます。	
	【予習】自身が所属する組織がどのような組織構造になっているのか、事前にノートに整理してきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第5回	組織と環境 / 組織の成長 環境の不確実性、条件適合理論などを中心に、環境が組織に与える影響について説明します。また、組織の成長モデル、組織変革の促進要因・阻害要因などについても、新聞記事や映像資料などを用いて、組織がどのように変革しているのかについて学びます。	
	【予習】環境の変化が組織のあり方にどのような影響を与えるのか、新聞やニュースなどから事前に調べてきてください。	30分
	【復習】授業や新聞記事・映像資料を通して学んだ内容について、自身の考えを小レポートとして提出してください。	30分
第6回	組織文化 組織文化とはどのように形成されていくのか、組織文化のメリット・デメリットなどについて学びます。また、組織文化の具体例や組織文化のもたらした不祥事などについても紹介します。グループワークでは、各自が所属してきた組織における組織文化についてディスカッションしてもらいます。	
	【予習】これまでに所属してきた組織を振り返り、組織特有の習慣や文化について、ノートにまとめてきてください。	30分
	【復習】グループワークで議論した内容について、小レポートを提出してください。	30分
第7回	外部講師	
	【予習】事前に授業内容に関連する資料を配布するので、目を通してきてください。	30分
	【復習】講義の内容について、小レポートを提出してください。	30分
第8回	モチベーション どのようにすればモチベーションが高まるのか、欲求理論・過程理論などを代表的な理論を中心に紹介します。また、事例などから、どのようにモチベーションを管理するかについても学びます。グループワークでは、各自の所属してきた組織におけるモチベーション管理について議論してもらいます。	
	【予習】自身が所属してきた組織において、どのような場合にモチベーションが高まったのかを、ノートにまとめてきてください。	30分
	【復習】グループワークで議論した内容について、小レポートを提出してください。	30分

第9回	<p>リーダーシップ 特性理論、行動理論、状況適合理論、変革型リーダーシップ論など、代表的な理論について紹介します。また、C-Learningなどを用いて、各自の考えるリーダー像について、意見交換もしていきます。グループワークでは、どのようなリーダーシップが望ましいのかについて議論してもらいます。</p>	
	<p>【予習】これまでで所属してきた組織を振り返り、印象に残っているリーダーを取り上げ、どのようなリーダーシップを発揮していたのかについて、ノートにまとめてきてください。</p>	30分
	<p>【復習】グループワークで議論した内容について、小レポートを提出してください。</p>	30分
第10回	<p>意思決定 個人の意思決定、組織の意思決定における理論について学びます。また、どのような場合に組織が間違っただけの意思決定をしてしまうのかについて、事例などを用いて解説します。組織の意思決定において重要な要因について、C-Learningを用いた意見交換やグループ・ディスカッションを行います。</p>	
	<p>【予習】新聞やニュースなどから企業の不祥事を調べ、なぜ不祥事が起こったのかについて考えを整理してきてください。</p>	30分
	<p>【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。</p>	30分
第11回	<p>組織学習 シングルグループ学習、ダブルグループ学習、組織の学習サイクルなどを取り上げ、どうして組織学習が不完全になってしまうのかについて学びます。グループワークでは、所属してきた組織において、どのように組織学習が行われているのかについて議論してもらいます。</p>	
	<p>【予習】自身が所属してきた組織において、組織の課題をどのように改善してきたのか、事前に考え、ノートにまとめてきてください。</p>	30分
	<p>【復習】授業の内容やグループ・ディスカッションなどを通して学んだことを、小レポートとして提出してください。</p>	30分
第12回	<p>人的資源管理 採用・育成、配置・移動、評価・処遇といった人的管理の基本プロセスを中心に学びます。また、新聞記事や映像資料などを用いて、組織がどのように人的資源管理を行っているのかについて紹介します。C-Learningなどを用いて、意見の交換や共有も行います。</p>	
	<p>【予習】企業での働き方における議論をテーマとした新聞記事やニュースを調べ、ノートにまとめてきてください。</p>	30分
	<p>【復習】授業や新聞記事・映像資料を通して学んだ内容について、自身の考えを小レポートとして提出してください。</p>	30分
第13回	<p>ダイバーシティ・マネジメント 多様な人材や働き方が進む現代社会における組織マネジメントについて学びます。また、新聞記事や映像資料などを用いて、近年の組織を取り巻く「多様性」について紹介します。C-Learningなどを用いて、意見の交換や共有も行います。</p>	
	<p>【予習】外国人労働者やテレワークなどをテーマとした新聞記事やニュースを調べ、ノートにまとめてきてください。</p>	30分
	<p>【復習】授業や新聞記事・映像資料を通して学んだ内容について、自身の考えを小レポートとして提出してください。</p>	30分
第14回	<p>ネットワーク組織 企業の枠を越えて、柔軟に結びつき、協働する組織形態について学びます。戦略的ネットワーク、異業種間コラボレーションなど、具体例を取り上げながら説明します。また、企業だけではなく、社会全体のネットワークについて、ソーシャルキャピタルなどの観点などについても考えます。</p>	
	<p>【予習】自身を取り巻くネットワークにはどのようなものがあるか、事前に整理してきてください。</p>	30分
	<p>【復習】授業や新聞記事・映像資料を通して学んだ内容について、自身の考えを小レポートとして提出してください。</p>	30分
第15回	<p>総括</p>	
	<p>【予習】授業内で配布した資料やノートに一通り目を通し、これまでに学んだ内容を総復習してから受講してください。</p>	60分
	<p>【復習】</p>	
第16回		
	<p>【予習】</p>	
	<p>【復習】</p>	

評価方法	受講態度および授業中に指定する課題への取組み（60％）、期末レポート（40％）とし、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	指定なし	使用資料 <参考図書>	桑田耕太郎、田尾雅夫著『組織論補訂版』（有斐閣アルマ）
授業外学修等	講義中に配られたプリントや自分の講義ノートをよく復習するようにして下さい。また、グループワークやレポート課題では、事前の予習が大切となります。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	マーケティング戦略	科目コード	G4302L03
英文名	Marketing Strategy		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略
------	-----------------

職名	助教	担当教員名	梁 庭昌
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	3限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、マーケティング・マネジメント・プロセスの枠組み（市場環境の把握、マーケティング政策の策定、マーケティング成果の観測）に沿って、マーケティングの全体像を理論的に説明する。また、それぞれの段階において求められる戦略と典型事例を紹介する。さらに、マーケティング対象としての消費者に焦点を当てた理論や概念についても紹介する。具体的に、知覚、学習、記憶、態度、意思決定といった消費者の個人的側面から消費者の行動を理解する。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	マーケティング	顧客理解	STP	4P	市場適応
-------	---------	------	-----	----	------

到達目標	マーケティングに関する基礎的な概念・理論を学び、理論知識を体系的に把握することができる。
	顧客理解や市場創造に関連する一連のマーケティング手法を理解することができる。
	データ分析に基づいて具体的なマーケティング課題を解決する能力を身につける。
	消費者行動を理解するための視点を身につける。

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、マーケティングの全体像と基礎概念	
	【予習】本講義の概要や到達目標、各回の内容を確認する。	60分
	【復習】マーケティングの全体像を確認する。	60分
第2回	どのように顧客を理解するか(1)：ライフスタイル分析(2)：ニーズ探索調査	
	【予習】「消費者のライフスタイルにはどのようなタイプがあるか」、「ニーズ探索調査はなぜ必要か」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】ライフスタイル分析によく使われる変数、「生活構造」「生活意識」「生活行動」の具体的な項目をまとめること。ニーズ探索調査の調査手法として、定量的調査と定性的調査の進め方と特徴をまとめること。	60分
第3回	市場STP戦略(1)：セグメンテーション分析	
	【予習】「セグメンテーション分析にはどのようなアプローチがあるか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】セグメンテーション分析によく使われる変数をまとめること。	60分
第4回	市場STP戦略(2)：ターゲティング分析	
	【予習】「ターゲティングを行う際、どのセグメンテーションに焦点を当てるかの基準として何があるか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】6Rとターゲティング戦略の3つのタイプをまとめること。	60分
第5回	市場STP戦略(3)：ポジショニング分析	
	【予習】「ポジショニングを行う際、軸の設定にはどのような注意点があるか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】ポジショニング分析の3つのコツをまとめること。また、STPの一連の流れを整理すること。	60分
第6回	第2回から第5回までの講義内容を総括し、小テストを行う。	
	【予習】第2回から第5回までの内容(ライフスタイル分析・ニーズ探索調査、STP)を確認し整理すること。	90分
	【復習】小テストでわからなかった内容を確認すること。	30分
第7回	小テストのフィードバック・解説 4Ps(マーケティング・ミックス戦略)(1)：製品戦略(2)：価格戦略	
	【予習】「製品戦略の具体化のフレームワークとして何が挙げられるか」、「新製品の価格戦略にはどのようなものがあるか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】プロダクト3層モデルと製品ライフサイクルをまとめること。また、両者の関係を理解すること。一般的な価格設定のアプローチをまとめること。	60分
第8回	4Ps(マーケティング・ミックス戦略)(3)：流通戦略(4)：プロモーション戦略	
	【予習】「新製品の価格戦略にはどのようなものがあるか」、「流通チャネルとは何か。その形態はどのようなものか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】一般的な価格設定のアプローチをまとめること。流通戦略における流通チャネルの長さや幅の種類をまとめること。	60分

第9回	市場変化に適応する(1): 広告効果調査(2): シェア分析(3): 顧客満足度調査	
	【予習】「広告の効果測定には、どのような方法がよく使われるか」、「マーケットシェアにはどのような種類があるか」、「顧客満足度の測定指標として、代表的なものは何が挙げられるか」について調べて整理しておくこと。	60分
	【復習】 広告効果調査の手法とそれぞれの特徴をまとめて理解すること。 「3大目標数値」と「射程距離理論」に基づく市場の競争パターンをまとめること。 顧客満足度の調査方法とその注意点をまとめること。	60分
第10回	第7回から第9回までの講義内容を総括し、小テストを行う。	
	【予習】 第7回から第9回までの内容(4Ps、広告効果調査・シェア分析・顧客満足度調査)を確認し整理すること。	90分
	【復習】 小テストでわからなかった内容を確認すること。	30分
第11回	小テストのフィードバック・解説 個人としての消費者(1): 知覚	
	【予習】 「私たち、スーパーマーケットである新製品をどのように知覚するようになるか」について考えてみること。	60分
	【復習】 消費者が刺激に意味付けを行う「知覚」の4段階のプロセスをまとめること。	60分
第12回	個人としての消費者(2): 学習	
	【予習】 「なぜ、消費者は自ら購買行動を変化させるか」について考えてみること。	60分
	【復習】 学習に関する3つの理論をまとめること。	60分
第13回	個人としての消費者(3): 記憶	
	【予習】 「人々にとって長期記憶になっているブランドにはどのようなものがあるか」について考えてみること。	60分
	【復習】 記憶が生じるメカニズムおよび記憶の分類をまとめること。	60分
第14回	個人としての消費者(4): 態度	
	【予習】 「態度とは何か、また、その構成要素とは何か」について考えてみること。	60分
	【復習】 関与の概念を理解し、消費者は態度をどのようにして形成するかをまとめること。	60分
第15回	個人としての消費者(5): 意思決定	
	【予習】 「最近購入した製品において、どのような製品属性を考慮してその製品を選びましたか」について考えてみること。	60分
	【復習】 典型的な消費者の購買意思決定プロセスの5段階をまとめること。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト(2回) 40% ・最終課題レポート 60% ・富山国際大学成績評価基準に従って評価する 		
使用資料 <テキスト>	講義の際に適宜資料を用意し、一部を配布する。	使用資料 <参考図書>	恩藏直人・富田健司『1からの消費者行動』, 碩学舎
授業外学修等	予習、復習を合計、週2時間必要とする。その他、新聞、雑誌、ニュースなど、企業や消費者などの関連記事に常に目を通しておくこと。		
授業外質問方法	適宜相談に応じるが、電子メールなどで事前にアポイントを取ること。		
オフィス・アワー			

授業科目名	経営戦略論	科目コード	G4302P01
英文名	Management Strategy		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略		
------	-----------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	伊藤 葵
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>企業は、環境変化に適応するために、経営戦略を策定します。この講義では、経営戦略論における基礎的な概念や理論に基づき、経営環境分析、企業戦略、事業戦略、機能別戦略等について学びます。また、企業が実際にどのような経営戦略を行っているのか、具体的な事例なども取り上げながら、理論と実践の双方についての理解を深めます。（担当教員：実務経験あり）</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	経営環境分析	企業戦略	事業戦略	機能別戦略
-------	--------	------	------	-------

到達目標	経営戦略における基礎的な理論を理解できること。（30%）			
	企業は経営戦略をどのように策定し、実行しているのかを理解できること。（30%）			
	関心のある企業の経営戦略について分析できること。（30%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 資料	
	【予習】興味のある企業のIR資料や経営ビジョンに目を通してきてください。	30分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、課題を提出してください。	30分
第2回	戦略的思考とは 経営戦略において、戦略的に考えるとはどのようなことか、身近な企業の戦略について考えます。受講数に応じてC-Learningなども活用しながら、意見交換もしていきます。 授業メモ 課題資料(更新Ver.) 資料	
	【予習】これまでの学校生活や部活動などにおいて、目的を達成するために戦略を計画し、実行した経験を整理してきてください。	30分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、課題を提出してください。	30分
第3回	経営環境分析とは 外部環境分析の必要性や分析に用いるフレームワークについて紹介します。グループワークでは、PEST分析などの手法で、実際に興味のある業界の外部環境について分析してもらいます。 授業メモ	
	【予習】興味のある業界を取り巻く経営環境について、事前に調べてください。 参考資料 参考資料 参考資料	30分
	【復習】グループワークで分析した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第4回	経営環境分析とは 内部環境分析について、SWOT分析、3C分析、VRIO分析などの手法についてを紹介します。グループワークでは、これらの手法で、実際の企業について分析してもらいます。 授業メモ 資料	
	【予習】興味のある企業における経営環境について、事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで分析した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第5回	企業戦略とは 事業ドメインや戦略の方向性をどのように決定するのかについて学びます。グループワークでは、アンゾフの成長ベクトルなどのフレームワークを用い、興味のある企業の成長戦略について考察してもらいます。 授業メモ 資料 資料	
	【予習】興味のある企業を1社選定し、ホームページなどから、その企業の成長戦略について事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第6回	企業戦略とは 多角化戦略、ブルー・オーシャン戦略、戦略キャンパスなどについて学びます。グループワークでは、興味のある企業について、フレームワークを用いて戦略を考察してもらいます。 授業メモ	
	【予習】興味のある企業を1社選定し、ホームページなどから、その企業の戦略について事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第7回	事業戦略とは ポーターの競争戦略について主要な考え方を学び、グループワークでは、実際に興味のある企業について分析します。 授業メモ 資料 資料	
	【予習】興味のある業界において、競争業者、新規参入業者、買い手、供給業者、代替品を、事前に調べてきてください。	30分
	【復習】ポーターの5つの競争要因についてグループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分

第8回	<p>事業戦略とは 競争地位戦略、ランチェスター戦略など、業界のポジショニングに応じた戦略について学びます。グループワークでは、関心のある業界においてどのような企業が存在するのか、どのような戦略を行っているのかについて、考察してもらいます。 授業メモ 資料 資料</p>	
	<p>【予習】関心のある業界においてどのような企業が存在するのかを調べ、それぞれどのような戦略を立てているのかについて、整理してください。 補足資料 補足資料 補足資料</p>	30分
	<p>【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。</p>	30分
第9回	<p>機能別戦略（販売戦略）とは マーケティングにおける代表的な理論について学びます。グループワークでは、マーケティング・ミックスの概念に基づき、関心のある企業の販売戦略について分析してもらいます。 授業メモ 補足資料</p>	
	<p>【予習】関心のある企業について、製品、価格、流通、広告について、どのような戦略をとっているのか、事前に調べてきてください。 補足資料 補足資料 補足資料</p>	30分
	<p>【復習】販売戦略についてグループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。</p>	30分
第10回	<p>外部講師 資料</p>	
	<p>【予習】</p>	30分
	<p>【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。</p>	30分
第11回	<p>機能別戦略（技術戦略）とは イノベーションの概念を中心に、技術戦略の動向について学びます。講義では、映像資料や新聞記事などを用いて、最新の事例について紹介します。また、C-Learningなどを活用しながら、意見交換をしていきます。 授業メモ 資料 資料</p>	
	<p>【予習】身の回りでどのようなIT技術が用いられているのかを調べ、企業経営におけるIT技術の活用法について、自身の意見をまとめてきてください。</p>	30分
	<p>【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。</p>	30分
第12回	<p>機能別戦略（生産戦略）とは ジャスト・イン・タイムやかんばん方式、サプライチェーン・マネジメントなど、代表的な生産戦略について学びます。講義では、映像資料や新聞記事などを用いて、最新の事例について紹介します。 授業メモ 資料 資料</p>	
	<p>【予習】トヨタ生産方式について、ホームページなどを参考に、事前にまとめてきてください。</p>	30分
	<p>【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。</p>	30分
第13回	<p>機能別戦略（組織戦略）とは 企業間の提携や買収などを通して、企業組織がどのような成長を遂げるのかについて学びます。また、M&Aの是非について、グループで議論してもらいます。 授業メモ 資料 資料</p>	
	<p>【予習】近年行われたM&Aの事例について3件以上調べ、案件の概要をまとめてきてください。</p>	30分
	<p>【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。</p>	30分
第14回	<p>機能別戦略（財務戦略）とは 企業価値の概念や財務的マーケティングの視点について学びます。グループワークでは、関心のある企業の財務戦略について考察してもらいます。 授業メモ 資料 資料</p>	
	<p>【予習】ホームページの企業のIR情報から、関心のある企業の財務データについて目を通しておいってください。</p>	30分
	<p>【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。</p>	30分

第15回	経営戦略の実行 / 総括 PDCAやBSCなどの企業が経営戦略を遂行するために使用するフレームワークや、戦略を実行するための課題などについて学びます。グループワークでは、各自が計画を実行するためにどうすべきかについて、議論してもらいます。また、授業全体の振り返りを行います。 授業メモ	
	【予習】計画を実行するために、どのようなプロセスを経るのか、自身の考えを整理してきてください。また、授業内で配布した資料やノートに一通り目を通し、これまで学んだ内容を総復習してから受講してください。	60分
	【復習】	
第16回	レポート課題	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度および授業中に指定する課題への取組み（60%）、期末レポート（40%）、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	指定なし	使用資料 <参考図書>	寺本義也、岩崎尚人『新経営戦略論』（学文社）
授業外学修等	講義中に配られたプリントや自分の講義ノートをよく復習するようにして下さい。また、グループワークやレポート課題では、企業の戦略などについて、事前の予習が大切となります。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日1時限		

授業科目名	流通チャネル論	科目コード	G4302P04
英文名	Distribution Channels		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略		
------	-----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	山瀬 孝
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、流通と商業について、現実から学ぶための理論と専門知識を解説します。その中心的な内容は、流通と商業の基本的な専門用語と流通の捉え方・枠組みについて説明した上で、流通の役割と機能を果たしている小売業の各種業態の特性・特徴について概観すると共に、卸売業の取引機能とその変化についても説明します。更に、販売チャネルの変化についても言及します。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	流通の基本用語	流通の捉え方	各種小売業態	卸売業の取引	チャネルの変化
-------	---------	--------	--------	--------	---------

到達目標	流通・商業の専門用語と基本理論を理解する。				
	小売業の各業態および卸売業について、業態特性と仕組み、役割と機能を理解する。				
	ビジネスモデルの中で流通が果たす役割について考察できるようにする。				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【イントロダクション】 講師の仕事の概要を通して流通チャンネルを考える	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第2回	【流通とは?】 流通チャンネル、流通と商業が果たす社会的役割、卸売業と小売業	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第3回	【発展する商業：百貨店&総合スーパー】 商業の歩み、業種と業態、百貨店および総合スーパーの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第4回	【講義】 食品スーパー&コンビニエンスストア (CVS) 1 食品スーパーおよびコンビニエンスストアの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第5回	【講義】 食品スーパー&コンビニエンスストア (CVS) 2 食品スーパーおよびコンビニエンスストアの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第6回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第7回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第8回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分

第9回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第10回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第11回	【講義】ロジスティクス&eコマース、今後の流通1 ロジスティクスおよびeコマースの生成経緯と業態特性、今後の物流のあり方	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第12回	【講義】ロジスティクス&eコマース、今後の流通1 ロジスティクスおよびeコマースの生成経緯と業態特性、今後の物流のあり方	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第13回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第14回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第15回	【総括】 本講義のまとめ、試験対策情報、授業アンケート	
	【予習】これまでの授業に関して、疑問点や感想をまとめておいてください。	60分
	【復習】試験に向け、適宜必要な学習を行なっていってください。（ラストスパート頑張ってください！）	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（100%）で、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	なし	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<p>特に指定が無い限り、予復習の方法や時間は各人の裁量に委ねます。自分が一番身になる勉強法で学習して下さい。また、授業内で課題・レポートの提出、及びそのフィードバックがある事があります。</p> <p>日頃から面白いと感じたことは、どんどん追求して下さい。大学での時間を通じ、論理的、批判的、建設的に物事を考察できるように、また失敗を恐れず、自信を持って、自分の意見を主張できるようになってください。異論、反論は大歓迎です</p>		
授業外質問方法	mailにて問い合わせください。Yamase_t@jeckc.com		
オフィス・アワー			

授業科目名	経営分析論	科目コード	G4402L01
英文名	Business Analysis		

科目区分	経営情報専攻科目 - 会計		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	佐藤 綾子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>企業の経営分析のためには、財務情報だけではなく、財務情報に影響を与える非財務情報まで視野を広げて分析する必要があります。本講義では上場企業を分析対象事例として取り上げ、最初に企業を取り巻く環境分析、定性分析を行います。その上で財務諸表を用いて収益性、健全性、成長性等の財務分析し、多角的な経営分析視点を養うことを目指します。なお、本講義ではP Cを使用します。（担当教員：企業での実務経験あり）</p>		
-------	--	--	--

キーワード	経営分析	財務会計	産業分析		
-------	------	------	------	--	--

到達目標	経営分析に必要な企業情報の種類情報収集方法につき理解し、活用することができる。			
	財務諸表を使った分析手法を理解し、活用することができる。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション	
	【予習】シラバスを読んでおくこと	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第2回	経営分析と企業情報	
	【予習】経営分析にどのような情報が必要とされるか整理しておくこと	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第3回	財務諸表分析の基礎	
	【予習】第1章、第5章 第1節-第4節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第4回	損益計算書	
	【予習】第3章 第1-3節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第5回	損益計算書	
	【予習】第3章 第4-7節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第6回	財務諸表分析 成長性の分析	
	【予習】第5章 第6節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第7回	財務諸表分析 収益性の分析	
	【予習】第5章 第5節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第8回	貸借対照表	
	【予習】第2章 第1-2節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第9回	貸借対照表	
	【予習】第2章 第3-4節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分

第10回	財務諸表分析 安全性の分析	
	【予習】第5章 第7節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第11回	財務諸表分析 効率性の分析	
	【予習】第5章 第9節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第12回	キャッシュフロー計算書	
	【予習】第4章	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第13回	財務諸表分析 ROEとROA	
	【予習】第5章 第9節	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第14回	経営分析レポートの作成	
	【予習】これまでのミニレポートを整理しておくこと	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第15回	経営分析レポートの作成	
	【予習】これまでのミニレポートを整理しておくこと	30分
	【復習】テキスト、プリントを復習しておくこと	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度およびミニテスト、課題への取組み（70％）、期末試験（30％） なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	大阪商工会議所 編：ビジネス会計検定試験公式テキスト3級、	使用資料 <参考図書>	適宜指示します
授業外学修等	日経新聞の市場動向、企業業績の記事や、企業のディスクロージャー情報に日頃から接する習慣をつけましょう		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（asatoh@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日 1 時限		

授業科目名	情報技術論	科目コード	G4502L04
英文名	Information Technology Theory		

科目区分	経営情報専攻科目 - 情報システム		
------	-------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	高尾 哲康
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>国家資格である「ITパスポート試験」の「テクノロジー系」技術要素分野を中心に「情報技術」について学習する。「テクノロジー系」基礎理論分野については「情報システム論」にて、「マネジメント系」と「ストラテジー系」の一部については「eマネジメント論（情報マネジメント論）」で学習し、「ITパスポート試験」の受験に必要な知識をほぼ網羅して学習する。（担当教員：企業での実務経験あり） オンライン授業（Zoomミーティング） Teamsへのリンク チームコード: l6o3iua</p>				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	インタフェース	マルチメディア	データベース	ネットワーク	セキュリティ
-------	---------	---------	--------	--------	--------

到達目標	「ITパスポート試験」シラバス（Ver. 5.0）に記載されている用語例について理解している。				
	用語例について、具体例を挙げて説明できる。				
	「ITパスポート試験」の過去問や模擬問題を、合格基準の70%以上正解できる。				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	情報技術とは ・授業の進め方の解説 クリッカーを利用した相互コミュニケーション方法の説明（状況によってはMicrosoftTeams、Forms、PDFフォームを活用）	
	【予習】シラバスを読んでおく。 履修者アンケート&出席調査次回までに提出 PDFフォームのテキストフィールドに漢字などがうまく入力できない場合の対処法 （Microsoft Edgeでは半角英数字・ひらがな・カタカナの入力ができますが、漢字入力できません（空白になる）のでAdobe Reader DCを使います） Adobe Reader DCの保護モードを無効化する。 <設定手順> 1.Adobe Reader DCを起動し、メニューの[編集]-[環境設定]をクリックする。 2.左側の[分類]リストから[セキュリティ(拡張)]を選択する。 3.「起動時に保護モードを有効にする」のチェックを外す。 4.「OK」ボタンをクリックする。 5.Adobe Reader DCをいったん終了する。 Adobe Reader DCのダウンロード：提供オプションのMcAfeeのチェック2箇所をはずしてダウンロードします。 Adobe Reader DCのバージョンアップは、Adobe Reader DCを起動し、ヘルプのアップデートの有無から。	10分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第2回	ヒューマンインターフェイス （ヒューマンインターフェイス技術）	
	【予習】テキスト第9章p.248-249を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2021講義サブノート01次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第3回	ヒューマンインターフェイス （インターフェイス設計）	
	【予習】テキスト第9章p.250-259を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2021講義サブノート02次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第4回	マルチメディア （マルチメディア技術）	
	【予習】テキスト第9章p.260-263を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2021講義サブノート03次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第5回	マルチメディア （マルチメディア応用）	
	【予習】テキスト第9章p.264-269を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2020講義サブノート04次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第6回	データベース （データベース方式・データベース設計）	
	【予習】テキスト第9章p.270-275を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2020講義サブノート05次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分

第7回	データベース（データ操作・トランザクション処理）	
	【予習】テキスト第9章p.276-281を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2020講義サブノート06次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第8回	中間試験および解説	
	【予習】テキスト第9章前半を再確認し、試験準備しておく。 中間試験問題	30分
	【復習】中間試験結果を確認しておく。 中間試験解答	30分
第9回	ネットワーク（ネットワーク方式）	
	【予習】テキスト第9章p.282-287を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2020講義サブノート07次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第10回	ネットワーク（通信プロトコル・ネットワーク応用）	
	【予習】テキスト第9章p.288-301を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2020講義サブノート08次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第11回	セキュリティ（情報セキュリティ）	
	【予習】テキスト第9章p.302-307を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2020講義サブノート09次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第12回	セキュリティ（情報セキュリティ管理）	
	【予習】テキスト第9章p.308-323を読み、講義サブノートで学習する。 情報技術論2020講義サブノート10次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第13回	セキュリティ（情報セキュリティ対策・情報セキュリティ実装技術）	
	【予習】これまでに学んだ練習問題、過去問題を再確認しておく。 情報技術論2020講義サブノート11次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分

第14回	第1回～第10回までのまとめと用語の復習	
	【予習】これまでに学んだ練習問題、過去問題を再確認しておく。 情報技術論2020講義サブノート12次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第15回	第11回～第13回までのまとめと用語の復習 授業アンケート（Webシラバスから）	
	【予習】これまでに学んだ練習問題、過去問題を再確認しておく。 情報技術論2020講義サブノート13次回までに提出	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。 問題解答・解説	15分
第16回	期末試験および解説 期末テストの形式（中間試験と同じ形式） 授業で取り組んだ四択問題から約20問 平成28～令和3年度公開の過去問から約5問 合計25問 試験範囲（第9章全体）	
	【予習】これまでに学んだ練習問題、過去問題を再確認し、試験準備しておく。 期末試験問題	30分
	【復習】試験結果を確認する。 期末試験解答	30分

評価方法	定期試験(100%) + 予復習及び授業時の発言・正解率（クリッカー使用）等に対して5%～20%のボーナス点を付加する。 出席確認 = シャトルカード（毎回授業の感想質問など） 欠席が3分の1を超える学生は、評価対象外。 予習・復習確認 = 授業冒頭で、サブノートへの記入を確認する。 到達目標の評価は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：10% 社会性：10% 専門性：80%	
使用資料 <テキスト>	滝口 直樹 著：『ゼロからはじめる ITパ ーソナルの教科書』改訂第6版、とりい書	使用資料 <参考図書>
授業外学修等	15分以上の遅刻は入室禁止。履修登録確定後、座席指定を実施予定。テキスト該当部分とサブノート(次週分も配布)を参照し、必ず予習・復習をすること。	
授業外質問方法	授業で配布する講義サブノート等の資料のバックナンバーを常備する。質問等は、MicrosoftTeamsやメール(takao@tuins.ac.jp)を利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。	
オフィス・アワー	水曜日 1時限（425室）	

授業科目名	情報システム論	科目コード	G4502P01
英文名	Information Systems		

科目区分	経営情報専攻科目 - 情報システム		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	新森 昭宏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>情報システム論では、国家資格である「ITパスポート試験」の「テクノロジー系」基礎理論分野を中心に「情報システム」について学習する。「テクノロジー系」技術要素分野については「情報技術論」にて、「マネジメント系」と「ストラテジ系」の一部については「情報マネジメント論」にて学習し、「ITパスポート試験」の受験に必要な知識をほぼ網羅して学習する。 (担当教員：企業での実務経験あり)</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	離散数学	アルゴリズム	コンピュータ	ソフトウェア	ハードウェア
-------	------	--------	--------	--------	--------

到達目標	「ITパスポート試験」シラバス (Ver.5.0) に記載されている用語例について理解している。(40%)			
	用語例について、具体例を挙げて説明できる。(30%)			
	「ITパスポート試験」の過去問や模擬問題を、合格基準の70%以上正解できる。(30%)			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	<p>情報システムとは ・授業の進め方の解説 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第1回</p>	
	<p>【予習】シラバスを読んでおく。</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p>	30分
第2回	<p>基礎理論（離散数学～数と表現～） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第2回</p>	
	<p>【予習】テキスト第7章p.182-185を読んで学習する。</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p>	30分
第3回	<p>基礎理論（離散数学～集合と論理演算～） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第3回</p>	
	<p>【予習】テキスト第7章p.185-186を読んで学習する。</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p>	30分
第4回	<p>基礎理論（応用数学） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第4回</p>	
	<p>【予習】テキスト第7章p.187-189を読んで学習する。</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p>	30分
第5回	<p>基礎理論（情報に関する理論） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第5回</p>	
	<p>【予習】テキスト第7章p.190-192を読んで学習する。</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p>	30分
第6回	<p>アルゴリズムとプログラミング（データ構造・アルゴリズム） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第6回</p>	
	<p>【予習】テキスト第7章p.196-204を読んで学習する。</p>	30分
	<p>【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p> <p>小テストの解説：小テストの解説</p>	30分

第7回	<p>アルゴリズムとプログラミング（プログラミング・プログラム言語・その他の言語） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第7回</p>	
	【予習】テキスト第7章p.205-209を読んで学習する。	30分
	【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	30分
第8回	<p>これまでの復習と中間試験</p> <p>説明資料：情報システム論-第8回</p>	
	【予習】テキスト第7章を再確認し、試験準備しておく。	60分
	【復習】中間試験結果を確認しておく。	30分
第9回	<p>コンピュータ構成要素（プロセッサ・メモリ） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第9回</p>	
	【予習】テキスト第8章p.216-221を読んで学習する。	30分
	【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	30分
第10回	<p>コンピュータ構成要素（入出力デバイス） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第10回</p>	
	【予習】テキスト第8章p.222-225を読んで学習する。	30分
	【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	30分
第11回	<p>システム構成要素（システムの構成） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第11回</p>	
	【予習】テキスト第8章p.230-234を読んで学習する。	30分
	【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	30分
第12回	<p>システム構成要素（システムの評価指標） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第12回</p>	
	【予習】テキスト第8章p.236-239を読んで学習する。	30分
	【復習】授業で学んだ練習問題を再確認しておく。	30分
第13回	<p>ソフトウェア（オペレーティングシステム・ファイルシステム） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)</p> <p>説明資料：情報システム論-第13回</p>	
	【予習】テキスト第8章p.244-251を読んで学習する。	30分
	【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	30分

第14回	ソフトウェア（開発ツール・オープンソースソフトウェア） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：情報システム論-第14回	
	【予習】テキスト第8章p.252-258を読んで学習する。	30分
	【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。	30分
第15回	ハードウェア（コンピュータ・入出力装置） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：情報システム論-第15回	
	【予習】テキスト第8章p.264-270を読んで学習する。	30分
	【復習】授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。期末試験に向けた学習を行う。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	定期試験(100%)。 出席確認 = Microsoft Formsを使った小テストに回答することで自動確認 欠席が3分の1を超える学生は、評価対象外。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	滝口 直樹 著：『ゼロからはじめる ITパ スポートの教科書』改訂第6版、とりの書房	使用資料 <参考図書>	授業で説明に使ったスライドを配布する。
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト該当部分を参照し、必ず予習をすること。 ・授業で説明した内容の理解を深め、記憶を定着させるためにも復習をすること。 		
授業外質問方法	質問等は、メールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。		
オフィス・アワー	月曜日2限		

授業科目名	情報社会と情報倫理	科目コード	G4602L01
英文名	Information Society and Information Ethics		

科目区分	経営情報専攻科目 - データサイエンス
------	---------------------

職名	教授	担当教員名	新森 昭宏
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>政府が2021年度から推進する「第6期科学技術・イノベーション基本計画」では、第5期基本計画で提起された「Society 5.0」の具体化が宣言されている。これは、「『狩猟社会』『農耕社会』『工業社会』『情報社会』に続く、人類史上5番目の新しい社会」として定義されているものである。「サイバー空間とフィジカル空間（現実社会）が高度に融合した『超スマート社会』」の実現が目指されている。</p> <p>情報化やデジタル化は、業務の効率化や生産性の向上を実現し、産業振興・二酸化炭素排出量削減・高齢化対策などの社会的課題の解決にも資することが期待される。その一方で、秘密情報・個人情報の漏洩と拡散、情報の捏造と拡散（フェイクニュース等）、SNSを使った事件（いじめ、犯罪等）などの新たな問題や課題も生まれている。「Society 5.0」時代の社会人は、これらの知識に加えて、情報セキュリティや知的財産権についての基本知識を身に付けておくことも必要となる。</p> <p>この授業では、「Society 5.0」の内容と意義を理解するとともに、新たに生じている問題や課題とその対策について考察・議論する。（担当教員：企業での実務経験あり）</p>
-------	--

キーワード	情報セキュリティ	個人情報保護	知的財産権	デジタルトランスフ	データ駆動社会
-------	----------	--------	-------	-----------	---------

到達目標	情報セキュリティ、秘密情報保護・個人情報保護、知的財産権の基本事項を説明できる。（40%）
	SNS、電子商取引、電子政府、電子決済、デジタルトランスフォーメーション(DX)、データ駆動社会の基本事項を説明できる。（30%）
	情報化やデジタル化の進展にもなっている問題や課題を理解し、その対策を考察・説明できる。（30%）

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス。「Society 5.0」について（歴史と背景、概要） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】シラバスを読むこと。「Society 5.0」についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第2回	情報セキュリティ（概念、事例、法律） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】情報セキュリティについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第3回	情報セキュリティ（共通鍵暗号、公開鍵暗号、マルウェア、スパム、DoS攻撃） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】共通鍵暗号、公開鍵暗号、マルウェア、DoS攻撃のうち1つを選んでインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第4回	知的財産権（特許権、意匠権、商標権） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】特許庁のホームページの特許権、意匠権、商標権に関する説明を読んでおくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第5回	知的財産権（著作権） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】文化庁のホームページの著作権に関する説明を読んでおくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第6回	視覚障害者と情報技術（外部講師による授業）	
	【予習】視覚障害者が社会参加するためにはどのようにすれば良いかについて調査し、考察しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第7回	秘密情報保護、個人情報保護 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】営業秘密、または個人情報のいずれかについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分

第8回	SNS (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 SNSについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第9回	電子商取引 (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 電子商取引についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第10回	クラウドサービス (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 クラウドサービスについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第11回	電子政府・電子自治体 (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 電子政府・電子自治体についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第12回	電子決済・電子マネー (概要、メリット、課題) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 電子決済・電子マネーについてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第13回	デジタルトランスフォーメーション (DX) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 デジタルトランスフォーメーション (DX) についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分
第14回	データ駆動型社会、人工知能 (AI) の活用 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】 人工知能に関する最近の話題についてインターネットで調べ、その概要を把握しておくこと	30分
	【復習】 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すとともに、課題レポートを提出すること。	30分

第15回	データ・人工知能 (AI) 活用における留意事項 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】これまでの授業資料を確認しておくこと	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直すこと。期末試験に向けた学習を行うこと。 なお、理解度を自己確認できるようにするため、これまで課したMicrosoft Formsを使った小テストを繰り返し実施できるようにする。	30分
第16回	【予習】	30分
	【復習】	30分

評価方法	<p>期末試験 (60%)、各回の課題レポート (40%) にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p> <p>人間性：10% 社会性：10% 専門性：80%</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	都度、資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	・内閣府ホームページ (https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)
----------------	-------------	----------------	--

授業外学修等	<p>毎回何らかの課題を課す。提出された課題のうちフィードバックが必要なものは、次回の授業でフィードバックを行う。 日頃から新聞記事、テレビ番組などで、情報セキュリティ、秘密情報・個人情報保護、知的財産権、電子政府、デジタルトランスフォーメーションなどの情報収集をすること。</p>
授業外質問方法	メールまたはオフィス・アワーで対応。
オフィス・アワー	月曜日2限

授業科目名	データサイエンス実践演習I	科目コード	G4602L02
英文名	Practical Seminar on Data Science I		

科目区分	経営情報専攻科目 - データサイエンス
------	---------------------

職名	准教授	担当教員名	河野 信
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	4限目
開講時期	2年後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、PythonのNumpyやScikit-learnといったデータ解析用のプログラミングモジュールを利用してデータサイエンスについて学ぶ。データから関連性を抽出し現象の解明や要因の分析に役立つ知識を得たり、データに潜む関連性をもとに予測を行う方法について学習する。本講義ではPCを利用する。「情報統計学I・II」、「プログラミングの基礎」を受講していることが望ましいが、必須ではない。(担当教員：企業での実務経験有り)</p>				
-------	---	--	--	--	--

キーワード	データ分析	モデリング	機械学習	Python	Scikit-learn
-------	-------	-------	------	--------	--------------

到達目標	解析の目的や手持ちのデータに応じた、適切な解析手法を選択できる(30%)
	Python (scikit-learn) を使ってデータ解析を実行できる(30%)
	実際のデータからモデルを作成し、結果を解釈できる(40%)

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス、機械学習とScikit-learn	
	【予習】シラバスを読んでおくこと	30分
	【復習】持っていない人はGoogleのアカウントを取得しておくこと。 教科書1章と2章を読んでおくこと。 ただし、2-2「scikit-learnのセットアップ」のPython、scikit-learn、関連モジュール等のインストールは不要（自分のPCで利用したい人はインストールしてもよい） 34ページからのColaboratoryを使えるようにしておくこと。 2-3「scikit-learnによる機械学習の基本的な実装」に関しては、コードを実行する必要はないが、解析の流れについて確認しておくこと。	30分
第2回	回帰-回帰のアルゴリズム、線形回帰	
	【予習】教科書3章 3.1 回帰のアルゴリズム 3.2 線形回帰 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第3回	回帰-正則化、確率的勾配降下法	
	【予習】教科書3章 3.3 線形回帰の正則化 3.4 線形回帰の確率的勾配降下法 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第4回	分類-分類のアルゴリズム、ロジスティック回帰	
	【予習】教科書4章 4.1 分類のアルゴリズム 4.2 ロジスティック回帰 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第5回	回帰 / 分類-サポートベクトルマシン	
	【予習】教科書3章 3.5 線形サポートベクトル回帰 3.6 ガウスカーネルのサポートベクトル回帰 教科書4章 4.3 線形サポートベクトル分類 4.4 ガウスカーネルのサポートベクトル分類 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第6回	回帰 / 分類-ランダムフォレスト	
	【予習】教科書3章 3.7 ランダムフォレスト回帰 教科書4章 4.5 ランダムフォレスト の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分

第7回	クラスタリング	
	【予習】教科書第5章を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第8回	次元削減	
	【予習】教科書第6章を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第9回	モデルの評価	
	【予習】教科書第7章を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第10回	実データ分析－タイタニックの生存者予測	
	【予習】教科書第8章 8.1 はじめに 8.2 ロジスティック回帰を活用したタイタニックの予測モデルの作成 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第11回	実データ分析－気温と消費の予測モデル	
	【予習】教科書8章 8.3 ランダムフォレストを活用した気温分析と消費の予測モデルの作成 の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第12回	実データ分析－映画のレコメンデーション	
	【予習】教科書第8章 8.4 Collaborative filteringを活用したレコメンデーションモデル 8.5 MovieLensを使ったモデル作り の部分を読んでおくこと	60分
	【復習】わからなかった部分や実行できなかったコードを復習し、課題を提出すること	60分
第13回	実データ分析（期末レポート課題）	
	【予習】SIGNATE、Kaggleなどのデータ分析コンペティションのサイトに掲載されている課題を調べておくこと	60分
	【復習】期末レポートで取り組む課題について、データの概要について確認しておく	60分
第14回	実データ分析（期末レポート課題）	
	【予習】選んだ課題の前処理方法、解析方法について考えておくこと	60分
	【復習】いくつかの方法を試して、より良い前処理法・解析法がないか検討する	60分

	実データ分析（期末レポート課題）	
第15回	【予習】前回までに作成したモデルを、より良いものにするための方法について考えておくこと	180分
	【復習】最終的に作成したモデルと予測結果についてまとめ、期末レポート課題として提出すること	180分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	講義期間中の課題提出（50%）+ 期末レポート（50%） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。
------	---

使用資料 <テキスト>	scikit-learnデータ分析実装ハンドブック、 毛利拓也/北川廣野/澤田千代子/谷一徳、秀	使用資料 <参考図書>	
----------------	---	----------------	---

授業外学修等	
--------	--

授業外質問方法	いつでもどうぞ
---------	---------

オフィス・アワー	月曜5限
----------	------

授業科目名	経営情報資格演習	科目コード	G4702F01
英文名	Training Course for Business Management Certification		

科目区分	経営情報専攻科目 - 総合		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	佐藤 綾子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期・後期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義は日本商工会議所主催の簿記検定2級相当の簿記の能力修得を目標に、問題演習を中心に進めていきます。前半では商業簿記、後半では工業簿記について学びます。簿記の学習は積み重ねとなりますので、予習・復習をしっかりとこなすことが重要です。(担当教員：企業での実務経験あり)</p>		
-------	---	--	--

キーワード	簿記			
-------	----	--	--	--

到達目標	商業簿記(日商簿記検定試験2級レベル)の基礎的な内容を理解することができる。(30%)		
	工業簿記(日商簿記検定試験2級レベル)の基礎的な内容を理解することができる。(30%)		
	日商簿記検定試験2級相当の知識を習得することができる。(40%)		

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	簿記一巡の手続き / 損益計算書と貸借対照表 / 商品売買 現金および預金 / 債権・債務 有価証券	
	【予習】 シラバスを読んでおくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第2回	有形固定資産 () / 有形固定資産 () リース取引 / 無形固定資産等と研究開発費 引当金 / 外貨換算会計	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第3回	税金 / 株式の発行 剰余金の配当と処分 決算手続き	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第4回	収益・費用の認識基準 / 伝票式会計 課税所得の算定 / 本支店会計 合併と事業譲渡	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第5回	連結会計 (資本連結) 連結会計 (資本連結) 連結会計 (成果連結)	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第6回	工業簿記の基礎 / 工業簿記の勘定連絡 材料費 () / 材料費 () 労務費 () / 労務費 ()	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第7回	経費 個別原価計算 () / 個別原価計算 () 部門別個別原価計算 () / 部門別個別原価計算 ()	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分

第8回	総合原価計算（ ） / 総合原価計算（ ） 総合原価計算（ ）仕損処理 総合原価計算（ ）工程別	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第9回	総合原価計算（ ）組別・等級別 / 財務諸表 標準原価計算（ ） 標準原価計算（ ）	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第10回	直接原価計算（ ） 直接原価計算（ ） 本社工場会計	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第11回	商業簿記第1問対策 商業簿記第2問対策 商業簿記第3問対策	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第12回	工業簿記第4問対策 工業簿記第5問対策 総合対策 第1回	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第13回	総合対策 第2回 総合対策 第3回 総合対策 第4回	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第14回	総合対策 第5回 < 模擬試験問題演習 > 第1回 < 模擬試験問題演習 > 第2回	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分

第15回	< 模擬試験問題演習 > 第3回 < 模擬試験問題演習 > 第4回 < 模擬試験問題演習 > 第5回	
	【予習】 前回論点をよく解いておくこと	30分
	【復習】 練習問題を解いておくこと	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度およびミニテスト(70%)、期末試験(30%) なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 < テキスト >	「みんなが欲しかった 簿記の教科書 日商2級 商業簿記	使用資料 < 参考図書 >	「サクッとわかる日商2級 商業簿記 トレーニング」ネットスクール出版、「サクッと
授業外学修等	簿記の学習は積み重ねによるものなので、欠席をするとその後の授業に影響します。日商簿記2級の資格取得を目指す場合は、授業後により多くの演習問題に取り組むことが重要です。		
授業外質問方法	疑問、質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい (asatoh@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	木曜日 1 限		

授業科目名	インターンシップ	科目コード	G4707F03
英文名	Internship		

科目区分	経営情報専攻科目 - 総合		
------	---------------	--	--

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年・3年・4年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中であって、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	インターンシップ	企業研究		
-------	----------	------	--	--

到達目標	高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。		
	学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。		
	自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。		

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	事前研修（1）企業説明会への参加（富山県インターンシップ推進センター主催説明会）	
	【予習】インターンシップ研修参加希望企業につき予習をしておくこと	30分
	【復習】説明会で学んだ企業情報を整理しておくこと	30分
第3回	事前研修（2）インターンシップ参加の心得	
	【予習】	
	【復習】企業研究ノートを作成し、整理しておくこと	30分
第4回	事前研修（3）マナー講座（身だしなみ）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	事前研修（4）テーマ発表	
	【予習】インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	90分
	【復習】テーマ発表で受けたアドバイスにもとづき修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第6回	事前研修（5）マナー講座（マナー研修Part1）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	事前研修（5）マナー講座（マナー研修Part2）	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修（6）事前面談（就職アドバイザーとの個人面談）	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	企業研修（1）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分

第10回	企業研修（2）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（3）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（4）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（5）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	事後研修（1） 報告書の作成	
	【予習】日報や企業研究ノートをもとに報告書の原案を作成しておくこと	90分
	【復習】教員による添削をもとに報告書を修正すること	60分
第15回	事後研修（2）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	
第16回	事後研修（3）インターンシップ学内報告会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修、研修先での実習・研修に対する評価、事後レポートを総合的に判断する。		
使用資料 <テキスト>	適宜資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	質問にはオフィスアワー以外にも対応します（メール可）。		
オフィス・アワー	木曜日3限		

授業科目名	Advanced Reading	科目コード	G5202P02
英文名	Advanced Reading		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語基礎		
------	-------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	The aim of this course is to improve students' ability to read and understand English. Students will read and discuss a wide range of materials, including current events, culture, study abroad, and international topics.		
-------	---	--	--

キーワード	Reading	Vocabulary	Rhetoric		
-------	---------	------------	----------	--	--

到達目標	1 Develop fluency in both intensive and extensive reading in English				
	2 Improve vocabulary, particularly academic English vocabulary				
	3 Understand the key rhetorical differences between Japanese texts and English texts				

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction to Advanced Reading: Intensive Reading and Extensive Reading	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	Reading about the news (1)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第3回	Reading about the news (2)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第4回	Reading about culture (1)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第5回	Reading about culture (2)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第6回	How to read an English newspaper	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第7回	Reading about study abroad	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第8回	Reading about differences between Japan and English-speaking countries (1)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第9回	Reading about differences between Japan and English-speaking countries (2)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分

	Comparative reading in Japanese and English	
第10回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Reading about Japan in English	
第11回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Reading about Toyama in English (1)	
第12回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Reading about Toyama in English (2)	
第13回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Reading for TOEIC and other English exams	
第14回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Student presentations on reading projects	
第15回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Test	
第16回	【予習】 Prepare for the test as directed by the teacher.	60分
	【復習】	

評価方法	Classwork and homework, 40% In-class quizzes and activities, 40% Final test, 20%		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	水曜日1限目 Wednesday first period		

授業科目名	Academic Writing	科目コード	G5202P03
英文名	Academic Writing		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語基礎		
------	-------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	This course introduces students to the fundamentals of English academic writing. Students will master paragraph writing, short essay writing, and basic research methods including citation and quotation. This course will prepare students for academic English in study abroad programs and provide a foundation for third and fourth year research and writing in English.			
-------	--	--	--	--

キーワード	Writing	Reading	Vocabulary	Peer review	Revising
-------	---------	---------	------------	-------------	----------

到達目標	1 Develop fluency in writing academic English paragraphs and essays
	2 Improve vocabulary, particularly academic English vocabulary
	3 Master the basics of academic research in English, including source selection, citation, and quotation
	4 Learn the fundamentals of revision through peer and teacher evaluation

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction: course explanation and writing evaluation	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	Writing a paragraph: Getting ready to write	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第3回	Writing a paragraph: Writing the first paragraph	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第4回	Writing a paragraph: Writing coherently	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第5回	Writing a paragraph: Editing a paragraph	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第6回	Writing an essay: From paragraph to essay	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第7回	Writing an essay: The first essay	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第8回	Writing an essay: Editing an essay	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第9回	Paraphrasing and summarizing	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分

	Citing sources of information	
第10回	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
	Writing a research essay: Developing and organizing a research essay	
第11回	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
	Writing a research essay: Supporting arguments	
第12回	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
	Writing a research essay: Editing a research essay	
第13回	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
	Grammar workshop	
第14回	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
	Final revisions and portfolio check	
第15回	【予習】 Review and prepare for the test as directed by the teacher.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
	Test and portfolio evaluation	
第16回	【予習】 Prepare for the test as directed by the teacher.	60分
	【復習】	

評価方法	Writing portfolio, 80% (including homework and writing exercises) Test, 20%		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	Students will need to visit English Café and the library for research purposes.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	水曜日1限目 Wednesday first period		

授業科目名	TOEIC	科目コード	G5302P05
英文名	TOEIC		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語展開		
------	-------------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	堀川 真理子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	TOEIC 300～600得点者が対象。国際的に通用する英語力を、楽しく固めます。		
-------	---	--	--

キーワード	Listening	Reading	Vocabulary		
-------	-----------	---------	------------	--	--

到達目標	社会で通用する、「聞けて、話せる」英語の力を強化します。		
	日常的に使われる表現を使えるようにします。		
	TOEIC 得点増（前回スコアから最大で30%増）をめざします。		

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の目的と進め方を説明。皆さんの目標を聞きます。	
	【予習】自分の目指すレベルを発表してもらいます。	
	【復習】授業内容の復習	
第2回	Longman テキスト 指定箇所、 " Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第3回	Longman テキスト 指定箇所、 " Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第4回	Longman テキスト 指定箇所、 " Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第5回	Longman テキスト 指定箇所、 " Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第6回	Longman テキスト 指定箇所、 " Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第7回	Longman テキスト 指定箇所、 " Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第8回	Longman テキスト 指定箇所、 " Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第9回	Longman テキスト 指定箇所、 " Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	

第10回	Longman テキスト 指定箇所、" Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第11回	Longman テキスト 指定箇所、" Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第12回	Longman テキスト 指定箇所、" Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第13回	Longman テキスト 指定箇所、" Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第14回	Longman テキスト 指定箇所、" Thirteen Reasons Why " 指定箇所	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第15回	TOEIC IPテスト（オンライン）を教室で実施、自分の成長を確認してください。コースのまとめをします。	
	【予習】授業内で出した課題	90分
	【復習】授業内容の復習	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出席(授業開始後の入室は不可)と課題提出は必須です。 出席と課題(45%) 授業内活動(25%) 期末TOEICテストのスコア(30%)		
使用資料 <テキスト>	Longman Preparation Series for the TOEIC Test: Intermediate Course (Pearson),	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	基本的にこの授業後、研究室(422)で対応します。その他の日は、相談に応じますので、予約をしてください。		
オフィス・アワー			

授業科目名	Advanced Reading	科目コード	G5303L01
英文名	Advanced Reading		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語展開		
------	-------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	The aim of this course is to provide students with the skills to read and process academic English. The course is especially recommended for students who are writing their graduation thesis in English or those who wish to use English in their future career or study.			
-------	--	--	--	--

キーワード	Reading	Research	Rhetoric	Vocabulary
-------	---------	----------	----------	------------

到達目標	1 Expand fluency in both intensive and extensive academic reading in English
	2 Improve vocabulary, particularly academic English vocabulary
	3 Understand the key rhetorical differences between Japanese texts and English texts
	4 Develop reading skills necessary to do effective research in English

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction to Advanced Reading 2: Reading for research	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	Academic reading: reading skills for research and graduation thesis (1)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第3回	Academic reading: reading skills for research and graduation thesis (2)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第4回	Reading academic journals	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第5回	Reading and summarizing (1)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第6回	Reading and summarizing (2)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第7回	Reading about Toyama in English (1)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第8回	Reading about Toyama in English (2)	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
第9回	Reading and evaluating sources	
	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分

	Reading and evaluating sources	
第10回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Reading and making references: keeping an academic reading journal (1)	
第11回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Reading and making references: keeping an academic reading journal (2)	
第12回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Academic reading: reading skills for research and graduation thesis (3)	
第13回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Academic reading: reading skills for research and graduation thesis (4)	
第14回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Student presentations about reading projects; review for test	
第15回	【予習】 Preview the following week ' s assignment using handouts and other resources provided by the teacher.	60分
	【復習】 Review the week ' s reading, focusing especially on new vocabulary and difficult to understand passages.	30分
	Test	
第16回	【予習】 Prepare for the test as directed by the teacher.	60分
	【復習】	

評価方法	Classwork and homework, 40% In-class quizzes and activities, 40% Final test, 20%		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	水曜日1限目 Wednesday first period		

授業科目名	Academic Writing	科目コード	G5303L02
英文名	Academic Writing		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語展開		
------	-------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	This course continues to build on the fundamentals of writing introduced in Academic Writing 1. Students will master short essay writing in a variety of genres and begin doing research connected to their graduation theses.			
-------	--	--	--	--

キーワード	Writing	Reading	Vocabulary	Peer review	Revising
-------	---------	---------	------------	-------------	----------

到達目標	1 Develop fluency in writing academic English essays in a variety of genres
	2 Improve academic English vocabulary
	3 Deepen academic research skills in English, moving towards the writing of a graduation thesis in English
	4 Continue to develop revision and rewriting skills while mastering the rhetorical patterns of English

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction to course and explanation of course policies, goals, and evaluation methods. Activity: in-class writing and evaluation.	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	Research and citation: an introduction	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第3回	Research and citation: in-text citation and works cited list	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第4回	Argumentative essay: developing arguments	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第5回	Argumentative essay: organizing	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第6回	Argumentative essay: workshopping and revision	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第7回	Compare and contrast essay: structure introduction	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第8回	Compare and contrast essay: describing similarities and differences	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第9回	Compare and contrast essay: workshopping and revision	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分

第10回	Expository essay: essay structure and the introductory paragraph	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第11回	Expository essay: body paragraphs, concluding paragraphs, and outlining	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第12回	Expository essay: workshopping and revision	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第13回	Grammar and revision workshop	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第14回	Graduation thesis workshop 1	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第15回	Graduation thesis workshop 2	
	【予習】 Review and prepare for the test as directed by the teacher.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第16回	Test and portfolio review	
	【予習】 Prepare for the test as directed by the teacher.	60分
	【復習】	

評価方法	Writing portfolio, 80% (including homework and writing exercises) Test, 20%		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	Students will need to visit English Café and the library for research purposes.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	水曜日 1限目 Wednesday first period		

授業科目名	Presentation and Debate	科目コード	G5303P03
英文名	Presentation and Debate		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語展開		
------	-------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	The purpose of this class is to help students develop their presentation and debate skills in English. The class will focus on 3 main points: (1) making effective presentations, (2) analyzing information methodically in order to form a coherent and logical opinion, and (3) developing the language skills necessary to express opinions clearly.			
-------	---	--	--	--

キーワード	Speaking	Listening	Presentation	Debate	Critical thinking
-------	----------	-----------	--------------	--------	-------------------

到達目標	1 Develop effective presentation and debate skills			
	2 Improve knowledge of English vocabulary and expressions			
	3 Learn to analyze information logically and methodically in order to form a clear opinion			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Project 1: A Person to Admire (Self-analysis, drawing points and lessons from biography) Exploring the topic and generating language	
	【予習】	
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第2回	Project 1: A Person to Admire (Self-analysis, drawing points and lessons from biography) Research and material preparation	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第3回	Project 1: A Person to Admire (Self-analysis, drawing points and lessons from biography) Presentation/discussion/debate	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第4回	Project 2: Young People Today (Developing and administering a survey) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第5回	Project 2: Young People Today (Developing and administering a survey) Research and material preparation	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第6回	Project 2: Young People Today (Developing and administering a survey) Presentation/discussion/debate	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第7回	Project 3: In my opinion (Expressing opinions clearly and logically) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第8回	Project 3: In my opinion (Expressing opinions clearly and logically) Research and material preparation	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分

第9回	Project 3: In my opinion (Expressing opinions clearly and logically) Presentation/discussion/debate	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第10回	Project 4: Free project (A project developed by students in class) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第11回	Project 4: Free project (A project developed by students in class) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第12回	Project 4: Free project (A project developed by students in class) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第13回	Debates (1)	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第14回	Debates (2)	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第15回	Debates (3)	
	【予習】 Prepare the portfolio as directed by the teacher.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第16回	Final portfolio evaluation and review	
	【予習】 Prepare for the portfolio as directed by the teacher.	60分
	【復習】	

評価方法	<p>4 project portfolio + debate portfolio 100%. Portfolios will be evaluated on an ongoing basis throughout the semester. 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【注意】Portfolioによる評価なので、再試験は実施しない。 【ディプロマポリシー配分比率】 社会性：30%、 専門性：70%</p>		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	Present Yourself Level 2, Student's Book., S.Gershon, Cambridge University Press
授業外学修等	Students will need to visit English Café and the library for research purposes.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	月曜日 1限		

授業科目名	グローバルスタディーズ	科目コード	G5402L04
英文名	Global Studies		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 国際理解		
------	---------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	渡部 恵子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	4単位

授業の概要				
-------	--	--	--	--

キーワード	English	culture	international	multicultural
-------	---------	---------	---------------	---------------

到達目標	This course is intended to improve students' English language proficiency while deepening their cultural understanding of various parts of the world through learning at affiliated schools in countries such as the United States, Canada and Great Britain. Students are required to submit monthly reports about his or her life and study at the school. These reports will be shared by teachers involved in the program and feedback will be sent to the students. The target level of English			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction. Course outline and approach.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第2回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第3回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第4回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第5回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第6回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第7回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第8回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第9回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分

第10回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第11回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第12回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第13回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第14回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第15回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第16回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分

評価方法	Evaluation by the affiliated school 70%; monthly reports submitted by the student 30%		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Students can consult with officials who are in charge of the program at each affiliated school. Students can also contact TUINS teachers via e-mail.		
オフィス・アワー	JST 10 : 40 ~ 12 : 10 on Tuesday and Thursday.at Watanabe's office		

授業科目名	グローバルスタディーズ	科目コード	G5402L05
英文名	Global Studies		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 国際理解		
------	---------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	渡部 恵子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	4単位

授業の概要				
-------	--	--	--	--

キーワード	English	culture	international	multicultural
-------	---------	---------	---------------	---------------

到達目標	This course is intended to improve students' English language proficiency while deepening their cultural understanding of various parts of the world through learning at affiliated schools in countries such as the United States, Canada and Great Britain. Students are required to submit monthly reports about his or her life and study at the school. These reports will be shared by teachers involved in the program and feedback will be sent to the students. The target level of English			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introducton. Course outline and approach.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第2回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第3回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第4回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第5回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第6回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第7回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第8回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第9回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分

	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第10回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第11回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第12回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第13回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第14回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第15回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第16回	【予習】	60分
	【復習】	60分

評価方法	Evaluation by the affiliated school 70%; monthly reports submitted by the student 30%		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Students can consult with officials who are in charge of the program at each affiliated school. Students can also contact TUINS teachers via e-mail.		
オフィス・アワー	JST 10 : 40 ~ 12 : 10 on Tuesday and Thursday.at Watanabe's office		

授業科目名	グローバルスタディーズ	科目コード	G5402L06
英文名	Global Studies		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 国際理解		
------	---------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	渡部 恵子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	4単位

授業の概要				
-------	--	--	--	--

キーワード	English	culture	international	multicultural
-------	---------	---------	---------------	---------------

到達目標	This course is intended to improve students' English language proficiency while deepening their cultural understanding of various parts of the world through learning at affiliated schools in countries such as the United States, Canada and Great Britain. Students are required to submit monthly reports about his or her life and study at the school. These reports will be shared by teachers involved in the program and feedback will be sent to the students. The target level of English			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introducton. Course outline and approach.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第2回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第3回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第4回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第5回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第6回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第7回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第8回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第9回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分

第10回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第11回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第12回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第13回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第14回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第15回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第16回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分

評価方法	Evaluation by the affiliated school 70%; monthly reports submitted by the student 30%		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Students can consult with officials who are in charge of the program at each affiliated school. Students can also contact TUINS teachers via e-mail.		
オフィス・アワー	JST 10 : 40 ~ 12 : 10 on Tuesday and Thursday.at Watanabe's office		

授業科目名	グローバルスタディーズ	科目コード	G5402L07
英文名	Global Studies		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 国際理解		
------	---------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	渡部 恵子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要				
-------	--	--	--	--

キーワード	English	culture	international	multicultural
-------	---------	---------	---------------	---------------

到達目標	This course is intended to improve students' English language proficiency while deepening their cultural understanding of various parts of the world through learning at affiliated schools in countries such as the United States, Canada and Great Britain. Students are required to submit monthly reports about his or her life and study at the school. These reports will be shared by teachers involved in the program and feedback will be sent to the students. The target level of English			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introducton. Course outline and approach.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第2回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第3回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第4回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第5回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第6回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第7回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第8回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第9回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分

	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第10回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第11回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第12回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第13回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第14回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第15回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第16回	【予習】	60分
	【復習】	60分

評価方法	Evaluation by the affiliated school 70%; monthly reports submitted by the student 30%		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Students can consult with officials who are in charge of the program at each affiliated school. Students can also contact TUINS teachers via e-mail.		
オフィス・アワー	JST 10 : 40 ~ 12 : 10 on Tuesday and Thursday.at Watanabe's office		

授業科目名	グローバルスタディーズ	科目コード	G5402L08
英文名	Global Studies		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 国際理解		
------	---------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	渡部 恵子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	4単位

授業の概要			
-------	--	--	--

キーワード	English	culture	international		
-------	---------	---------	---------------	--	--

到達目標	This course is intended to improve students' English language proficiency while deepening their cultural understanding of various parts of the world through learning at affiliated schools in countries such as the United States, Canada and Great Britain. Students are required to submit monthly reports about his or her life and study at the school. These reports will be shared by teachers involved in the program and feedback will be sent to the students. The target level of English				

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introducton. Course outline and approach.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第2回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第3回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第4回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第5回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第6回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】 Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	60分
第7回		
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第8回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分
第9回	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
	【予習】	60分
	【復習】	60分

	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第10回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第11回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第12回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第13回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第14回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第15回	【予習】	60分
	【復習】	60分
	Curriculum details vary depending on the school and the student's level of English proficiency.	
第16回	【予習】	60分
	【復習】	60分

評価方法	Evaluation by the affiliated school 70%; monthly reports submitted by the student 30%		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Students can consult with officials who are in charge of the program at each affiliated school. Students can also contact TUINS teachers via e-mail.		
オフィス・アワー	JST 10 : 40 ~ 12 : 10 on Tuesday and Thursday.at Watanabe's office		

授業科目名	国際ジャーナル	科目コード	G5402P03
英文名	International News		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 国際理解		
------	---------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	渡部 恵子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	This course aims to improve the skills of reading and listening to news reports in order to get information in English about current events both inside and outside Japan.		
-------	--	--	--

キーワード	reading	listening	international news		
-------	---------	-----------	--------------------	--	--

到達目標	Develop vocabulary skills to read news reports.				
	Develop strategies to understand news reports.				

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction. Course outline and approach.	
	【予習】	
	【復習】 Obtain an English newspaper or magazine and have a look to get an idea of what it looks like. Bring it to the class.	30分
第2回	Topic 1. International report	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第3回	Topic2 International report	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第4回	Topic3 National report	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第5回	Topic 4 National report	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第6回	Topic 5 Sports news	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第7回	Topic 6 Op/Ed	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第8回	Midterm test (終了後、解説 30分)	
	【予習】 Prepare for the exam, checking your notebook and provided materials.	60分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第9回	Topic 7 International report	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分

第10回	Topic8 International report	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第11回	Topic9 National report	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第12回	Topic10 National report	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】	30分
第13回	Topic11 Feature	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第14回	Topic12 Feature	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第15回	Topic 13 Op/Ed	
	【予習】 Read materials handed out in previous class, check the new vocabulary	30分
	【復習】 Review vocabulary and notes you took during the class.	30分
第16回	Final test, (テスト後に解説 30分)	
	【予習】 Prepare for the exam, checking your notebook and provided materials.	60分
	【復習】 Reflect upon the term and evaluate the outcome by yourself.	30分

評価方法	Participation (50 %) , final test (50 %)		
使用資料 <テキスト>	English for Mass Communication (Ashi Press)	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Visit Watanabe's office or contact by e-mail at watanabe@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	10 : 40 ~ 12 : 10 on Tuesday and Thursday		

授業科目名	インターンシップ	科目コード	G5607F01
英文名	Internship		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 総合		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	尾畑 納子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中講義	時限	集中講義
開講時期	1年・2年・3年・4年前期・後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学においてインターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」を指し、事前に学生が取り組む課題を設定し、それに基づき企業や各種機関において短期間の実習・研修を行う制度のことをいう。今日、国際化や情報化の急速な進展、あるいは社会や産業構造の激しい変化により、雇用環境も大きく変わりつつある。その中において、人材育成の核となる大学には、社会人基礎力を有する人材はもちろん、社会や産業界・企業のニーズに応える人材育成を目指した教育機能の一層の拡充・強化が求められている。このような要請に応えるために、本学のインターンシッププログラムは、産学官の連携により、学生のキャリア形成教育の一環として実施されるものである。</p>		
-------	--	--	--

キーワード	インターンシップ	企業研究		
-------	----------	------	--	--

到達目標	高い職業意識の育成・啓発：実習・研修を通じ、仕事とは何か、ビジネスはどのように形作られていくのか等についての理解を深め、自らの職業適性や将来設計を考える機会を得る。		
	学習意欲の向上・教育効果の実現：実習・研修を通じ、これまで大学で学んできたことを確かめるとともに、自らの専攻や研究と関連のある問題や課題を見出し、専門分野への学習意欲を高めたり、深化させたりする。		
	自主性・責任感のある人材の育成：現実の組織・職場の厳しさを体験することによって、社会人としての自覚を促すとともに、自主性・責任感のある人材の育成に役立てる。		

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門性をさらに高める実習・演習	キャリア・実務能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	事前研修（1）企業説明会への参加（富山県インターンシップ推進センター主催説明会）	
	【予習】インターンシップ研修参加希望企業につき予習をしておくこと	30分
	【復習】説明会で学んだ企業情報を整理しておくこと	30分
第3回	事前研修（2）インターンシップ参加の心得	
	【予習】	
	【復習】企業研究ノートを作成し、整理しておくこと	30分
第4回	事前研修（3）マナー講座（身だしなみ）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	事前研修（4）テーマ発表	
	【予習】インターンシップ参加にあたり設定したテーマに関するプレゼンテーションを準備しておくこと	90分
	【復習】テーマ発表で受けたアドバイスにもとづき修正点、改善点につき検討しておくこと	30分
第6回	事前研修（5）マナー講座（マナー研修Part1）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	事前研修（5）マナー講座（マナー研修Part2）	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	事前研修（6）事前面談（就職アドバイザーとの個人面談）	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	企業研修（1）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分

第10回	企業研修（2）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第11回	企業研修（3）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第12回	企業研修（4）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第13回	企業研修（5）	
	【予習】	
	【復習】日報の作成	60分
第14回	事後研修（1） 報告書の作成	
	【予習】日報や企業研究ノートをもとに報告書の原案を作成しておくこと	90分
	【復習】教員による添削をもとに報告書を修正すること	60分
第15回	事後研修（2）研修報告会	
	【予習】研修成果に関するプレゼンテーション内容を準備しておくこと	60分
	【復習】	
第16回	事後研修（3）インターンシップ学内報告会	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	事前・事後研修、研修先での実習・研修に対する評価、事後レポートを総合的に判断する。		
使用資料 <テキスト>	適宜資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	インターンシップ申込み、実習方法等は受入企業により異なるため、自主性・責任感をもって取り組んでください。		
授業外質問方法	質問にはオフィスアワー以外にも対応します（メール可）。		
オフィス・アワー	木曜日3限		